
JP1 Version 7i

JP1/Network Printing System (Windows(R) 用)

解説・手引書

3020-3-F36

マニュアルの購入方法

このマニュアル，および関連するマニュアルをご購入の際は，
巻末の用紙をご利用ください。

HITACHI

対象製品

適用 OS: Windows 2000 Professional , Windows 2000 Server , Windows 2000 Advanced Server

P-2412-4M74 JP1/Network Printing System 07-00

P-2412-4774 JP1/Network Printing System/Client 07-00

適用 OS: Windows XP Professional

P-2412-5M74 JP1/Network Printing System 07-00

P-2412-5774 JP1/Network Printing System/Client 07-00

適用 OS: Windows Server 2003 Standard Edition , Windows Server 2003 Enterprise Edition

P-2412-6M74 JP1/Network Printing System 07-00

P-2412-6774 JP1/Network Printing System/Client 07-00

輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法ならびに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、ご不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

商標類

BackOffice は、米国 Microsoft Corp. の登録商標です。

Microsoft は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp. の登録商標です。

Microsoft Excel は、米国 Microsoft Corp. の商品名称です。

OpenView は、ヒューレット・パカード社の商標です。

R/3 は、SAP AG のドイツ及びその他の国における登録商標または商標です。

SAP は、SAP AG のドイツ及びその他の国における登録商標または商標です。

UNIX は、X/Open Company Limited が独占的にライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。

Windows は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp. の登録商標です。

Windows NT は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp. の登録商標です。

Windows Server は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp. の商標です。

そのほか記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

発行

2003 年 12 月 (第 1 版)3020-3-F36

著作権

All Rights Reserved. Copyright (C) 2003, Hitachi, Ltd.

はじめに

このマニュアルは、JP1/NPS シリーズの機能、および操作方法を説明したものです。なお、操作方法の詳細については、オンラインヘルプで説明しています。

対象読者

このマニュアルは、JP1/NPS を使って帳票を印刷および仕分け配布したい方を対象としています。

マニュアルの構成

このマニュアルは、次に示す編から構成されています。

第 1 編 JP1/NPS シリーズ

JP1/NPS シリーズの概要について説明しています。機能の概要やシステム構成の例について説明しています。

第 2 編 JP1/NPS

JP1/NPS および JP1/NPS/Client について説明しています。プリンタを管理し、プリンタ障害時にリカバリ印刷したり印刷ジョブを操作したりできます。

第 3 編 仕分け配布

JP1/NPS の仕分け配布機能について説明しています。印刷ジョブを目的別に仕分けして、プリンタに配布できます。

第 4 編 リファレンス

ウィンドウのメニュー一覧やコマンドなど、JP1/NPS を運用中に参照する情報について説明しています。

第 5 編 トラブルシューティング

JP1/NPS を運用中に発生したトラブルとその対策を説明しています。

関連マニュアル

このマニュアルの関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

- JP1 Version 7i JP1/Integrated Manager - Console システム構築・運用ガイド (3020-3-F01)
- JP1 Version 7i JP1/Integrated Manager - Console リファレンス (3020-3-F02)
- JP1 Version 7i JP1/Integrated Manager - Console 機能拡張編 (3020-3-F03)
- JP1 Version 7i JP1/Base (3020-3-F04)
- JP1 Version 7i JP1/Automatic Job Management System 2 解説 (3020-3-F06)
- JP1 Version 7i JP1/Automatic Job Management System 2 設計・運用ガイド (3020-3-F07)
- JP1 Version 7i JP1/Automatic Job Management System 2 セットアップガイド (3020-3-F08)
- JP1 Version 7i JP1/Automatic Job Management System 2 操作ガイド (3020-3-F09)

はじめに

- JP1 Version 7i JP1/Automatic Job Management System 2 コマンドリファレンス (3020-3-F10)
- JP1 Version 7i JP1/Automatic Job Management System 2 関数 (3020-3-F11)
- JP1 Version 7i JP1/Automatic Job Management System 2 連携ガイド (3020-3-F12)
- JP1 Version 7i JP1/Automatic Job Management System 2 メッセージ (3020-3-F13)
- JP1 Version 7i JP1/Automatic Job Management System 2 for Enterprise Applications (3020-3-F26)
- JP1 Version 7i JP1/Cm2/Network Node Manager ネットワーク管理ガイド (3020-3-F89)
- 帳票作成機能 EUR EUR Print Service 帳票出力 (3020-7-056)

このマニュアルでの表記

このマニュアルでは、日立製品およびそのほかの製品の名称を省略して表記しています。次に、製品の正式名称と、このマニュアルでの表記を示します。

正 式 名 称	このマニュアルでの表記	
JP1/Network Printing System	JP1/NPS	
JP1/Network Printing System/Client	JP1/NPS/Client	
JP1/Network Printing System/Distributor	JP1/NPS/Distributor	
JP1/Network Printing System/Distributor/Client	JP1/NPS/Distributor/Client	
JP1/Automatic Job Management System 2 - Advanced Manager , JP1/Automatic Job Management System2 - Manager , JP1/Automatic Job Management System2 - Agent , JP1/Automatic Job Management System2 - Light Edition	JP1/AJS2	
JP1/Automatic Job Management System2 - Client Toolkit	JP1/AJS2 - Client Toolkit	
JP1/Automatic Job Management System 2 for Enterprise Applications	JP1/AJS2 for EAP	
JP1/Cm2/Network Node Manager	JP1/Cm2/NNM	NNM
hp OpenView network node manager	hp OpenView NNM	
JP1/Integrated Manager - Central Console , JP1/Integrated Manager - View	JP1/IM - Console	
EUR Professional Edition , EUR Print Service	EUR	
XMAP3/REPORT3 , XMAP3/REPORT3 Run Time System , XMAP3/NET , XMAP3/NET Run Time System , XMAP3/Enterprise Edition , XMAP3/Enterprise Edition Run Time System	XMAP3	
FUJI XEROX DocuStation(R) DP 300	DP300	
FUJI XEROX DocuStation(R) DP 301	DP301	
FUJI XEROX DocuPrint(R) 500DPS	DP500DPS	

正 式 名 称	このマニュアルでの表記	
FUJI XEROX DocuPrint(R) 701DPS	DP701DPS	
Line Printer Daemon Protocol	lpd	
Microsoft(R) Windows(R) 2000 Professional Operating System	Windows 2000 Professional	Windows 2000
Microsoft(R) Windows(R) 2000 Server Operating System	Windows 2000 Server	
Microsoft(R) Windows(R) 2000 Advanced Server Operating System	Windows 2000 Advanced Server	
Microsoft(R) BackOffice(R) Small Business Server	Windows NT	
Microsoft(R) Windows NT(R) Server Network Operating System Version 4.0		
Microsoft(R) Windows NT(R) Server Enterprise Edition Version 4.0		
Microsoft(R) Windows NT(R) Workstation Operating System Version 4.0		
Microsoft(R) Windows Server(TM) 2003, Enterprise Edition	Windows Server 2003 Enterprise Edition	Windows Server 2003
Microsoft(R) Windows Server(TM) 2003, Standard Edition	Windows Server 2003 Standard Edition	
Microsoft(R) Windows(R) XP Professional Operating System	Windows XP	
Microsoft(R) Windows(R)95 Operating System	Windows 95	
Microsoft(R) Windows(R)98 Operating System	Windows 98	
Microsoft(R) Windows(R)Millennium Edition Operating System	Windows Me	

- DP300, DP301, DP500DPS, および DP701DPS で機能差異がない場合, DP300 と表記しています。
- Windows 2000, Windows XP, および Windows Server 2003 を総称して Windows と表記しています。Windows 2000, Windows XP, および Windows Server 2003 で機能差異がある場合は, 本文中の該当個所に区別して表記しています。
- Windows 2000 の [プリンタ] フォルダ, Windows XP および Windows Server 2003 の [プリンタと FAX] フォルダをプリンタフォルダと表記しています。

このマニュアルで使用する記号

このマニュアルで使用する記号を次に示します。

記 号	意 味
[]	メニュー項目, ダイアログボックス, ダイアログボックスのボタンなどを示します。 (例) [プリンタ] - [作成] を選択する。 上記の例では, メニューバーの [プリンタ] を選択して, プルダウンメニューの [作成] をクリックすることを示しています。

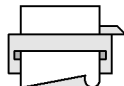
図中で使用する記号

このマニュアルの図中で使用する記号を、次のように定義します。

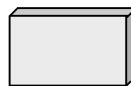
- コンピュータ
(サーバまたはクライアント)



- プリンタ



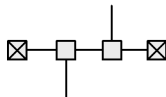
- プログラム



- 帳票 (単票)



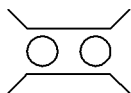
- バス形のLAN



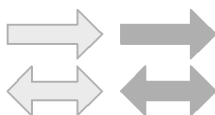
- 工程、作業項目の流れ



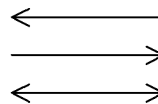
- プリンタキュー



- データの流れ



- 制御の流れ



常用漢字以外の漢字の使用について

このマニュアルでは、常用漢字を使用することを基本としていますが、次に示す用語については、常用漢字以外の漢字を使用しています。

- 個所 (かしよ)
- 罫 (けい) 線

KB (キロバイト) などの単位表記について

1KB (キロバイト), 1MB (メガバイト), 1GB (ギガバイト), 1TB (テラバイト) はそれぞれ 1,024 バイト, 1,024² バイト, 1,024³ バイト, 1,024⁴ バイトです。

目次

第 1 編 JP1/NPS シリーズ

1	JP1/NPS シリーズ	1
1.1	JP1/NPS シリーズとは	2
1.2	JP1/NPS シリーズの紹介	3
1.2.1	JP1/NPS	3
2	システム全体の適用範囲	9
2.1	JP1/NPS がサポートするポート	10
2.2	JP1/NPS を使用したシステムでの印刷の流れ	11
2.3	JP1/NPS によるプリンタ監視	14
2.4	JP1/NPS のリカバリ印刷	15
2.5	ポートごとのリカバリ印刷の差異	16
2.6	JP1/NPS シリーズが対象とする印刷ジョブ	17
2.7	スプーリング方式による機能の差異	18
2.7.1	JP1/NPS の主な機能の差異	18
2.7.2	印刷ジョブ操作の差異	20

第 2 編 JP1/NPS

3	JP1/NPS とは	23
3.1	JP1/NPS の特長	24
3.1.1	プリンタ障害発生時にリカバリ印刷できます	25
3.1.2	プリンタを管理できます	27
3.1.3	印刷ジョブを操作できます	27
3.1.4	ユーザに情報を通知できます	27
3.1.5	課金情報を収集できます	31
3.1.6	印刷ジョブの履歴を管理できます	31
3.2	他プログラムとの連携	33
3.2.1	JP1/Base および JP1/IM - Console との連携	33

3.2.2	JP1/AJS2 との連携	34
3.2.3	JP1/Cm2 または hp OpenView との連携	36
3.2.4	JP1/AJS2 for EAP との連携	37
3.3	JP1/NPS の注意事項	38

4

	インストールとセットアップ	43
4.1	前提となるソフトウェアおよび動作環境	44
4.1.1	必要なソフトウェア	44
4.1.2	動作環境	44
4.2	インストールとアンインストール	45
4.2.1	インストールする	45
4.2.2	アンインストールする	45
4.2.3	再インストールする	46
4.2.4	インストールおよびアンインストール時の注意事項	46
4.3	セットアップ	49
4.3.1	[環境設定] ダイアログボックスでのセットアップ	49
4.3.2	その他のセットアップ	53
4.4	JP1/NPS/Client プログラム	57
4.5	JP1/Cm2/NNM または hp OpenView NNM と連携する場合のセットアップ	58

5

	JP1/NPS の運用	61
5.1	運用環境を設定する	62
5.1.1	プリンタをセットアップする	62
5.1.2	プリンタ情報およびデフォルト情報を設定する	83
5.1.3	ポート情報を設定する	87
5.2	印刷する	93
5.3	リカバリ印刷する	94
5.4	プリンタを管理する	98
5.4.1	プリンタを開く	98
5.4.2	仕様適合プリンタを検索する	99
5.5	印刷ジョブを操作する	101
5.6	用紙サイズを確認する	102
5.7	課金情報を収集する	104
5.8	JP1/Cm2 または hp OpenView から監視する	106
5.8.1	プリンタの状態の監視	106

5.8.2	ステータス・イベントブラウザを使った監視	107
5.8.3	オブジェクト定義	108
5.8.4	SNMP トラップ	108

第 3 編 仕分け配布

6	仕分け配布の概要	111
6.1	仕分け配布の特長	112
6.1.1	帳票データを仕分けできます	112
6.1.2	プリンタに帳票データを配布できます	112
6.1.3	仕分け結果を確認できます	112
6.2	仕分け配布の詳細	113
6.2.1	仕分け方式	113
6.2.2	仕分けの実行形態	117
6.2.3	印刷ジョブの配布先	118
6.3	EUR との連携	120
6.4	仕分け配布の注意事項	122
7	仕分け配布の運用	125
7.1	運用環境を設定する	126
7.2	環境を定義する	127
7.3	仕分け定義情報を定義する	130
7.3.1	仕分け定義情報の所有権	131
7.3.2	仕分けプリンタを選択する	132
7.3.3	配布先情報を定義する	133
7.3.4	仕分け情報を定義する	134
7.3.5	ジョブ情報を定義する	137
7.4	帳票を仕分け配布する	139
7.4.1	対話仕分けする	139
7.5	仕分け結果を確認する	141
7.6	EUR と連携する	144

第4編 リファレンス

8	ウィンドウとメニュー一覧	145
8.1	JP1/NPS のウィンドウとメニュー一覧	146
8.1.1	[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウ	146
8.1.2	[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウ	147

9	コマンド	153
	コマンドの記述形式	154
	コマンド一覧	155
	JDelJobs.exe	156
	JNpsActC.exe	158
	JNpsActG.exe	161

10	イベント	163
10.1	JP1 イベント	164
10.1.1	JP1/NPS のイベント	164
10.1.2	JP1/NPS/Client のイベント	167
10.1.3	仕分け配布のイベント	168
10.2	Windows イベント	170
10.2.1	JP1/NPS のイベント	170
10.2.2	JP1/NPS/Client のイベント	172
10.2.3	仕分け配布のイベント	172

第5編 トラブルシューティング

11	トラブルシューティング	175
11.1	JP1/NPS のトラブルシューティング	176
11.1.1	[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウに関する問題	176
11.1.2	[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウに関する問題	178
11.1.3	印刷に関する問題	183
11.1.4	リカバリ印刷に関する問題	189

11.1.5 ユーザ通知に関する問題	195
11.1.6 ジョブの自動コピーに関する問題	197
11.1.7 課金情報に関する問題	197
11.1.8 そのほかの問題	200
11.2 仕分け配布のトラブルシューティング	202
11.2.1 トラブルの現象	202
11.2.2 トラブルの対処方法	202
11.3 保守情報を採取する	204
11.3.1 イベントログ	204
11.3.2 JP1/NPS 印刷ジョブ管理情報	204
11.3.3 仕分け配布トレースファイル（仕分け配布機能に関するトラブルの場合）	204

付録 205

付録 A プロセス一覧	206
付録 B 各バージョンの変更点	207
付録 B.1 06-72 から 07-00 での変更点	207
付録 B.2 06-71 から 06-72 での変更点	208
付録 B.3 06-51 から 06-71 での変更点	208
付録 B.4 06-01 から 06-51 での変更点	208
付録 B.5 06-00 から 06-01 での変更点	209
付録 B.6 05-20 から 06-00 での変更点	209
付録 B.7 05-10 から 05-20 での変更点	210
付録 B.8 05-00 から 05-10 での変更点	211
付録 B.9 02-00 から 05-00 での変更点	212
付録 B.10 01-00 から 02-00 での変更点	213
付録 C 用語解説	217

索引 223

1

JP1/NPS シリーズ

JP1/NPS シリーズは、Windows のネットワーク環境での印刷を支援するプログラム群です。この章では、JP1/NPS シリーズの概要や JP1/NPS シリーズを構成するプログラムについて説明します。

1.1 JP1/NPS シリーズとは

1.2 JP1/NPS シリーズの紹介

1.1 JP1/NPS シリーズとは

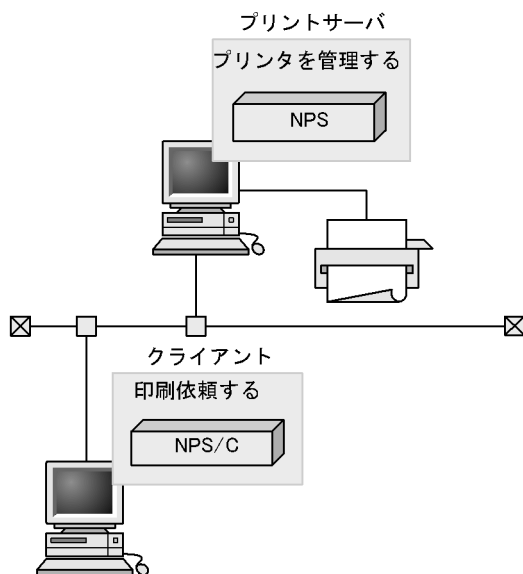
JP1/NPS シリーズは、Windows のネットワーク環境での印刷を支援するプログラム群です。プリンタに障害が発生した場合にリカバリ印刷したり、印刷ジョブを操作したり、帳票データをプリンタに配布したりできます。

JP1/NPS シリーズは次のプログラムで構成されます。

- JP1/NPS
- JP1/NPS/Client

JP1/NPS シリーズのシステム構成の例を次の図に示します。

図 1-1 JP1/NPS シリーズのシステム構成の例



(凡例)

NPS : JP1/NPS
NPS/C : JP1/NPS/Client

1.2 JP1/NPS シリーズの紹介

この節では、JP1/NPS シリーズの機能の概要、およびシステム構成について説明します。

1.2.1 JP1/NPS

JP1/Network Printing System および JP1/Network Printing System/Client は、ネットワーク環境のプリンタを管理することで、信頼性の高い印刷環境を提供するプログラムです。このマニュアルでは、特に断り書きのない場合、「JP1/NPS」に JP1/NPS と JP1/NPS/Client を含みます。

JP1/NPS の主な機能を次に示します。

- プリンタ障害発生時にリカバリ印刷できます
プリンタに障害が発生した場合、障害情報を通知してコンピュータに知らせます。また、メッセージに回答すると、テスト印刷や再印刷などのリカバリ印刷を操作できます。
あらかじめ障害発生後の処理を決めておいて対処させる「自動リカバリ」の設定もできます。
- プリンタを管理できます
サーバに作成したプリンタを、サーバやクライアントから一時停止したり再開したりできます。
- プリンタキューの印刷ジョブを操作できます
プリンタキューに登録されたジョブを保留したり、削除したり、ほかのプリンタへ移動したり、印刷ジョブのプレビューを表示したりできます。
- ユーザに情報を通知できます
プリンタに登録された用紙サイズと、印刷ジョブの用紙サイズが異なる場合などに、ダイアログボックスを表示できます。また、印刷が終了したことをメッセージボックスで通知するなど、印刷に関する情報をユーザに提供できます。
- 印刷ジョブを仕分け配布できます
印刷ジョブをページ単位、キーワード単位、またはページの割合で仕分けして、プリンタへ配布できます。

(1) JP1/NPS のシステム構成

JP1/NPS は、サーバ機能とクライアント機能を持っています。JP1/NPS/Client は、クライアント機能だけを持っています。サーバ機能とは、プリンタを管理したり、印刷ジョブをプリンタに出力したりする機能です。クライアント機能とは、リカバリ印刷を操作したり、印刷ジョブを操作したり、プリントサーバに対して印刷ジョブの印刷を要求したりする機能です。したがって、JP1/NPS はコンピュータ 1 台とプリンタ 1 台で使えます。この構成をスタンドアロン構成と呼びます。

プリンタを複数台使って、クライアントサーバシステムを構築する場合、プリンタを接

1. JP1/NPS シリーズ

続しているサーバ単位に JP1/NPS のインストールが必要です。また、クライアント側の JP1/NPS/Client からサーバへ印刷ジョブの出力要求や、プリンタ障害時のリカバリ印刷の指示をするには、サーバ側に JP1/NPS が必要です。

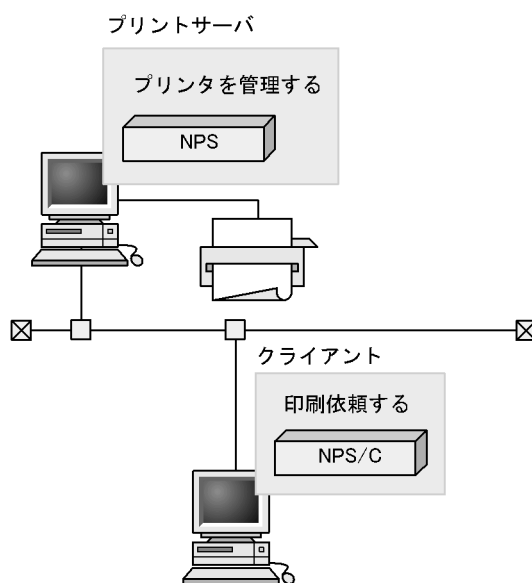
スタンドアロンとクライアントサーバの場合の JP1/NPS のシステム構成例を次の図に示します。

図 1-2 スタンドアロンとクライアントサーバの場合のシステム構成例

●スタンドアロンの場合



●クライアントサーバの場合



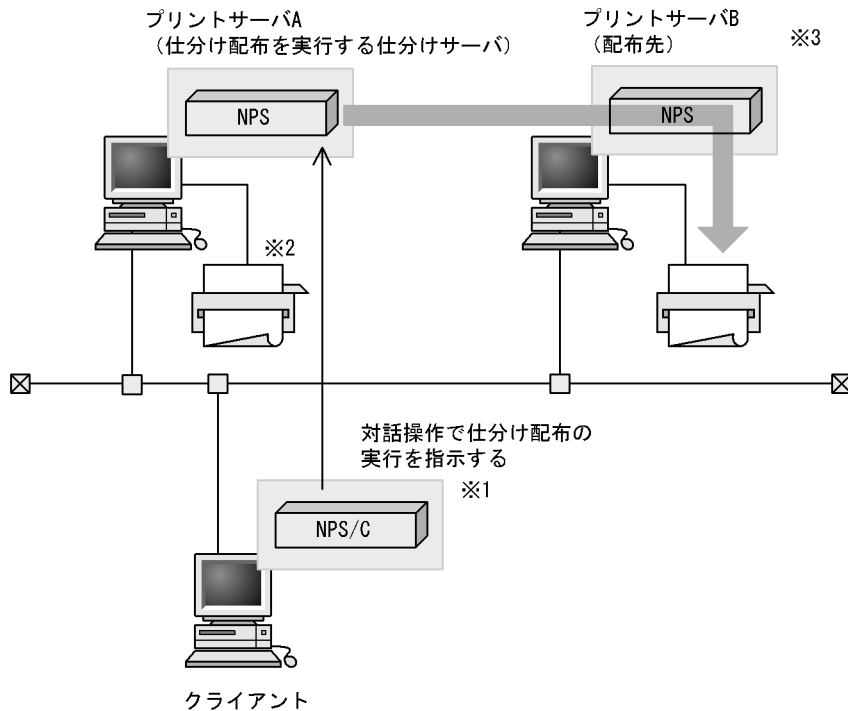
(凡例)

NPS : JP1/NPS

NPS/C : JP1/NPS/Client

また、JP1/NPS では、印刷ジョブを仕分け配布できます。印刷ジョブを仕分け配布する場合のシステム構成例を次の図に示します。

図 1-3 印刷ジョブを仕分け配布する場合のシステム構成例



(凡例)

NPS : JP1/NPS
 NPS/C : JP1/NPS/Client

注※1：対話操作による仕分け配布の実行を指示しない場合、JP1/NPS/Clientは不要。
 注※2：仕分けサーバで印刷出力しないで仕分け配布だけを実行する場合、プリンタの接続は不要。
 注※3：仕分けサーバに配布先プリンタがある場合、別のプリントサーバは不要。

(2) JP1/NPS で使用できる OS

クライアントサーバシステムの場合、プリントサーバとクライアントは、同じ OS を使用してください。使用できる OS を次の表に示します。

表 1-1 JP1/NPS で使用できる OS

プリントサーバの OS	クライアントの OS		
	Windows 2000	Windows XP	Windows Server 2003
Windows 2000	-	-	-
Windows XP	-	-	-
Windows Server 2003	-	-	-

(凡例)

1. JP1/NPS シリーズ

- : 使用できる
- : 使用できない

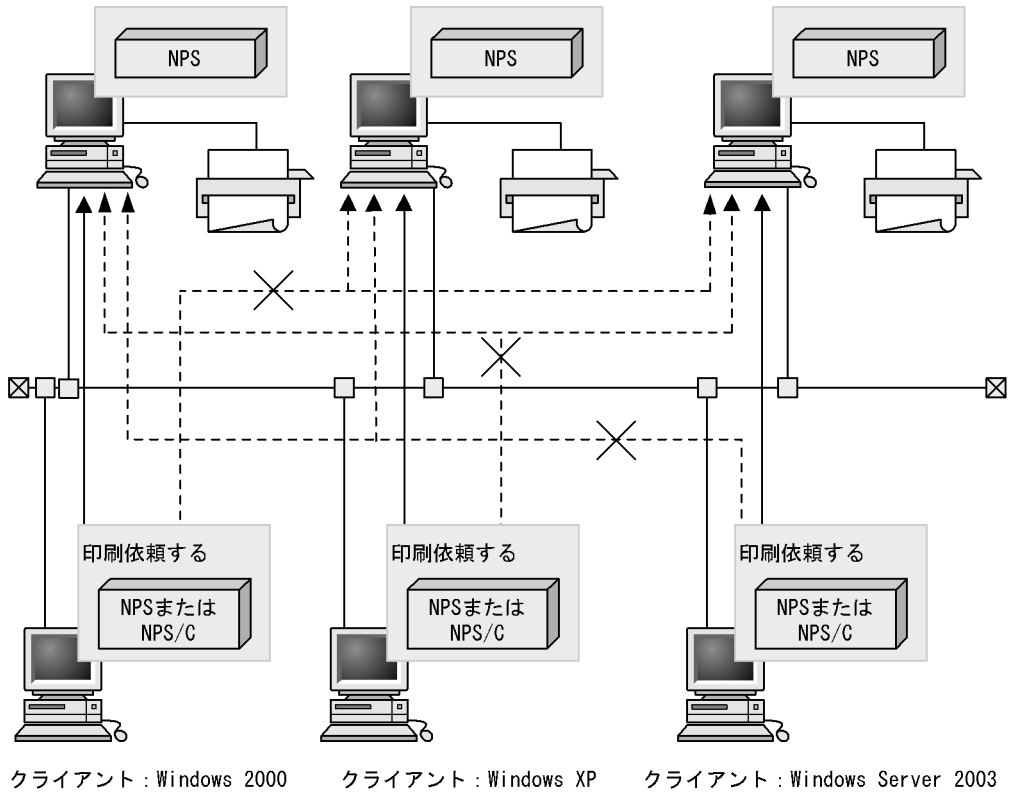
プリントサーバに異なる OS が混在するシステム構成の場合、異なる OS のプリントサーバで印刷したり、異なる OS 間で印刷ジョブをほかのプリンタへ移動したりすることはできません。印刷ジョブをほかのプリンタに移動するための操作を、次に示します。

- [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウで印刷ジョブをほかのプリンタへ移動またはコピーする
- リカバリ印刷時にほかのプリンタで印刷する
- 自動リカバリの他プリンタでの再印刷機能で、ほかのプリンタで印刷する
- ジョブの自動コピーオプション機能でほかのプリンタへ印刷ジョブをコピーする
- 仕分け配布機能でほかのプリンタへ印刷ジョブを配布する

プリントサーバの OS が異なる場合の印刷の例、および印刷ジョブの移動の例を次の図に示します。

図 1-4 プリントサーバの OS が異なる場合の印刷の例

プリントサーバ : Windows 2000 プリントサーバ : Windows XP プリントサーバ : Windows Server 2003



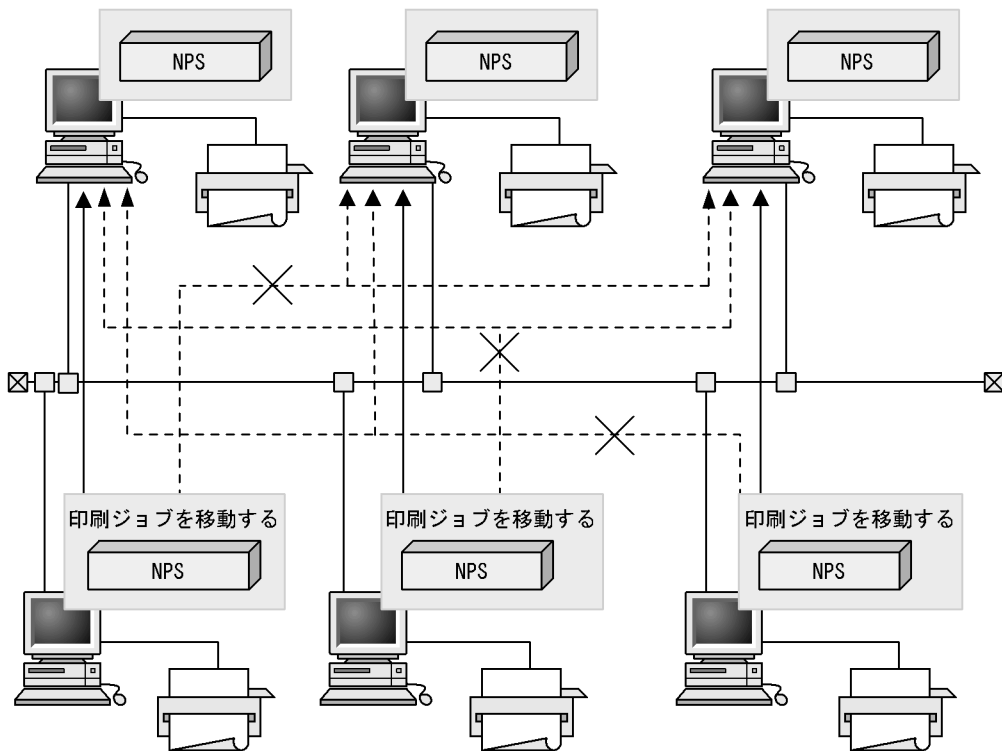
(凡例)

- NPS : JP1/NPS
- NPS/C : JP1/NPS/Client
- : 印刷できる
- - X - - → : 印刷できない

1. JP1/NPS シリーズ

図 1-5 プリントサーバの OS が異なる場合の印刷ジョブの移動の例

プリントサーバ : Windows 2000 プリントサーバ : Windows XP プリントサーバ : Windows Server 2003



プリントサーバ : Windows 2000 プリントサーバ : Windows XP プリントサーバ : Windows Server 2003

(凡例)

- NPS
- : JP1/NPS
- : 移動できる
- - X - - → : 移動できない

2

システム全体の適用範囲

この章では、JP1/NPS の適用範囲について説明します。

-
- 2.1 JP1/NPS がサポートするポート
 - 2.2 JP1/NPS を使用したシステムでの印刷の流れ
 - 2.3 JP1/NPS によるプリンタ監視
 - 2.4 JP1/NPS のリカバリ印刷
 - 2.5 ポートごとのリカバリ印刷の差異
 - 2.6 JP1/NPS シリーズが対象とする印刷ジョブ
 - 2.7 スプーリング方式による機能の差異
-

2.1 JP1/NPS がサポートするポート

JP1/NPS では、次の表に示すプリンタポートをサポートしています。これらのポートを使用したプリンタに対して、リカバリ印刷やプリンタ管理などを実行できます。

表 2-1 JP1/NPS がサポートするポート一覧

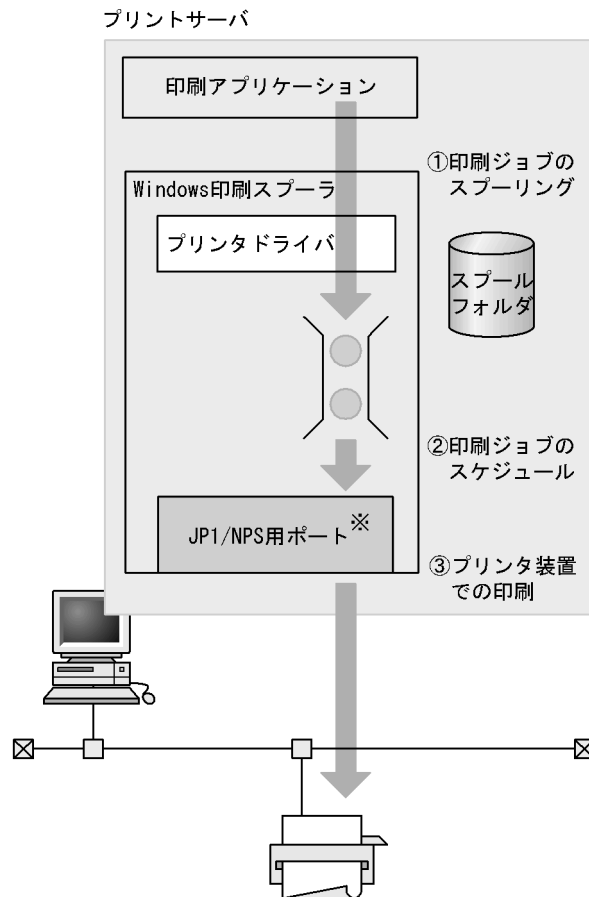
ポート名称	説明
#NPS_LPTx:	セントロニクス接続方式による印刷用ポート
#NPS_JETx:	LAN 接続 HP JetDirect 方式による印刷用ポート
#NPS_XDPx:	LAN 接続 DP300 TCP/IP(lpd) プリント機能による印刷用ポート
#NPS_LPDx:	LAN 接続 lpd プロトコル方式による印刷用ポート

「#NPS_LPTx:」の x には、1 ~ 9 の値が入ります。「#NPS_JETx:」、「#NPS_XDPx:」、または「#NPS_LPDx:」の x には、1 ~ 99 の値が入ります。これらの値は、JP1/NPS 用のポートを追加する場合に指定します。ポートの追加については、「5.1.1 (1)(a) ポートを追加する」を参照してください。

2.2 JP1/NPS を使用したシステムでの印刷の流れ

JP1/NPS および JP1/NPS/Client は Windows 印刷スプーラと連携して動作します。プリントサーバでの印刷の流れを次の図に示します。

図 2-1 プリントサーバでの印刷の流れ



注※：JP1/NPSがサポートするポート

1. 印刷ジョブのスプーリング
印刷アプリケーションが印刷処理を実行すると、Windows 印刷スプーラとプリンタドライバによって、印刷ジョブがプリンタキューにスプールされます。
2. 印刷ジョブのスケジュール
プリンタキューにスプールされた印刷ジョブは、Windows 印刷スプーラによってスケジュールされ、印刷が開始されます。印刷が始まると、Windows 印刷スプーラが

2. システム全体の適用範囲

JP1/NPS 用ポートに印刷データを渡します。

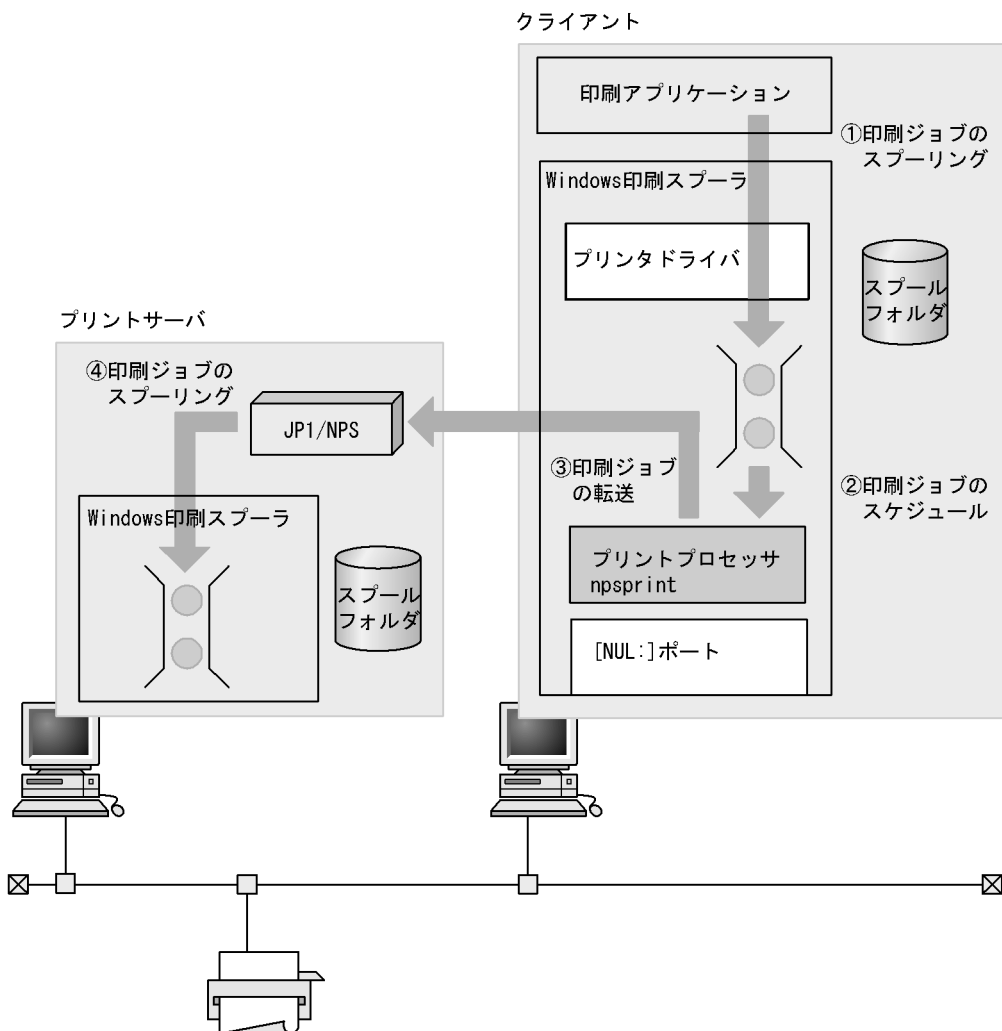
3. プリンタ装置での印刷

JP1/NPS 用ポートは Windows 印刷スプーラから渡された印刷データをプリンタ装置へ送り、印刷します。印刷時にプリンタ障害が発生した場合、障害情報をコンピュータに通知します。

印刷ジョブのスプーリングおよび印刷ジョブのスケジュールについては、JP1/NPS は動作しません。

クライアントでの印刷の流れを次の図に示します。

図 2-2 クライアントでの印刷の流れ



1. 印刷ジョブのスプーリング

印刷アプリケーションが印刷処理を実行すると、Windows 印刷スプーラとプリンタ

ドライバによって、印刷ジョブがプリンタキューにスプールされます。

2. 印刷ジョブのスケジュール

プリンタキューにスプールされた印刷ジョブは、Windows 印刷スプーラによってスケジュールされ、印刷が開始されます。印刷が始まると、Windows 印刷スプーラがプリントプロセッサ npsprint を呼び出します。

3. 印刷ジョブの転送

プリントプロセッサ npsprint は、プリンタキューにスプールされている印刷ジョブをプリントサーバへ転送するために、プリントサーバの JP1/NPS サービスに転送を依頼します。

4. 印刷ジョブのスプーリング

JP1/NPS サービスは、クライアントから転送された印刷ジョブをプリンタキューにスプールします。

印刷ジョブが、プリントサーバのプリンタキューにスプールされたあとの印刷の流れは、「図 2-1 プリントサーバでの印刷の流れ」と同じです。

2.3 JP1/NPS によるプリンタ監視

印刷が始まると、JP1/NPS はプリンタ装置へ印刷データを送り、プリンタに障害が発生していないか、プリンタを監視します。プリンタの監視方法は、JP1/NPS がサポートするポートの種類によって異なります。

表 2-2 JP1/NPS がサポートするポートのプリンタ監視

ポート名称	プリンタの監視
#NPS_LPTx: ¹	印刷データをプリンタ装置へ送り始めたときからプリンタの監視を開始します。すべての印刷データをプリンタ装置へ送り終わったら印刷終了と判断して、プリンタの監視を終了します。
#NPS_JETx:	印刷データをプリンタ装置へ送り始めたときからプリンタの監視を開始します。すべての印刷データをプリンタ装置へ送り終え、プリンタ装置からすべての用紙が排出されたことを確認できたら印刷終了と判断して、プリンタの監視を終了します。
#NPS_XDPx: または #NPS_LPDx: ²	<p>ポート情報 [印刷モード] の設定値によって異なります。[印刷モード] の設定方法については、「5.1.3 ポート情報を設定する」を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 同期モード <p>プリンタの監視を開始してから、印刷データをプリンタ装置へ送ります。すべての印刷データをプリンタ装置へ送り、プリンタ装置からすべての用紙が排出されたことを確認できたら、印刷終了と判断して監視を終了します。ただし、ポート情報の [監視モード] で [C-モード] を設定している場合、すべての印刷データをプリンタ装置へ送り終えたあとで、プリンタ装置の電源をオフ/オンしたり、プリンタ装置のバッファをリセットしたりしたときは、プリンタ障害ではなく印刷終了と判断します。</p> 非同期モード ¹ <p>プリンタの監視を開始して、印刷データをプリンタ装置へ送ります。すべての印刷データをプリンタ装置へ送り終わったら、印刷終了と判断して監視を終了します。</p> 非監視モード ¹ (「#NPS_LPDx:」ポートの場合だけ設定できる) <p>プリンタを監視しません。すべての印刷データをプリンタ装置へ送り終わったら印刷終了と判断します。</p>

注 1

プリンタ装置からすべての用紙が排紙される前に、印刷ジョブの状態が印刷済みになることがあります。また、すべての印刷データをプリンタ装置へ送ったあとにプリンタ障害が発生した場合、プリンタ障害を検知できません。

注 2

ポート情報の [監視モード] で [C-モード] を設定している場合、プリンタの監視中に、プリンタ装置の電源オフやネットワーク障害発生などによって回線障害が発生すると、プリンタ障害「プリンタからの応答がありませんでした」を通知します。

2.4 JP1/NPS のリカバリ印刷

プリンタに障害が発生した場合、ダイアログに応答してリカバリ印刷を指示したり、あらかじめプリンタ障害発生時の処理を決めておく「自動リカバリ」によるリカバリ印刷をしたりできます。リカバリ印刷の指示応答や自動リカバリの処理は、プリンタ障害を回復したあとで行います。

JP1/NPS はプリンタ障害を回復するプログラムではありません。プリンタに障害が発生した場合は、ユーザがプリンタ障害を回復してください。

JP1/NPS でリカバリ印刷する場合の注意事項を次に示します。

- プリンタに障害が発生した場合、プリンタ障害の回復およびリカバリ印刷は確実に行ってください。
- プリンタ障害を回復する場合、プリンタ装置のバッファの扱いに注意してください。プリンタ装置のバッファの扱いを誤ると、リカバリ印刷が正しくできません。プリンタ障害が起きたプリンタ装置のバッファ操作については、「5.3 リカバリ印刷する」を参照してください。

2.5 ポートごとのリカバリ印刷の差異

JP1/NPS がサポートするポートの種類によってリカバリ印刷の処理に違いがあります。リカバリ印刷の差異を、次の表に示します。

表 2-3 ポートごとのリカバリ印刷の差異

リカバリ印刷の内容	ポート名称			
	#NPS_LPTx:	#NPS_JETx:	#NPS_XDPx:	#NPS_LPDx:
プリンタ障害発生時に通知されるメッセージ	「用紙切れ、用紙ジャム、電源断等が発生しました」	プリンタ障害発生時にプリンタ装置のパネルに表示されているメッセージ	障害キーワードに設定されているメッセージ	ポート情報の [監視モード] に設定した値によって異なります。 <ul style="list-style-type: none"> • [標準] または [L-モード] の場合 障害キーワードに設定されているメッセージ • [E-モード] の場合 プリンタ障害の状態を示すメッセージ • [C-モード] の場合 プリンタ障害発生時にプリンタ装置のパネルに表示されているメッセージ
プリンタ障害が発生したページの検知	検知できる	検知できる	検知できない (1 ページ目が障害発生ページになる)	検知できない (1 ページ目が障害発生ページになる)
リカバリ印刷による印刷続行が実行できない条件 ¹	論理矛盾 ² が発生した場合	回線障害、または論理矛盾 ² が発生した場合	回線障害、ジョブ状態不正 ³ 、ポート構成誤り ⁴ 、または論理矛盾 ² が発生した場合	回線障害、または論理矛盾 ² が発生した場合

注 1

自動リカバリで [印刷続行を試行した後、自動リカバリする] がチェックされている場合は、印刷続行が試行されずに自動リカバリで設定された処理が実行される。

注 2

Windows 印刷スプーラの動作不正により、JP1/NPS が正しく動作できない状態を示す。

注 3

プリンタ装置に登録された印刷ジョブが不正な状態であることを示す。

注 4

プリンタ装置のポート構成に誤りがあることを示す。

2.6 JP1/NPS シリーズが対象とする印刷ジョブ

JP1/NPS シリーズでは、GDI (Graphics Device Interface) で印刷するアプリケーションから EMF スプーリングされた印刷ジョブを対象としています。RAW スプーリングされた印刷ジョブは、印刷はできますが、リカバリ印刷などに制限があります。スプーリング方式による機能差異については、「2.7 スプーリング方式による機能の差異」を参照してください。

EMF スプーリングか RAW スプーリングかは、プリンタドライバおよび印刷するアプリケーションによって決まります。EMF スプーリングには次の条件が必要です。

- プリンタドライバが EMF スプーリング対応であること
- 印刷アプリケーションが GDI で印刷すること

プリンタドライバの EMF スプーリングを有効にする方法については、「5.1.1 プリンタをセットアップする」を参照してください。なお、JP1/NPS は PDL (Page-Description Language) を意識しない構造になっているので、EMF スプーリングを使用できるプリンタドライバであれば、そのプリンタドライバがサポートしている PDL はすべて使用できます。

! 注意事項

日立製品である XMAP3 は、GDI 出力または PDL スルー出力のどちらの指定でも印刷できます。PDL スルー出力指定で印刷した場合は、EMF スプーリングができるプリンタドライバであっても、RAW スプーリングされた印刷ジョブになりますので、注意してください。

2.7 スプーリング方式による機能の差異

JP1/NPS では、印刷ジョブのスプーリング方式によって使用できる機能が異なります。この節では、スプーリング方式による機能の差異について説明します。

2.7.1 JP1/NPS の主な機能の差異

JP1/NPS の機能の差異を、接続インタフェース別に次の表に示します。

表 2-4 スプーリング方式による機能の差異（JP1/NPS が管理するポート）

接続インタフェースの種類（ポート名）	スプーリング方式	印刷	障害検出	リカバリ印刷	用紙確認	印刷完了通知	仕分け配布	ジョブの保存オプション		コマンド	
								保存時間	定期的	JDelJ obs	JNpsAct C, JNpsAct G
セントロニクス接続	EMF										
(#NPS_LPT x:)	RAW			1,2	3		×				
LAN 接続	EMF										
(#NPS_JET x:)	RAW			1	3		×				
LAN 接続	EMF			2							
(#NPS_XDP x:)	RAW			1,2	3		×				
LAN 接続	EMF			2							
(#NPS_LPD x:)	RAW			1,2	3		×				

（凡例）

：できる

：制限はあるができる

×：できない

保存時間：印刷済みジョブを、設定した時間プリンタキューに保存する

定期的：設定した時期になると、保存していた印刷済みジョブを一斉に削除する

注 1

印刷続行および印刷ジョブキャンセル（保留属性で再登録を含む）だけ実行できる。また、自動リカバリで [他プリンタでの再印刷] が設定されている場合は、印刷ジョブをキャンセルし、保留属性で再登録する。さらにプリンタを一時停止する。

注 2

障害発生ページを認識できないため、障害発生ページは常に先頭ページになる。

注 3

テスト印刷できない。

表 2-5 スプーリング方式による機能の差異（そのほかのポート）

接続インタフェースの種類（ポート名）	スプーリング方式	印刷	障害検出	リカバリ印刷	用紙確認	印刷完了通知	仕分け配布	ジョブの保存オプション		コマンド	
								保存時間	定期的	JDeJ obs	JNpsAct C, JNpsAct G
そのほか	EMF	1	2	×	×	×	3	×		×	×
(RS-232C など)	RAW	1	2	×	×	×	×	×		×	×

（凡例）

: できる

: 制限はあるができる

: Windows の機能でできる

× : できない

保存時間：印刷済みジョブを、設定した時間プリンタキューに保存する

定期的：設定した時期になると、保存していた印刷済みジョブを一斉に削除する

注 1

JP1/NPS が管理するポート（#NPS_LPTx:、#NPS_JETx:、#NPS_XDPx:、#NPS_LPDx:）では印刷できないため、Windows のポートを使用して印刷する。

注 2

JP1/NPS が管理するポート（#NPS_LPTx:、#NPS_JETx:、#NPS_XDPx:、#NPS_LPDx:）では印刷できないため、Windows が障害を検知する。

注 3

対話仕分けはできるが、自動仕分けはできない。

2.7.2 印刷ジョブ操作の差異

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウからは、削除や移動・コピー、印刷の保留など、印刷ジョブを操作できます。スプーリング方式による印刷ジョブの操作機能の差異を、ポート別に次の表に示します。

表 2-6 ポートおよびスプーリング方式による印刷ジョブ操作の差異

ポート	スプーリング方式 (PDL)	削除	移動 ¹	コピー ¹	キャンセル	詳細表示	詳細変更	プレビュー	仕分け ¹	保留	保留解除	テスト印刷	再印刷	順序変更
JP1/NPS が管理するポート (#NPS_LPTx: , #NPS_JETx: , #NPS_XDPx: , #NPS_LPDx:)	EMF													
	RAW ₂							×	×			3	3	
その他のポート	EMF				×									
	RAW ₂				×			×	×			3	3	

(凡例)

: できる

: 制限はあるができる

× : できない

保存時間: 印刷済みジョブを、設定した時間プリンタキューに保存する

定期的: 設定した時期になると、保存していた印刷済みジョブを一斉に削除する

注 1

印刷ジョブをほかのプリンタへ移動、コピー、または仕分け配布する場合、移動元と移動先、コピー元とコピー先、または仕分け元と配布先で、同じプリンタ機種およびプリンタドライバを使用し、用紙の向きなどの設定も同じにすること。プリンタ機種やプリンタドライバが異なると、移動、コピー、または配布したあと、正しく印刷できなかつたり、Windows の Print Spooler サービスが停止したりすることがある。

注 2

ページ数などが正しく表示されない場合がある。

注 3

すべてのページのテスト印刷および再印刷はできるが、ページ指定のテスト印刷および再印刷はできない。

3

JP1/NPS とは

JP1/NPS は、ネットワーク環境のプリンタを管理することで、信頼性の高い印刷環境を提供するプログラムです。この章では、JP1/NPS の機能と他プログラムとの関係、および注意事項について説明します。

3.1 JP1/NPS の特長

3.2 他プログラムとの連携

3.3 JP1/NPS の注意事項

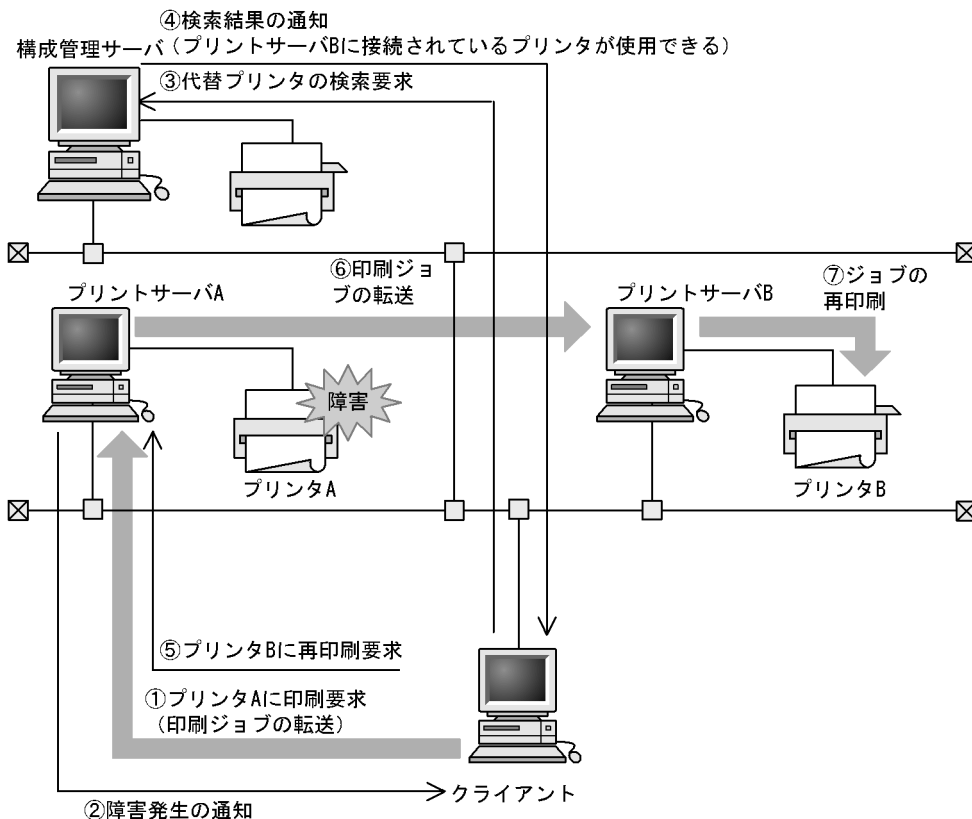
3.1 JP1/NPS の特長

JP1/NPS では、サーバ単位にプリンタを管理します。プリンタを持たないクライアントからは、JP1/NPS/Client を使ってサーバ上のプリンタに印刷要求できます。クライアントやサーバから、サーバを介してネットワーク上で共有しているほかのプリンタに接続し、使用できるようにするプリンタのことを「ネットワークプリンタ」と呼びます。また、ネットワークプリンタに対して印刷することを「リモート印刷」と呼びます。

クライアントサーバシステムの中で、一つのサーバを構成管理サーバとして定義します。JP1/NPS は、構成管理サーバにシステム内のプリンタのハードウェア特有の仕様を登録します。したがって、JP1/NPS が印刷ジョブを印刷するにはどのプリンタが最適かどうかを判断する情報になります。また、印刷しようとするプリンタに障害が発生した場合に、代替プリンタを検索する情報になります。構成管理サーバについては、「4.3 セットアップ」を参照してください。

JP1/NPS の概要を次の図に示します。

図 3-1 JP1/NPS の概要

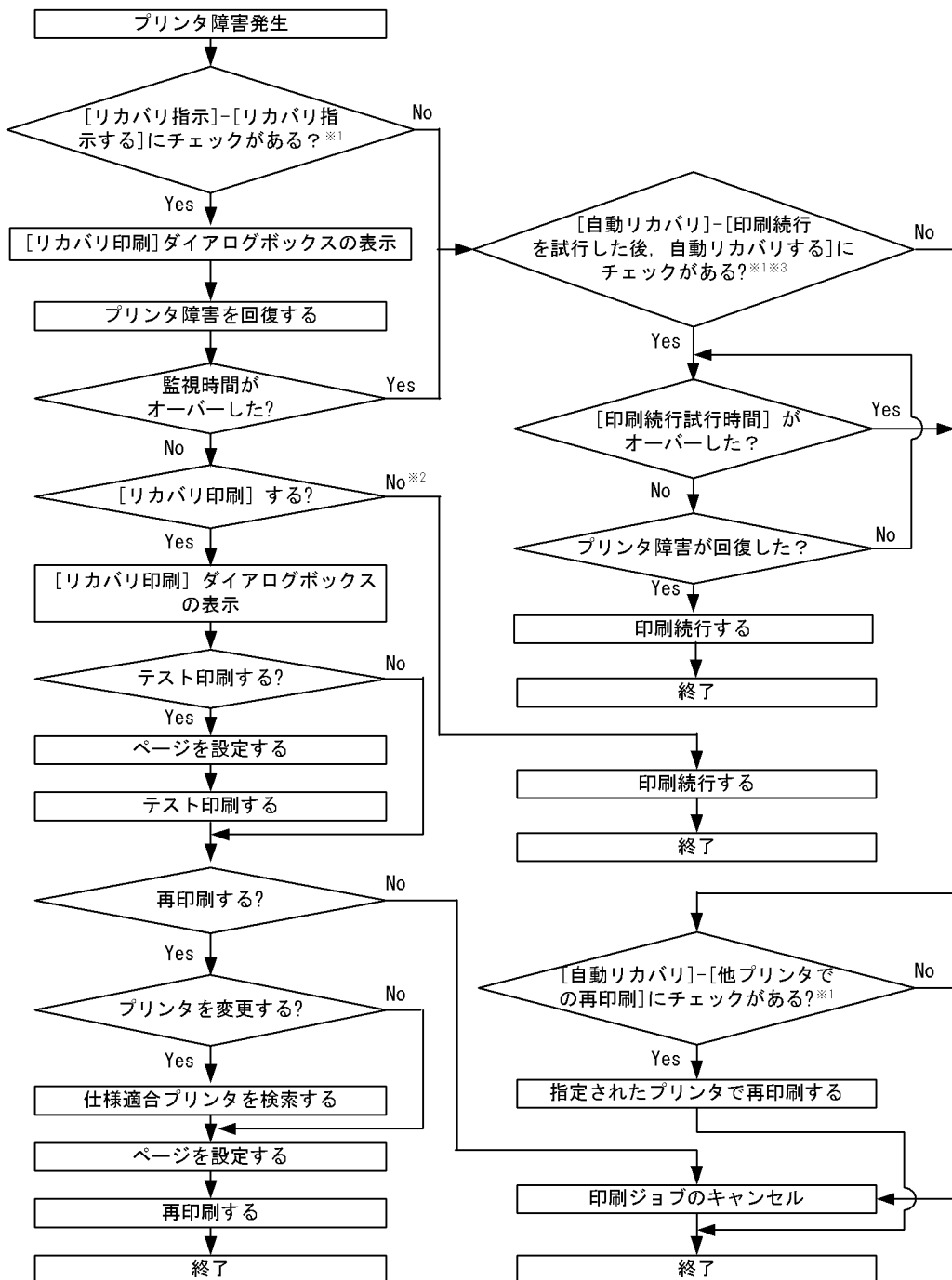


3.1.1 プリンタ障害発生時にリカバリ印刷できます

プリンタで障害が発生した場合、特定のコンピュータに障害発生を通知できます。この通知を「障害通知」と呼びます。障害通知の代わりに [リカバリ指示] ダイアログボックスを表示させて、対話操作によるリカバリ指示もできます。

リカバリ印刷の基本的な流れを次の図に示します。

図 3-2 リカバリ印刷の基本的な流れ



注※1 プリンタ情報、またはデフォルト情報の設定。

注※2 回線障害、ジョブ状態不正、ポート構成誤り、論理矛盾発生時は、印刷続行できない。

注※3 回線障害、ジョブ状態不正、ポート構成誤り、論理矛盾発生時は、自動リカバリの処理を実行する。

[リカバリ指示] ダイアログボックスに回答し、リカバリ印刷を選択すると [リカバリ印刷] ダイアログボックスが表示されます。

[リカバリ印刷] ダイアログボックスからは、ページを指定したテスト印刷や再印刷ができます。再印刷では、障害回復後のプリンタまたは代替りのプリンタに対して再印刷ができます。

[リカバリ指示] ダイアログボックスに回答しないで、あらかじめ設定しておいたリカバリ方法に従って自動リカバリさせることもできます。また、[リカバリ指示] ダイアログボックスへの回答を、あらかじめ設定しておいた時間だけ監視させ、監視時間の経過後、自動リカバリの処理をさせることもできます。さらに、何らかの理由で [リカバリ指示] ダイアログボックスを表示できない場合にも自動リカバリできます。

プリンタ障害発生時の対処方法は、JP1/NPS の [JP1/NPS 構成定義] ウィンドウのプリンタプロパティで設定しておきます。設定方法は、「5.1.2 プリンタ情報およびデフォルト情報を設定する」を参照してください。

3.1.2 プリンタを管理できます

自コンピュータや他コンピュータ上のプリンタの状態や印刷ジョブの状態を [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウで管理できます。プリンタの一時停止や再開、仕様適合プリンタの検索などができます。

3.1.3 印刷ジョブを操作できます

プリンタキュー上の印刷ジョブを、[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウから操作できます。印刷ジョブの削除、印刷ジョブのほかのプリンタへの移動またはコピー、印刷ジョブのプレビューなどの操作ができます。

3.1.4 ユーザに情報を通知できます

ジョブの印刷時、次の情報をユーザに通知できます。

- 印刷ジョブの用紙サイズが、プリンタ情報に登録してある用紙サイズ、または一つ前に印刷されたジョブの用紙サイズと異なる
- 印刷が終了した

ユーザ通知の機能を使用する場合は、通知条件や通知先を設定する必要があります。設定方法は、「5.1.2 プリンタ情報およびデフォルト情報を設定する」を参照してください。

(1) 用紙サイズを確認する

印刷ジョブの用紙サイズが、プリンタ情報に登録してある用紙サイズまたは一つ前に印刷されたジョブの用紙サイズと異なる場合に用紙サイズを確認できます。

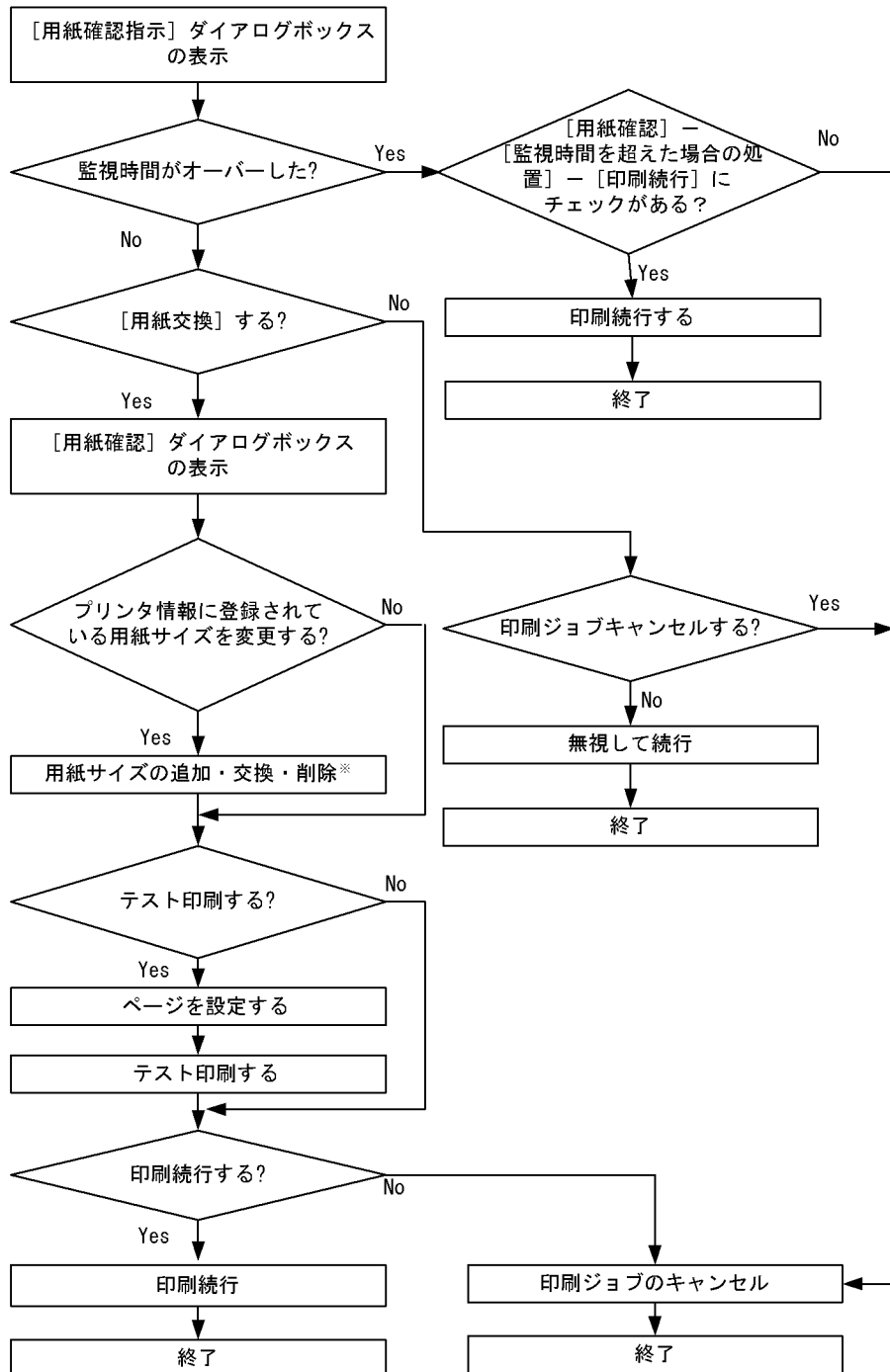
XMAP3 などで作成された特殊な印刷ジョブ名の印刷ジョブの場合は、印刷ジョブ名に付

3. JP1/NPS とは

加された用紙名を印刷ジョブの用紙サイズとして認識します。なお、一つ前に印刷されたジョブの用紙サイズと比較する設定にしている場合だけ、この方法で比較します。

用紙サイズを確認する流れを次の図に示します。

図 3-3 用紙サイズの確認の基本的な流れ



注※ 用紙サイズを変更できるのは、プリンタ情報で「登録されている用紙サイズと比較する」が設定されている場合だけです。また、用紙サイズを変更した場合、プリンタ情報に再登録されるのは、「印刷続行」を選択したときだけです。

3. JP1/NPS とは

[用紙確認] ダイアログボックスからは、プリンタ情報に登録されている用紙サイズを追加、変更または削除したり、ページを指定してテスト印刷したりできます。

[用紙確認指示] ダイアログボックスへの応答を、あらかじめ設定しておいた時間だけ監視させ、監視時間の経過後、設定した処理を実行させることもできます。

(2) 印刷完了を通知する

印刷が終了したときに、指定したコンピュータに [印刷完了通知] メッセージボックスを表示します。

[印刷完了通知] メッセージボックスは、「正常終了」と「警告終了」の2種類があります。「警告終了」の場合のメッセージは発生した現象によって異なります。

なお、この場合の印刷完了とは、Windows 上のプリンタキュー内のジョブステータスが「印刷済み」となった状態のことです。したがって、プリンタが印刷処理中であっても、このメッセージが表示されることがあります。

[印刷完了通知] メッセージボックスの「正常終了」および「警告終了」を次の図に示します。

図 3-4 [印刷完了通知] メッセージボックス (正常終了) の例



図 3-5 [印刷完了通知] メッセージボックス (警告終了) の例



3.1.5 課金情報を収集できます

JP1/NPS の印刷終了イベントから課金情報に関する項目を収集し、.csv ファイル形式で出力できます。

課金情報を収集するには、次のどちらかのコマンドを使用します。

- JNpsActC.exe コマンド
情報を収集するコンピュータや情報を収集する期間などを、JNpsActC.exe コマンドで指定して実行します。
- JNpsActG.exe コマンド
JNpsActG.exe コマンドを実行すると、[課金情報の出力] ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスで、情報を収集するコンピュータや情報を収集する期間などを指定して実行します。

JP1/NPS で出力した、課金情報に関する .csv ファイルの例を次の図に示します。

図 3-6 課金情報が出力された .csv ファイル形式の例



	A	B	C	D	E
1	タイムゾーン	受付日時	印刷開始日時	印刷終了日時	投入ユーザ名
2	GMT+09:00	2003/12/18 15:11	2003/12/18 15:11	2003/12/18 15:22	JP1Admin
3	GMT+09:00	2003/12/18 15:12	2003/12/18 15:22	2003/12/18 15:24	JP1Admin
4	GMT+09:00	2003/12/18 18:06	2003/12/18 18:06	2003/12/18 18:11	JP1Client
5	GMT+09:00	2003/12/18 18:31	2003/12/18 18:31	2003/12/18 18:43	JP1Admin
6	GMT+09:00	2003/12/18 18:47	2003/12/18 18:47	2003/12/18 18:48	JP1Client
7	GMT+09:00	2003/12/18 18:50	2003/12/18 18:50	2003/12/18 18:53	JP1Client

3.1.6 印刷ジョブの履歴を管理できます

JP1/NPS で発生した印刷ジョブの出力に関するイベントログを、Windows のイベントビューアから参照できます。また、イベントビューアの [イベントのプロパティ] ダイアログボックスから、発生したイベントの詳細情報も表示できます。[イベントのプロパティ] ダイアログボックスを次の図に示します。

3. JP1/NPS とは

図 3-7 [イベントのプロパティ] ダイアログボックス



なお、JP1/NPS のイベントの種類については、「10. イベント」を参照してください。

3.2 他プログラムとの連携

JP1/NPS と連携するプログラムについて説明します。

3.2.1 JP1/Base および JP1/IM - Console との連携

JP1/Base は、イベントサービス機能を提供するプログラムです。また、JP1/IM - Console は、分散システムを集中的に監視するためのプログラムです。

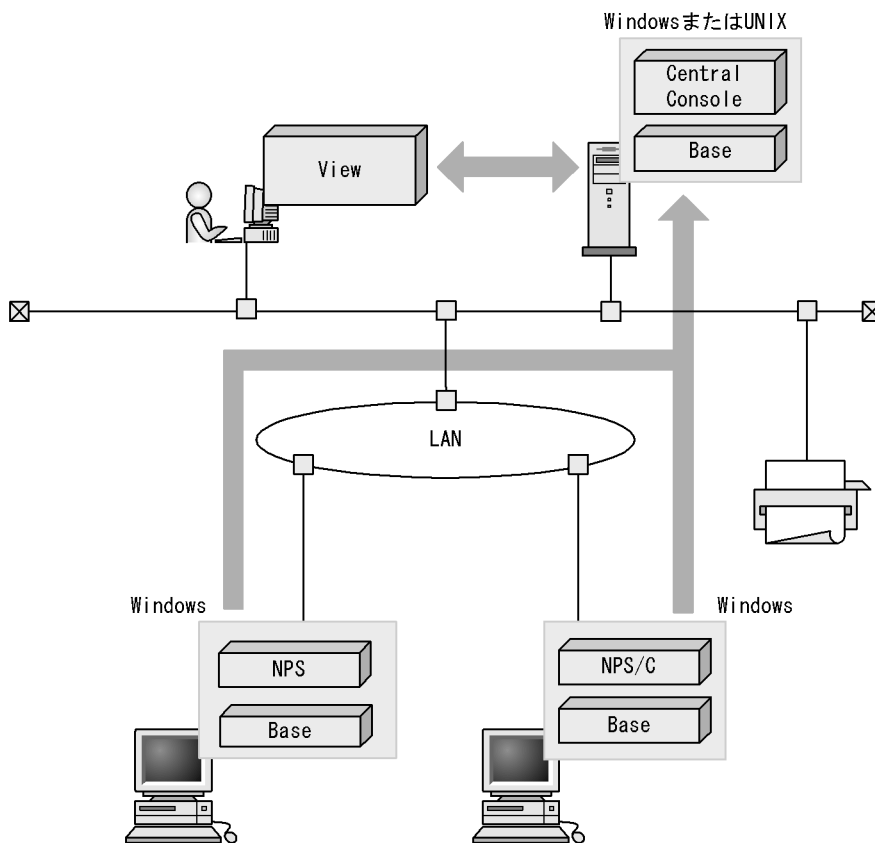
分散システム内での業務の実行状況や障害などの情報は、JP1 イベントとして、JP1/IM - Console に送られます。JP1/IM - Console は、JP1 イベントを登録、管理し、システム管理者の端末に表示します。

JP1/NPS と JP1/Base および JP1/IM - Console を組み合わせて使用すると、JP1/IM - View の画面から JP1/NPS のプリンタの状態やイベントを監視できます。JP1/Base および JP1/IM - Console については、マニュアル「JP1/Base」および「JP1/Integrated Manager - Console システム構築・運用ガイド」を参照してください。

JP1/Base および JP1/IM - Console と連携した場合のシステム構成の例を次の図に示します。

3. JP1/NPS とは

図 3-8 JP1/Base および JP1/IM - Console と連携した場合のシステム構成の例



(凡例)

NPS : JP1/NPS
NPS/C : JP1/NPS/Client
View : JP1/IM - View
Central Console : JP1/IM - Central Console
Base : JP1/Base

3.2.2 JP1/AJS2 との連携

JP1/AJS2 は、業務を自動的に運用するためのプログラムです。処理を順序づけて定期的
に実行したり、特定の事象が発生したときに処理を開始したりできます。

JP1/NPS と JP1/AJS2 を組み合わせて使うと、バッチジョブ (COBOL85/XMAP ランタ
イムシステムなどの帳票印刷プログラム使用時) を投入した JP1/AJS2 - Client Toolkit
に対しても、JP1/NPS が提供している次のダイアログボックス、またはメッセージボッ
クスを表示できます。

- [印刷完了通知] メッセージボックス
- [障害通知] ダイアログボックス

- [リカバリ指示] ダイアログボックス
- [用紙確認指示] ダイアログボックス
- 自動リカバリ時の他プリンタでの再印刷結果通知メッセージボックス

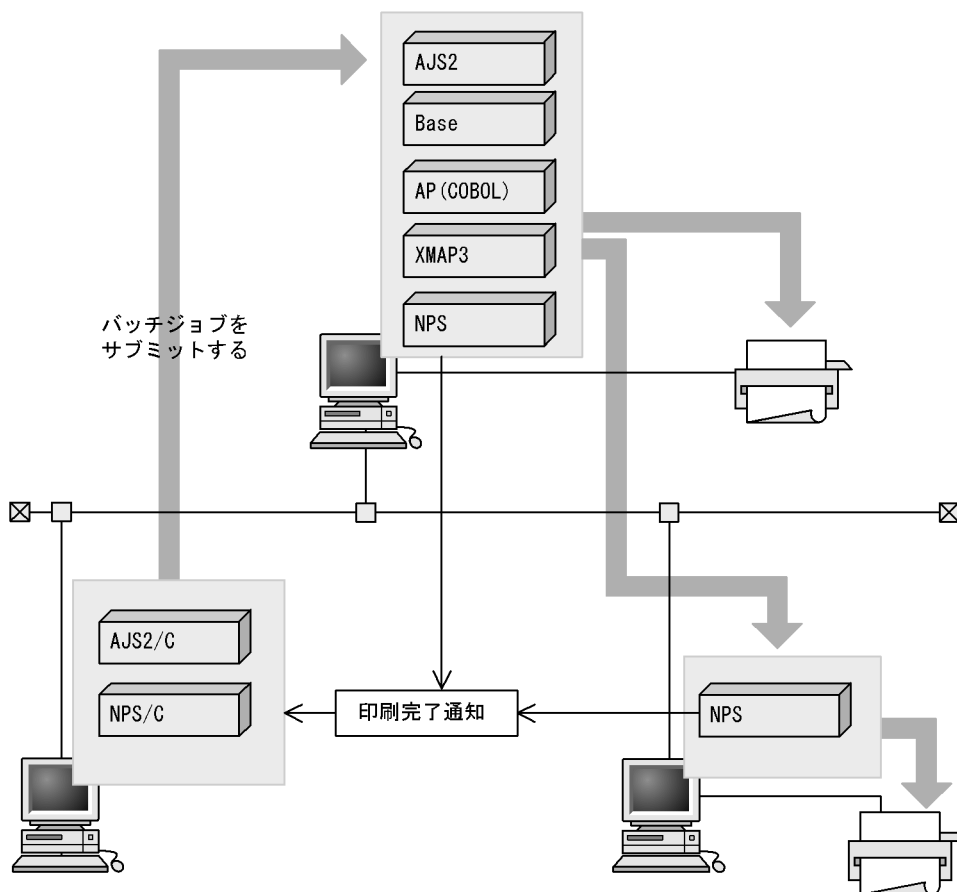
なお、JP1/AJS2 - Client Toolkit に対して JP1/NPS が提供しているダイアログボックス、メッセージボックスを表示させるには、次の条件を満たしている必要があります。

- XMAP3 で作成された印刷ジョブである。
- プリンタプロパティで、それぞれのダイアログボックスまたはメッセージボックスを「表示する」設定である。
- プリンタプロパティで、それぞれの通知先または応答先コンピュータ名が「CREATOR OWNER」である。

以上の条件を満たしていても、JP1/AJS2 - Client Toolkit のコンピュータ、または JP1/NPS/Client プログラムが停止している場合はダイアログボックスまたはメッセージボックスは表示されません。JP1/AJS2 については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 解説」を参照してください。

JP1/AJS2 と連携した場合のシステム構成の例を次の図に示します。

図 3-9 JP1/AJS2 と連携した場合のシステム構成の例



3.2.3 JP1/Cm2 または hp OpenView との連携

JP1/NPS と NNM とを組み合わせると、NNM から JP1/NPS で定義されているプリンタの状態を監視できます。

JP1/NPS を起動すると、NNM のノード・サブマップ上に、JP1/NPS で管理するプリンタがポート単位にシンボルとして登録されます。JP1/NPS のプリンタの状態は、シンボルの色で表示されます。JP1/NPS のプリンタに障害が発生した場合、ノード・サブマッ

プ上で対応するシンボルの色が変わり、ステータス・イベントブラウザにメッセージが表示されます。

JP1/NPS のシンボルは、Windows および UNIX の NNM のどちらからでも監視できます。

3.2.4 JP1/AJS2 for EAP との連携

JP1/AJS2 for EAP と連携すると、R/3 システムから投入した印刷ジョブの状態を確認できます。

JP1/AJS2 for EAP については、マニュアル「JP1/Automatic Job Management System 2 for Enterprise Applications」を参照してください。

3.3 JP1/NPS の注意事項

JP1/NPS, JP1/NPS/Client を使用する場合, 次に示す注意事項があります。

(1) サービスの停止

JP1/NPS の運用中に以下のサービスを停止しないでください。停止した場合は, JP1/NPS の動作を保証できません。

- Print Spooler サービス
- JP1/NPS サービス

(2) Windows のレジストリ

JP1/NPS および JP1/NPS/Client は, プログラム情報, プリンタ情報, 印刷ジョブ情報などを Windows のレジストリで管理しています。したがって, Windows のレジストリエディタで, JP1/NPS の情報を削除したり変更したりしないでください。削除や変更した場合, JP1/NPS の動作を保証できません。

また, JP1/NPS サービスをレジストリエディタで削除・変更した場合, JP1/NPS の動作を保証できません。

(3) Windows からの印刷ジョブの操作

Windows のプリンタフォルダから, プリンタや印刷ジョブの操作をしないでください。JP1/NPS および JP1/NPS/Client の動作が保証できなくなります。プリンタおよび印刷ジョブは, 必ず [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウから操作してください。

(4) プリンタ情報が設定してあるプリンタの削除

プリンタ情報を設定しているプリンタを削除する場合は, [JP1/NPS 構成定義] ウィンドウの [プリンタ] - [デフォルト情報に戻す] を選択してから, 削除してください。[デフォルト情報に戻す] を実行しないでプリンタを削除した場合, 仕様適合プリンタの検索時に存在しないプリンタが検索されることがあります。

(5) プリンタのポートの混在

1 台のコンピュータ上に, 印刷するポートが「#NPS_LPTx:」, 「LPTx:」, および「EXP_LPTx:」のプリンタを混在させることはできません。混在させた場合, 印刷できなくなります。

また, 「LPTx:」ポートを使用するほかのプログラムと併用すると, 印刷できなくなる場合があります。

(6) 印刷時のオプションについて

- N アップ, 両面印刷, または部数指定など, 印刷時のオプションを指定できるプリン

タでも、アプリケーションによっては、これらのオプションを使用できないことがあります。

また、オプションを指定できるプリンタでも、JP1/NPS でリモート印刷、リカバリ印刷、または印刷ジョブの操作などをした場合、指定したオプションが無効になったり、プリンタ障害が発生したりすることがあります。

- EMF スプーリングできるプリンタでも、印刷時にオプションを指定することで、印刷ジョブが RAW スプーリングされることがあります。

(7) ラインプリンタでの印刷続行について

ラインプリンタ系のプリンタでは、プリンタ障害発生時のプリンタ装置のバッファが保証されないプリンタがあります。したがって、リカバリ印刷時の印刷続行で正しく印刷できないことがあります。このため、ラインプリンタのリカバリ印刷は印刷続行以外のリカバリ印刷をしてください。

(8) プリンタ障害の検出について

- プリンタ障害を検出できない場合があります
データによって異なりますが、ページ数が少ない帳票を印刷する場合は、プリンタ障害を検出できないことがあります。また、プリンタ装置のメモリまたはディスクの容量が大きい場合、プリンタ装置によっては、プリンタ障害が発生してもプリンタ障害を通知できないことがあります。このような場合はリカバリ印刷できません。
- プリンタ障害が発生していない場合でも、プリンタ障害が検出されることがあります
印刷ジョブの最終ページを排出中に用紙切れなどの障害が発生した場合、プリンタ装置の機種によっては、最終ページが正しく排出されていても、プリンタ障害が検出されることがあります。
- 通知するプリンタ障害内容について
プリンタの機種または状態によって、実際の内容と通知される内容が異なる場合があります。

(9) DP300 を通常モードで運用する場合のネットワーク構成について

DP300 を通常モードで運用する場合は、次の設定が必要になります。正しく設定されていない場合、印刷はできますが、回線障害となります。

- プリントサーバが DNS (Domain Name System) で管理されている場合
DNS に登録するプリントサーバのホスト名には、プリントサーバのコンピュータ名を指定してください。
- プリントサーバが DNS で管理されていない場合
DP300 に登録するホスト情報定義のホスト名には、プリントサーバのコンピュータ名を指定してください。

(10) 課金情報について

- 印刷するポートが「#NPS_XDPx:」の場合
プリンタの状態監視が非同期モードの場合、正しい課金情報が得られないことがあります。課金情報を得る場合は、プリンタの状態監視を同期モードにして運用してください。

3. JP1/NPS とは

さい。

- 印刷するポートが「#NPS_LPDx:」の場合
プリンタの状態監視が非同期モードまたは非監視モードの場合、正しい課金情報が得られないことがあります。課金情報を得る場合は、プリンタの状態監視を同期モードにして運用してください。

(11)印刷中ジョブのキャンセルについて

キャンセルを実行するタイミングによって、キャンセルが受け付けられない場合があります。また、印刷中ジョブのキャンセルを受け付けた場合でも、キャンセルされなかったり、キャンセルに時間が掛かったりすることがあります。

(12)印刷ジョブのプリンタ間の移動について

移動元と移動先のプリンタは同じプリンタ機種、同じプリンタドライバを使用してください。また、用紙の向きなどの設定も同じにしてください。

移動元と移動先で異なるプリンタを使用した場合、正しく印刷できなかったり、Windows の Print Spooler サービスが停止したりすることがあります。

JP1/NPS で印刷ジョブをほかのプリンタに移動して印刷するための操作を、次に示します。

- [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウで印刷ジョブをほかのプリンタへ移動またはコピーする
- リカバリ印刷時にほかのプリンタで印刷する
- 自動リカバリの他プリンタでの再印刷機能で、ほかのプリンタで印刷する
- ジョブの自動コピーオプション機能でほかのプリンタへ印刷ジョブをコピーする
- 仕分け配布機能でほかのプリンタへ印刷ジョブを配布する

(13)Windows のサービスの回復操作について

JP1/NPS サービスの回復操作には、次の値を設定してください。

- OS が Windows 2000 の場合
「何もしない」または「ファイルを実行する」
- OS が Windows XP または Windows Server 2003 の場合
「何もしない」または「プログラムを実行する」

(14)Windows の Guest アカウントについて

Windows の Guest アカウントで JP1/NPS を運用したり印刷したりしないでください。Windows の Guest アカウントで JP1/NPS を運用したり印刷したりした場合、JP1/NPS の動作を保証できません。

(15)JP1/NPS サービスについて

印刷時は、JP1/NPS サービスが開始している必要があります。JP1/NPS サービスが開始

していないと、正しく印刷できません。

なお、システム起動時は、JP1/NPS サービスより Print Spooler サービスが先に開始されます。プリンタキューに印刷ジョブがスプールされている状態でシステムを再起動すると、システム起動時 JP1/NPS サービスが開始する前に印刷が始まってしまうので注意してください。

(16) 印刷ジョブのプレビューについて

印刷ジョブをプレビューすると、印刷アプリケーションおよびプリンタドライバがスプールした印刷ジョブの印刷イメージを、ディスプレイ上に表示します。ディスプレイドライバとプリンタドライバとの能力、解像度などの違いから、表示される内容は、実際にプリンタに出力される用紙の内容と異なる場合があります。また、表示倍率によって表示される内容が異なる場合があります。

内容が異なる場合の例を次に示します。

- 罫線の太さが異なる、または罫線が表示されない
- 文字のフォントやサイズ、色、表示位置が異なる、または文字列の途中までしか表示されない
- 表示倍率を変更しても文字の倍率が変わらない
- 画像の色が異なる、または画像が表示されない
- 表示サイズが異なる、または表示範囲が異なる

(17) プリンタ情報およびポート情報の設定について

プリンタ情報やポート情報を設定、または変更する場合は、印刷ジョブが印刷中になっていないことを確認してください。印刷ジョブの印刷中にプリンタ情報やポート情報を設定、または変更した場合、JP1/NPS の動作を保証できません。

4

インストールとセットアップ

JP1/NPS および JP1/NPS/Client のインストールとセットアップの手順について説明します。

4.1 前提となるソフトウェアおよび動作環境

4.2 インストールとアンインストール

4.3 セットアップ

4.4 JP1/NPS/Client プログラム

4.5 JP1/Cm2/NNM または hp OpenView NNM と連携する場合のセットアップ

4.1 前提となるソフトウェアおよび動作環境

この節では、プログラムの前提となるソフトウェア構成および動作環境について説明します。

4.1.1 必要なソフトウェア

プログラムの動作には、次に示すソフトウェアのうちどれか一つが必要です。

- Windows 2000 Professional
- Windows 2000 Server
- Windows 2000 Advanced Server
- Windows XP Professional
- Windows Server 2003 Enterprise Edition
- Windows Server 2003 Standard Edition

4.1.2 動作環境

プログラムが正常に動作するためには、次の環境が必要です。

- コンピュータ名の長さ：半角 15 文字以内
- プリンタ名の長さ：半角 32 文字以内
- 印刷ジョブ名の長さ：半角 259 文字以内

4.2 インストールとアンインストール

この節では、JP1/NPS および JP1/NPS/Client をインストールする手順を説明します。また、アンインストールおよび再インストールする手順についても説明します。

なお、JP1/NPS、JP1/NPS/Client は、Windows を起動した直後にインストール、アンインストール、または再インストールしてください。

4.2.1 インストールする

1. Administrators グループのメンバーとしてシステムにログオンする。
2. ドライブに JP1/NPS の提供媒体をセットする。
インストールプログラムの初期画面が表示されます。インストールプログラムの指示に従って JP1/NPS または JP1/NPS/Client をインストールしてください。インストールが正常に終了すると、「JP1_Network Printing System」および「スタートアップ」フォルダに次のアイコンが登録されます。

「JP1_Network Printing System」フォルダに登録されるアイコン

「JP1_Network Printing System_Client 環境定義」アイコン

「JP1_Network Printing System_Client 手動開始」アイコン

「マネージャ」アイコン

「環境設定」アイコン

「構成定義」アイコン (JP1/NPS だけ)

「仕分け環境定義」アイコン (JP1/NPS だけ)

「仕分け結果確認」アイコン (JP1/NPS だけ)

「仕分け情報定義」アイコン (JP1/NPS だけ)

「スタートアップ」フォルダに登録されるアイコン

「JP1_Network Printing System_Client 自動開始」アイコン

3. Windows を再起動する。

4.2.2 アンインストールする

JP1/NPS シリーズのプログラムはファイルだけで構成されるプログラムではないため、プログラムを削除する場合は、必ずアンインストールプログラムを使って削除してください。

JP1/NPS のアンインストールの方法を次に示します。

1. Administrators グループのメンバーとしてシステムにログオンする。
2. プログラムを停止する。
印刷ジョブが残っていないことを、[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウで確認してください。また、タスクトレイに登録されている JP1/NPS/Client プログラムなど、

4. インストールとセットアップ

JP1/NPS のプログラムを停止させてください。

3. JP1/NPS 用のプリンタを削除する。
JP1/NPS 用にセットアップされたプリンタを削除してください。
4. Windows の [コントロールパネル] を使用して、プログラムをアンインストールする。

Windows 2000 の場合

1. Windows の [スタート] メニューから、[設定] - [コントロールパネル] を選択して、[アプリケーションの追加と削除] を実行する。
[アプリケーションの追加と削除] ダイアログボックスが表示されます。
2. アンインストールしたいプログラムを選択し、[削除] をクリックする。

Windows XP または Windows Server 2003 の場合

1. Windows の [スタート] メニューから、[設定] - [コントロールパネル] を選択して、[プログラムの追加と削除] を実行する。
[プログラムの追加と削除] ダイアログボックスが表示されます。
2. アンインストールしたいプログラムを選択し、[変更と削除] をクリックする。

5. Windows を再起動する。

4.2.3 再インストールする

プログラムを最新バージョンに更新する場合や、プログラムにトラブルが発生した場合などは、プログラムを再インストールする必要があります。プログラムを再インストールしても、JP1/NPS、JP1/NPS/Client の定義情報は引き継がれます。

プログラムを再インストールする手順を説明します。

1. プログラムを停止する。
印刷ジョブが残っていないことを、[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウで確認してください。また、タスクトレイに登録されている JP1/NPS/Client プログラムなど、JP1/NPS のプログラムを停止させてください。

このあと、JP1/NPS をインストールします。インストールの手順については、「4.2.1 インストールする」を参照してください。

4.2.4 インストールおよびアンインストール時の注意事項

(1) バージョンアップインストールについて

バージョンアップインストール後も、JP1/NPS および JP1/NPS/Client の定義情報は引き継がれます。

また、旧バージョンで、JP1/NPS/Distributor または JP1/NPS/Distributor/Client を使

用している場合、バージョンアップインストール後も仕分け配布の定義情報は引き継がれます。インストール先フォルダは次のフォルダへ統合されます。

JP1/NPS または JP1/NPS/Client インストール先フォルダ ¥JP1NPSDIST

なお、JP1/NPS/Distributor/Client を使用している場合、バージョンアップインストール後、次の JP1/NPS/Distributor/Client のプログラムは削除されます。

- Distributor 仕分け情報定義
- Distributor 仕分け結果確認
- Distributor 環境定義
- Distributor Notes Mail サービス (Windows NT の場合)

(2) OS アップグレードに伴う再インストールについて

OS のアップグレード後に JP1/NPS または JP1/NPS/Client を再インストールした場合、再インストール後も JP1/NPS の定義情報は引き継がれます。

OS のアップグレードに伴って、プリンタドライバの入れ替えが必要になる場合があります。プリンタドライバの入れ替えについては、ご使用のプリンタ装置のマニュアルを参照してください。

(3) インストール時に表示される [プログラムフォルダの選択] 画面について

インストール時に表示される [プログラムフォルダの選択] 画面には、必ず初期値の「JP1_Network Printing System」が表示されます。インストール済みの JP1/NPS または JP1/NPS/Client のプログラムフォルダが初期値と異なる場合でも、「JP1_Network Printing System」が表示されます。

(4) 再インストール時のインストール先フォルダおよびプログラムフォルダの変更について

プログラムの再インストール時に、インストール済みの JP1/NPS または JP1/NPS/Client と異なるインストール先フォルダおよびプログラムフォルダを選択した場合、変更前のインストール先フォルダおよびプログラムフォルダは残ったままとなります。変更前のフォルダに残ったファイルは削除してください。

(5) JP1/Cm2/NNM と連携する場合のインストールについて

JP1/NPS をインストールする前に JP1/Cm2/NNM をインストールしてください。また、JP1/NPS のインストール時には、JP1/Cm2/NNM のサービスが開始していること、JP1/Cm2/NNM のウィンドウが起動していないことを確認してください。

JP1/Cm2/NNM よりあとに JP1/NPS をインストールする場合は、「4.5 JP1/Cm2/NNM または hp OpenView NNM と連携する場合のセットアップ」を参照してください。

4. インストールとセットアップ

(6) JP1/Cm2/NNM と連携する場合のインストール先フォルダについて

JP1/Cm2/NNM の仕様で、スペースを含むフォルダ名を使用したパスに存在するアプリケーションの動作を許可していないバージョンがあります。このような場合は、JP1/NPS のインストール先フォルダにスペースを含まないパスを指定してください。

(7) JP1/Cm2/NNM と連携する場合のアンインストールについて

JP1/NPS をアンインストールする前に JP1/Cm2/NNM のサービスが開始していること、JP1/Cm2/NNM のウィンドウが起動していないことを確認してください。

アンインストール後、JP1/Cm2/NNM のウィンドウに JP1/NPS のシンボルが残ったままとなります。必要がない場合は削除してください。

4.3 セットアップ

この節では、JP1/NPS および JP1/NPS/Client のセットアップについて説明します。

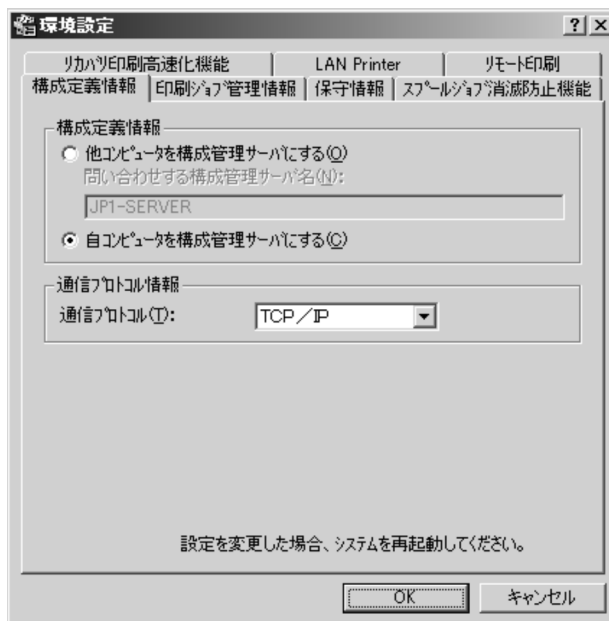
4.3.1 [環境設定] ダイアログボックスでのセットアップ

[環境設定] ダイアログボックスを表示するには、Windows の [スタート] メニューから、[プログラム] - [JP1_Network Printing System] - [環境設定] を選択します。

なお、[環境設定] ダイアログボックスで設定した環境設定情報は、Windows の再起動後に有効になります。そのため、環境設定後は、必ず Windows を再起動してください。環境設定後に Windows を再起動しない場合、JP1/NPS または JP1/NPS/Client の動作を保証できません。

[環境設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 4-1 [環境設定] ダイアログボックス



次に、[環境設定] ダイアログボックスの各タブについて説明します。

(1) [構成定義情報] タブ

このタブでは、構成管理サーバおよび通信プロトコル情報について設定します。

(a) 構成定義情報

プリンタ仕様を問い合わせる構成管理サーバ名を指定します。構成管理サーバとは、各プリンタのハードウェア特有の仕様を管理しているサーバです。JP1/NPS では、構成管

4. インストールとセットアップ

理サーバを自コンピュータにするか、他コンピュータにするかについて設定できます。他コンピュータを構成管理サーバにした場合、および JP1/NPS/Client では、構成管理サーバとするサーバ名を設定します。

なお、JP1/NPS および JP1/NPS/Client で設定する構成管理サーバは、一つのシステム内ですべて同じ名称にしておく必要があります。

次に、構成管理サーバに関する注意事項を示します。

- 構成管理サーバが起動していない状態でプリンタ情報の変更またはプリンタ情報をデフォルト情報に戻す操作をした場合、構成管理サーバが起動するまでプリンタ情報は変更されません。
- 構成管理サーバを変更する場合は、プリントサーバ内にローカルプリンタが定義されていないことを確認してください。プリンタが定義されている場合は、すべてのプリンタのプリンタ情報をデフォルト情報に戻す必要があります。この場合、Windows を再起動してから、デフォルト情報に戻したプリンタ情報を再設定してください。プリンタ情報が存在する状態で構成管理サーバを変更してしまった場合、プログラムの動作を保証できません。誤って構成管理サーバを変更してしまった場合は、構成管理サーバを変更前の状態に戻してください。

(b) 通信プロトコルの選択

通信プロトコルを指定します。サーバとクライアントは、RPC (Remote Procedure Call) を使用して通信しています。また、通信プロトコルは標準で TCP/IP を使っています。したがって、スタンドアロンで使用する場合を除いて、すべて [TCP/IP] に統一してください。統一しない場合、正しく通信できなくなります。

なお、スタンドアロンで使う場合で、LAN ボードがないときは、「名前付きパイプ」を指定してください。

(2) [印刷ジョブ管理情報] タブ

このタブでは、印刷ジョブの操作やりかぶり印刷に必要な印刷ジョブ管理情報を保存するフォルダ (印刷ジョブ管理フォルダ) および印刷ジョブ操作イベントの出力について設定します。

(a) 印刷ジョブ管理情報

印刷ジョブ管理フォルダを指定します。このフォルダは、印刷ジョブが多ければ多いほどファイル容量が増加するため、システムドライブ以外のドライブに設定することをお勧めします。

なお、JP1/NPS の運用中に印刷ジョブ管理フォルダを変更しないでください。変更した場合、JP1/NPS および JP1/NPS/Client の動作を保証できません。印刷ジョブ管理フォルダを変更する場合は、プリンタにスプールされているすべての印刷ジョブを削除したあとで変更してください。

次に、印刷ジョブ管理フォルダに関する注意事項を示します。

- 印刷ジョブ管理フォルダにローカルコンピュータ以外のフォルダや誤った形式のフォルダを設定しないでください。設定した場合、印刷を保証できません。
- プリンタセットアップ後に [環境設定] ダイアログボックスで印刷ジョブ管理フォルダを変更しないでください。変更した場合、動作を保証できません。
- 印刷ジョブ管理フォルダには Windows で予約されている次の文字は使用できません。
使用した場合、印刷ができません。
/ : , ; * ? " < > |

(b) 印刷ジョブ操作イベント

このオプションでは、印刷ジョブ操作でのイベント出力について設定します。

マネージャ操作によるテスト印刷開始・再印刷開始イベントの設定

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウからテスト印刷または再印刷した場合にイベントを出力させたいときに選択します。このラジオボタンを選択した場合、次に示す発行契機でイベントが出力されます。

- テスト印刷開始イベント

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウから、印刷待ちまたは保留状態の印刷ジョブを選択して、[テスト印刷] を実行し、正常にジョブが登録された場合。

- 再印刷開始イベント

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウから、印刷済み状態の印刷ジョブを選択して、[再印刷] を実行し、正常にジョブが登録された場合。

マネージャ操作による印刷ジョブ操作系イベントの設定

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウで印刷ジョブを操作した場合に出力されるイベント情報内のユーザ名を、操作したユーザ名で記録できます。

操作したユーザ名で記録できるイベントを次の表に示します。

表 4-1 操作したユーザ名で記録できるイベント

イベント名称	イベント ID (Windows イベント)	イベント ID (JP1 イベント)
テスト印刷開始イベント	31	00003131
再印刷開始イベント	33	00003133
印刷ジョブ削除イベント	41	00003141
印刷ジョブの別プリンタ移動イベント	42	00003142
印刷ジョブのコピーイベント	43	00003143
印刷ジョブキャンセルイベント	44	00003144

(3) [保守情報] タブ

このタブでは、保守情報の取得に関する設定をします。

4. インストールとセットアップ

(a) イベントログオプション

障害を調査する場合に、付加的な情報を出力する設定ができます。このオプションを指定すると、イベントログにアプリケーションログとして詳細なエラー情報を出力します。

「障害ログ出力レベル」の値の意味を次に示します。デフォルトは「無効」です。なお、通常の運用時は、「無効」を設定してください。

- 「無効」：出力しない
- 「1」：少量のログを出力する
- 「2」：多量のログを出力する

(b) イベントログ取得対象

このオプションは通常の運用時には指定しないでください。このオプションを指定すると、障害レベルの設定に関係なく、JP1/NPSの詳細なエラー情報を出力できます。

(4) スプールジョブ消滅防止機能

このタブでは、印刷ジョブが消える場合の処置を設定します。通常の運用時は「無効」を選択してください。

Windowsのスプールフォルダは、デフォルトのスプールフォルダとは別のフォルダに変更してください。変更した場合でも、次に示す操作でスプールフォルダから印刷ジョブが消えるときは、このオプションを設定します。

- ネットワークプリンタへ接続した時
- プリンタフォルダの表示、印刷、印刷ジョブの移動など、接続しているネットワークプリンタにアクセスした時

スプールフォルダの変更方法は、「4.3.2 (2) Windowsのスプールフォルダ」を参照してください。

この機能はWindowsの再起動後に有効になります。ただし、この機能を有効にしている状態でも、ネットワークプリンタへ接続した場合などに、印刷ジョブが消えることがあります。

(5) リカバリ印刷高速化機能

このタブでは、プリンタ障害発生時にリカバリ印刷（テスト印刷、再印刷、または印刷ジョブのキャンセル）を速やかに実行する設定をします。通常の運用時は[有効]を選択してください。

ただし、リカバリ印刷高速化機能を有効にしている状態でも、プリンタのプロパティで[印刷後ドキュメントを残す]をチェックしていない場合、この機能は有効になりません。

[印刷後ドキュメントを残す]をチェックした設定のプリンタで印刷後、印刷ジョブを削除したい場合は、プリンタプロパティの[プリンタオプション1]タブで[印刷済みジョ

ブの保存時間] を 1 分に設定してください。

なお、リカバリ印刷高速化機能を有効にしている状態で、リカバリ印刷が正常に動作しない場合は、この機能を無効にしてください。

(6) LAN Printer

このタブでは、通信ポートで障害が発生した場合の処理を設定します。

通信ポート確保失敗時の再試行までのインターバル

LAN 接続プリンタへの印刷要求が受け付けられなかった場合、一定間隔で再試行します。再試行回数を超えても印刷要求が受け付けられなかった場合、プリンタ障害が検知されます。再試行までのインターバルは、0 ~ 60 秒で指定します。デフォルトは 3 秒です。

通信ポート確保失敗時の再試行回数

LAN 接続プリンタへの印刷要求が受け付けられなかった場合、一定間隔で再試行します。再試行回数を超えても印刷要求が受け付けられなかった場合、プリンタ障害が検知されます。再試行の回数は、0 ~ 9999 回の範囲で指定します。デフォルトは 1200 回です。

(7) リモート印刷

このタブでは、データが存在しない印刷ジョブをリモート印刷した場合の動作について設定します。この機能は、EMF スプーリングされた印刷ジョブについてだけ有効です。

[エラーメッセージを表示して応答を待つ]

データが存在しない印刷ジョブをリモート印刷したとき、エラーメッセージを表示して応答を待つ場合に選択します。エラーメッセージに回答すると、リモート印刷を中止して印刷ジョブをキャンセルします。

[エラーメッセージを表示せずに印刷ジョブをキャンセルする]

データが存在しない印刷ジョブをリモート印刷したとき、エラーメッセージを表示しないでリモート印刷を中止して印刷ジョブをキャンセルする場合に選択します。

デフォルトは、[エラーメッセージを表示して応答を待つ] です。

4.3.2 そのほかのセットアップ

JP1/NPS の運用前に必要な設定について説明します。

(1) JP1/NPS サービスのアカウント

JP1/NPS サービスは、障害発生時のリカバリ印刷やジョブの保存オプションなどの処理時に、プリンタや印刷ジョブを操作します。

JP1/NPS を初めてインストールしたあと、JP1/NPS サービスのアカウントはシステムアカウントになっているため、プリンタや印刷ジョブにアクセスできません。そのため、

4. インストールとセットアップ

インストール完了直後にサービスプログラムのアカウントを設定する必要があります。アカウントは Windows の [コントロールパネル] で、次に示すとおりに設定してください。

- ドメイン管理している場合
アカウント：ドメイン名 ¥Administrator (必ず Domain Admins グループに所属しておくこと)
パスワード：上記アカウントのパスワード
- ワークグループの場合
アカウント：Administrator (必ず Administrators グループに所属しておくこと)
パスワード：上記アカウントのパスワード

ただし、JP1/NPS をクライアントとして使う場合、クライアント側のアカウントとパスワードは、サーバ側と同じにする必要があります。

(2) Windows のスプールフォルダ

Windows のスプールフォルダを、次に示すデフォルトのスプールフォルダとは別のフォルダに変更してください。

Windows が組み込まれているフォルダ：¥SYSTEM32¥SPOOL¥PRINTERS

スプールフォルダを変更しない場合、次のどちらかの操作で印刷ジョブが消えることがあります。

- ネットワークプリンタへ接続したとき
- プリンタフォルダの表示、印刷、印刷ジョブの移動など、接続しているネットワークプリンタにアクセスしたとき

スプールフォルダは、Windows のプリンタフォルダから変更します。

1. [ファイル] - [サーバ - のプロパティ] を選択する。
[プリントサーバーのプロパティ] が表示されます。
2. [詳細設定] タブの [スプールフォルダ] にスプールフォルダを設定する。

Windows のスプールフォルダを変更する場合は、プリンタおよびプリントサーバ上に印刷ジョブがないことを確認してから実行してください。また、変更後は必ず Windows を再起動してください。印刷ジョブが存在する状態でスプールフォルダを変更した場合、JP1/NPS および JP1/NPS/Client の動作を保証できません。

(3) フォルダのアクセス権

以下のフォルダのアクセス権は、「Everyone」を「フルコントロール」にしてください。

- Windows のスプールフォルダ
- 印刷ジョブ管理フォルダ

(4) 外字の登録

ネットワークプリンタに対して外字を印刷する場合、クライアント側コンピュータに登録してある外字を、サーバ側コンピュータにも同じコードで登録する必要があります。クライアント側コンピュータとサーバ側コンピュータの外字コードが異なる、またはサーバ側コンピュータに外字コードが登録されていない場合、正しい外字を印刷できません。なお、サーバ側コンピュータでユーザをログオンしていない場合も、正しい外字を印刷できません。

(5) フォントの登録

ネットワークプリンタに対して印刷する場合、クライアント側コンピュータに登録してあるフォントをサーバ側コンピュータにも登録する必要があります。クライアント側コンピュータとサーバ側コンピュータに同一のフォントを登録していない場合、正しく印刷できません。

コンピュータに登録されていないフォントが埋め込まれている PDF ファイルをリモート印刷すると、正しく印刷できない、または印刷ジョブのプレビューで正しく表示されないことがあります。このような場合は、PDF ファイルに埋め込まれているフォントを、クライアント側コンピュータおよびサーバ側コンピュータに登録する、またはプリントサーバ上で印刷してください。

PDF ファイル以外でも、コンピュータに登録されていないフォントが埋め込まれているファイルのリモート印刷すると、正しく印刷できない、または印刷ジョブのプレビューで正しく表示されないことがあります。

(6) 用紙の設定

ネットワークプリンタに対してユーザ定義の用紙を使用して印刷する場合、クライアント側コンピュータに登録されている用紙とサーバ側コンピュータに登録されている用紙を合わせる必要があります。クライアント側コンピュータとサーバ側コンピュータで登録されている用紙が合っていないと、印刷できなかつたり、正しい用紙サイズで印刷できません。

用紙を登録するには、次のプログラムを実行してください。

JP1/NPS のインストールフォルダ `¥npsfrmst.exe`

詳細については、次のファイルを参照してください。

JP1/NPS のインストールフォルダ `¥npsfrmst.txt`

(7) Windows のイベントログの設定

印刷ジョブおよびプリンタ関連のイベントをアプリケーションログに出力するため、印刷量に見合ったアプリケーションログの最大サイズを指定することをお勧めします。

アプリケーションログの最大サイズは、Windows の [イベントビューア] で設定します。

4. インストールとセットアップ

1. Windows の [管理ツール] から [イベントビューア] を選択する。
[イベントビューア] が表示されます。
2. [アプリケーションログ] を選択して , [操作] - [プロパティ] を選択する。
[アプリケーション ログのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。
3. [全般] タブの [最大ログサイズ] を設定する。

なお、イベントログファイルが満杯状態のままシステムを使用しないでください。不要にメモリ不足が発生することがあります。

(8) ネットワークの設定

JP1/NPS および JP1/NPS/Client は、LAN 接続プリンタとの通信、ほかのサーバやクライアントとの通信に TCP/IP を使用します。Windows の「インターネットプロトコル (TCP/IP)」を正しく設定してください。

なお、JP1/NPS および JP1/NPS/Client は、ほかのサーバやクライアントとの通信に RPC を使用します。RPC を使用するには、Windows の hosts ファイルの設定やネームサービスの設定などにより、通信先コンピュータ名を指定して通信できるネットワーク環境が必要です。

4.4 JP1/NPS/Client プログラム

JP1/NPS をインストールすると、[JP1_Network Printing System] フォルダと [スタートアップ] フォルダに JP1/NPS/Client プログラムが登録されます。ログオンすると、[スタートアップ] フォルダに登録されている JP1/NPS/Client プログラムが起動し、タスクトレイに登録されます。

JP1/NPS/Client プログラムは次の機能を実行するプログラムです。

- 障害通知
- リカバリ指示
- 用紙確認
- 印刷完了通知
- 再印刷の結果通知（自動リカバリの他プリンタでの再印刷）
- リモート印刷用のプリンタに残る印刷済みジョブの削除（Windows XP または Windows Server 2003 の場合だけ）

JP1/NPS/Client プログラムは、JP1/NPS または JP1/NPS/Client を使用する場合に起動している必要があります。JP1/NPS/Client プログラムを停止した場合、上記の機能を使用できません。JP1/NPS/Client プログラムを停止した場合は、[JP1_Network Printing System] フォルダから JP1/NPS/Client プログラムを開始してください。

なお、[JP1/NPS/Client プログラム 環境定義] ダイアログボックスで、次に示す JP1/NPS/Client プログラムの環境を定義することができます。

- タスクトレイのアイコン表示
- JP1/NPS/Client プログラム停止の許可
- 設定情報の保護

JP1/NPS/Client プログラムの詳細については、オンラインヘルプを参照してください。

4.5 JP1/Cm2/NNM または hp OpenView NNM と連携する場合のセットアップ

JP1/NPS と NNM を連携する場合のセットアップについて説明します。

(1) 必要なソフトウェア

次のソフトウェアが必要です。

(a) マネージャとなるホスト側に必要なソフトウェア

ホストが Windows の場合

- SNMP サービス
- JP1/Cm2/NNM または hp OpenView NNM
- JP1/Network Printing System

ホストが UNIX の場合

- JP1/Cm2/NNM または hp OpenView NNM
- JP1/Network Printing System

(b) エージェントとなるホスト側に必要なソフトウェア

- SNMP サービス
- JP1/Network Printing System

(2) セットアップ手順

マネージャとなるホスト側（マネージャホスト）のセットアップが完了してから、エージェントとなるホスト側（エージェントホスト）のセットアップを始めてください。

(a) マネージャホストでのセットアップ手順

NNM は、JP1/NPS より先にインストールしてください。

JP1/NPS をインストールするときは、NNM のウィンドウを閉じて、NNM のサービスが開始している状態でインストールしてください。

JP1/NPS のあとに NNM をインストールする場合、NNM のインストール後、コマンドプロンプトなどから JP1/NPS のインストール先フォルダにあるバッチファイル「Tclnpsj.bat」を実行してください。このとき、NNM のウィンドウを閉じて、NNM のサービスが開始している状態で実行してください。なお、JP1/NPS をデフォルトとは異なるフォルダにインストールした場合は、メモ帳などのテキストエディタで、「Tclnpsj.bat」ファイル中のインストール先のフォルダ名（C:¥Win32APP¥HITACHI¥JP1NPS）を、JP1/NPS をインストールしたフォルダに書き換えてから実行してください。

(b) エージェントホストでのセットアップ手順

- SNMP サービスの設定

エージェントホストでは、Windows の SNMP サービスを使います。SNMP サービスのプロパティでコミュニティ名「Jp1Trap」を作成し、トラップ送信先を設定してください。SNMP サービスのプロパティは、Windows の [サービス] で設定します。

(c) サービスの依存関係の設定

JP1/NPS サービスよりも先に SNMP サービスが開始している必要があります。JP1/NPS サービスと SNMP サービスの間に依存関係を設定して、この順序でそれぞれのサービスを起動するようにします。

- 依存関係を設定するには

依存関係の設定には、JP1/NPS をインストールしたフォルダにある Depend.bat コマンドを使います。SNMP サービスと依存関係を結ぶには、Depend.bat を実行してください。

依存関係を設定すると、JP1/NPS サービスの起動時に SNMP サービスを自動的に開始します。また、SNMP サービスを停止すると、JP1/NPS サービスも停止します。

- 依存関係を解除するには

JP1/NPS サービスと SNMP サービスとの依存関係を解除するには、Depend.bat コマンドと同じフォルダにある Independ.bat コマンドを実行してください。

これらのサービス間の依存関係を解除しないで SNMP サービスをシステムから削除すると、JP1/NPS サービスが開始できなくなります。SNMP サービスを削除するときには、必ず依存関係を解除してください。

5

JP1/NPS の運用

JP1/NPS を運用する場合の設定および操作方法について説明します。なお、操作の詳細はオンラインヘルプを参照してください。

5.1 運用環境を設定する

5.2 印刷する

5.3 リカバリ印刷する

5.4 プリンタを管理する

5.5 印刷ジョブを操作する

5.6 用紙サイズを確認する

5.7 課金情報を収集する

5.8 JP1/Cm2 または hp OpenView から監視する

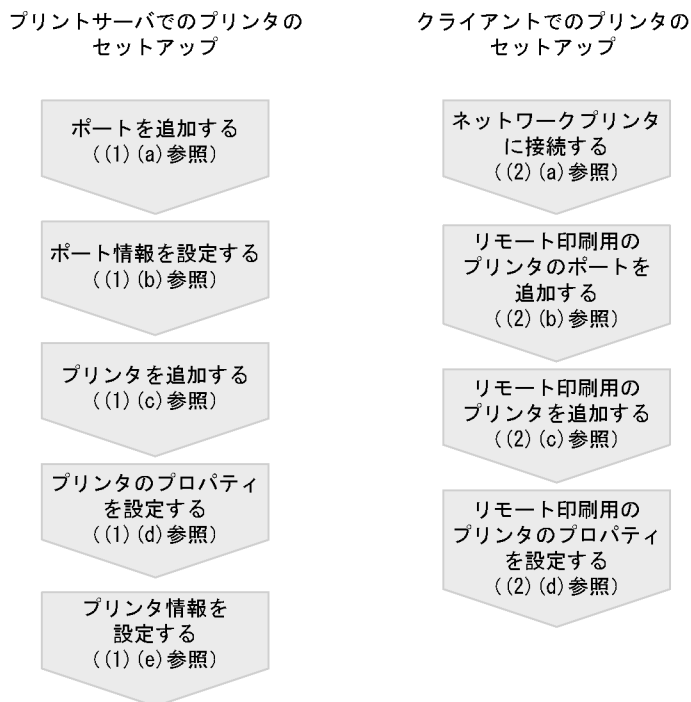
5.1 運用環境を設定する

JP1/NPS をセットアップしたあと、運用環境を設定します。

5.1.1 プリンタをセットアップする

プリントサーバおよびクライアントでのプリンタのセットアップの流れを、次の図に示します。

図 5-1 プリンタのセットアップの流れ



次に、それぞれの手順を説明します。また、プリントサーバのプリンタの削除およびプリンタ名の変更についても説明します。

(1) プリントサーバでプリンタをセットアップする

(a) ポートを追加する

JP1/NPS 用のポートを追加する手順を次に示します。なお、この説明では「#NPS_LPD1:」ポートを追加する例を示します。

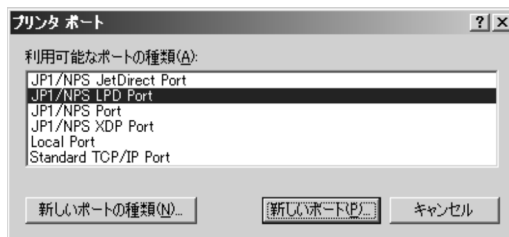
- Windows のプリンタフォルダで、[ファイル] - [サーバーのプロパティ] を選択し、[プリント サーバーのプロパティ] ダイアログボックスの [ポート] タブを表示する。

図 5-2 [プリント サーバーのプロパティ] ダイアログボックス ([ポート] タブ)



2. [ポートの追加] をクリックする。
[プリンタポート] ダイアログボックスが表示されます。

図 5-3 [プリンタポート] ダイアログボックス



3. [利用可能なポートの種類] 一覧から「JP1/NPS LPD Port」を選択して [新しいポート] をクリックする。
[JP1/NPS LPD ポート名] ダイアログボックスが表示されます。

図 5-4 [JP1/NPS LPD ポート名] ダイアログボックス



JP1/NPS 用のポートを追加する場合に、[利用可能なポートの種類] 一覧から選択するポート名を次の表に示します。

5. JP1/NPS の運用

表 5-1 JP1/NPS 用のポート一覧

ポート名	[利用可能なポートの種類] 一覧から選択するプリンタポート
「#NPS_LPTx:」 1	JP1/NPS Port
「#NPS_JETx:」 2	JP1/NPS JetDirect Port
「#NPS_XDPx:」 2	JP1/NPS XDP Port
「#NPS_LPDx:」 2	JP1/NPS LPD Port

注 1

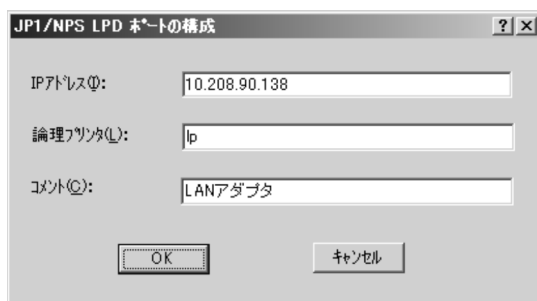
「#NPS_LPTx:」の x には、1 ~ 9 の値を昇順に指定してください。x は物理的なプリンタポートの数に対応します。したがって、コンピュータに複数のプリンタポートが実装されている場合は、「#NPS_LPT1:」、「#NPS_LPT2:」のように設定します。

注 2

「#NPS_JETx:」、「#NPS_XDPx:」、または「#NPS_LPDx:」の x には、1 ~ 99 の値を使用してください。

4. [ポート名の入力] に「#NPS_LPD1:」を指定して [OK] をクリックする。
[JP1/NPS LPD ポートの構成] ダイアログボックスが表示されます。

図 5-5 [JP1/NPS LPD ポートの構成] ダイアログボックス



5. [IP アドレス], [論理プリンタ], [コメント] を入力して [OK] をクリックする。
[論理プリンタ] には、プリンタ装置または LAN 装置に定義されている論理プリンタ、またはプリンタキューを指定します。指定する論理プリンタやプリンタキューについては、プリンタ装置または LAN 装置のマニュアルを参照してください。マニュアルに論理プリンタやプリンタキューについて記載がない場合は、任意の文字列を指定してください。
[コメント] には、任意の文字列を指定してください。指定を省略することもできます。

各ポートの使用条件および注意事項

JP1/NPS 用のポートには、次に示す使用条件および注意事項があります。

「#NPS_LPTx:」ポートの使用条件および注意事項

- 1台のコンピュータ上に、印刷するポートが「#NPS_LPTx:」、「EXP_LPTx:」、「LPTx:」のプリンタを混在させることはできません。混在させた場合、印刷ジョブが繰り返してスプールされたり、プリンタ装置に用紙が排出されずに印刷済みになったりするなど、正しく印刷できなくなります。また、「LPTx:」ポートを使用するほかのプログラムと併用する場合も、同様に正しく印刷できなくなります。
- 「#NPS_LPTx:」ポートのプリンタを追加したあとで Windows を再起動すると、Windows のプラグアンドプレイ機能によって「LPTx:」ポートのプリンタが自動作成されることがあります。この場合は次の手順でプリンタを設定してください。
 1. 「#NPS_LPTx:」ポートのプリンタを削除する。
「#NPS_LPTx:」ポートは削除しないでください。
 2. Windows が自動作成したプリンタのポートを「#NPS_LPTx:」ポートに設定する。
 3. Windows が自動作成したプリンタのプロパティを設定する。
プロパティの設定方法については、「(d) プリンタのプロパティを設定する」を参照してください。
 4. Windows を再起動して、プリンタが自動作成されないことを確認する。

「#NPS_JETx:」ポートの使用条件および注意事項

「#NPS_JETx:」ポートを使用する場合、次のような状況ではプリンタ競合が発生します。

- JP1/NPS 経由の印刷と JP1/NPS の管理するポート以外のポートを使用して、同時に印刷した場合
- 複数のポートから同一 IP アドレスの LAN 接続プリンタに対して、同時に印刷した場合
- 複数の物理的な印刷経路で、LAN 接続プリンタに対して同時に印刷した場合

プリンタ競合が発生すると、印刷やりかバリ印刷が正しくできなくなることがあります。プリンタ競合が発生する条件では、JP1/NPS の動作の保証はできません。そのため、「#NPS_JETx:」ポートを使用する場合は、次の点に注意してください。

- 1台の LAN 接続プリンタに対応する「#NPS_JETx:」ポートはシステム内で一つだけ設定してください。
- 複数のプリントサーバから同一の LAN 接続プリンタに対して、同時に印刷する環境を設定しないでください。
- LAN 接続プリンタに対して複数の物理的な印刷経路を設定しないでください。

「#NPS_XDPx:」ポートの使用条件および注意事項

- 複数の「#NPS_XDPx:」ポートに同時に印刷要求すると、ネットワークに負荷が掛かり、印刷性能に影響が出ることがあります。
- LAN 接続プリンタに対して「#NPS_XDPx:」ポート以外の物理的な印刷経路を設定しないでください。
- 印刷モードが非同期モードの場合、正しい課金情報が得られないことがあります。
- セキュリティ印刷ジョブの場合は、同期モードを設定していても DP300 のプリン

5. JP1/NPS の運用

タキューに登録し終わったときに印刷終了とします。

- DP300 上で印刷ジョブをキャンセル，一時停止，および割り込みした場合は印刷終了とします。
- セキュリティ印刷ジョブを複数組み合わせで印刷した場合，最初に検出したセキュリティ印刷ジョブだけ印刷完了メッセージを出力します。

「#NPS_LPDx:」ポートの使用条件および注意事項

「#NPS_LPDx:」ポートを使用する場合，次のような状況ではプリンタ競合が発生します。

- JP1/NPS 経由の印刷と JP1/NPS の管理するポート以外のポートを使用して，同時に印刷した場合
- 複数のポートから同一 IP アドレスの LAN 接続プリンタに対して，同時に印刷した場合
- 複数の物理的な印刷経路で，LAN 接続プリンタに対して同時に印刷した場合

プリンタ競合が発生すると，印刷やリカバリ印刷が正しくできなくなることがあります。プリンタ競合が発生する条件では，JP1/NPS の動作の保証はできません。そのため，「#NPS_LPDx:」ポートを使用する場合は，次の点に注意してください。

- 1 台の LAN 接続プリンタに対応する「#NPS_LPDx:」ポートはシステム内で一つだけ設定してください。
- 複数のプリントサーバから同一の LAN 接続プリンタに対して，同時に印刷する環境を設定しないでください。
- LAN 接続プリンタに対して複数の物理的な印刷経路を設定しないでください。

(b) ポート情報を設定する

(a) で追加したポートに，ポート情報を設定します。ポート情報は [JP1/NPS 構成定義] ウィンドウのポートのプロパティで設定します。設定方法については，「5.1.3 ポート情報を設定する」を参照してください。

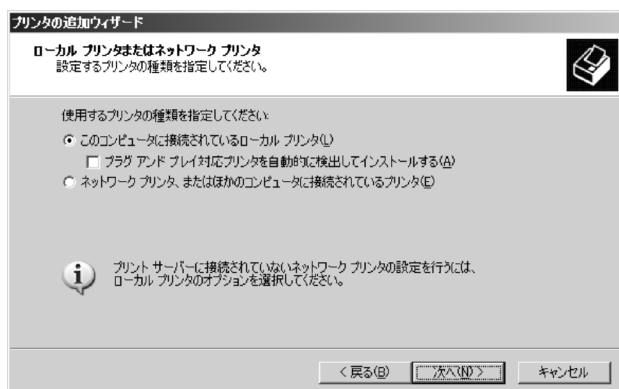
(c) プリンタを追加する

プリンタを追加する手順を次に示します。

1. Windows のプリンタフォルダから，[プリンタの追加ウィザード] を表示して [次へ] をクリックする。

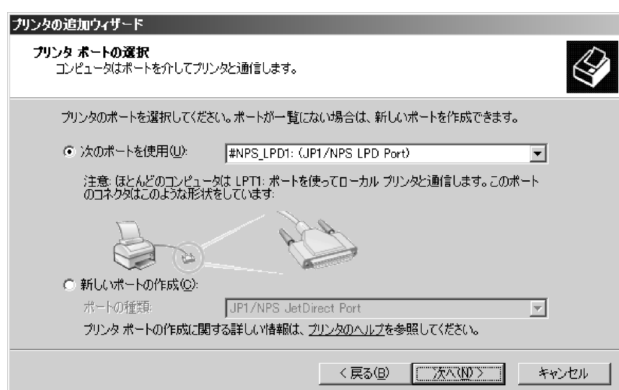
[プリンタの追加ウィザード] プリンタの種類選択画面が表示されます。

図 5-6 [プリンタの追加ウィザード] プリンタの種類選択画面



- Windows 2000 の場合は [ローカル プリンタ], Windows XP または Windows Server 2003 の場合は [このコンピュータに接続されているローカル プリンタ] をチェックして [次へ] をクリックする。
[プリンタの追加ウィザード] プリンタポートの選択画面が表示されます。

図 5-7 [プリンタの追加ウィザード] プリンタポートの選択画面



- [次のポートを使用] から、JP1/NPS が管理するポートを選択して、[次へ] をクリックする。
[プリンタの追加ウィザード] プリンタドライバの選択画面が表示されます。

5. JP1/NPS の運用

図 5-8 [プリンタの追加ウィザード] プリンタドライバの選択画面



4. プリンタ装置に適応したプリンタドライバを選択して [次へ] をクリックする。
[プリンタの追加ウィザード] プリンタ名入力画面が表示されます。
一覧にプリンタドライバがない場合は、[ディスク使用] をクリックして、プリンタ
付属の CD-ROM などからプリンタドライバをインストールしてください。

図 5-9 [プリンタの追加ウィザード] プリンタ名入力画面



5. プリンタ名を半角 32 文字以内で指定して [次へ] をクリックする。
[プリンタの追加ウィザード] プリンタ共有画面が表示されます。

図 5-10 [プリンタの追加ウィザード] プリンタ共有画面



プリンタ名を指定する場合の注意事項を次に示します。

- プリンタ名に次の半角文字は使用できません。
¥ / : , ; * ? " < > | @
- プリンタ名の最後にスペースを使用できません。
- 「LPT1」や「COM1」など、ポート名と同じプリンタ名は使用できません。

6. プリンタを共有する場合、共有名を半角 32 文字以内で指定して [次へ] をクリックする。
7. [場所], [コメント], およびテストページの印刷などを設定して、プリンタの追加ウィザードを終了する。

(d) プリンタのプロパティを設定する

Windows のプリンタプロパティで、次のように設定します。

[ポート] タブ

プリンタプロパティの [ポート] タブを次の図に示します。

図 5-11 プリンタプロパティ [ポート] タブ



設定項目を説明します。

[双方向サポートを有効にする]

チェックしない

[プリンタ プールを有効にする]

チェックしない

[詳細設定] タブ

プリンタプロパティの [詳細設定] タブを次の図に示します。

図 5-12 プリンタプロパティ [詳細設定] タブ



設定項目を説明します。

[印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う]
選択する

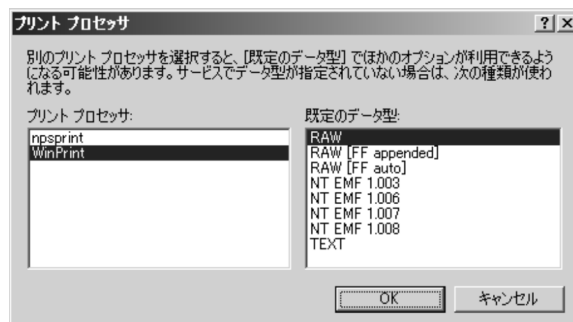
[全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る]
選択する

[印刷後ドキュメントを残す]
チェックする

[詳細な印刷機能を有効にする]
チェックする

[詳細設定] タブの [プリントプロセッサ] をクリックして、[プリントプロセッサ] ダイアログボックスを表示します。

図 5-13 [プリントプロセッサ] ダイアログボックス



[プリント プロセッサ]

「WinPrint」

[既定のデータ型]

「RAW」

- EMF スプーリングについて

[詳細設定] タブの [詳細な印刷機能を有効にする] をチェックすると、EMF スプーリングが有効になります。ただし、プリンタドライバによっては、このチェックと合わせて、プリンタプロパティのそのほかのタブや、プリンタの印刷設定や標準の設定で EMF スプーリングの設定が必要な場合もあります。EMF スプーリングの設定方法については、プリンタのマニュアルを参照してください。次に、EMF スプーリングの設定例を示します。

(例) そのほかのタブに EMF スプーリングの設定がある場合

プリンタプロパティの任意のタブで EMF スプーリングを設定します。

図 5-14 プリンタプロパティ ([デバイスの設定] タブの EMF スプーリング設定例)



(例) 印刷設定、標準の設定に EMF スプーリングの設定がある場合

プリンタプロパティで [印刷設定] や [標準の設定] をクリックすると、プリンタドライバの画面が表示されます。

表示された画面で EMF スプーリングを設定します。

図 5-15 プリンタプロパティ ([印刷設定] ダイアログボックスの EMF スプーリング設定例)



[印刷設定] と [標準の設定] の違いについては Windows のオンラインヘルプを参照してください。

(e) プリンタ情報を設定する

(e) で追加したプリンタにプリンタ情報を設定します。プリンタ情報は [JP1/NPS 構成定義] ウィンドウのプリンタプロパティで設定します。設定方法については、「5.1.2 プリンタ情報およびデフォルト情報を設定する」を参照してください。

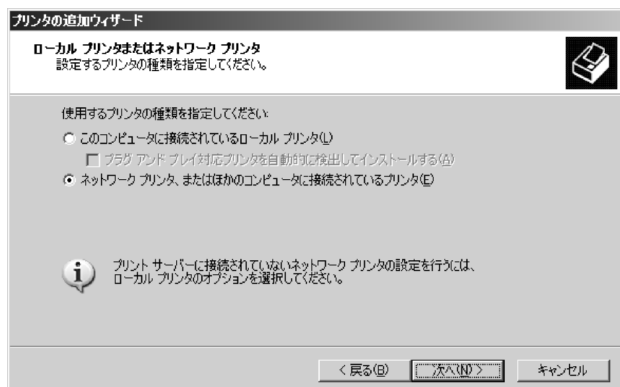
(2) クライアントでプリンタをセットアップする

(a) ネットワークプリンタに接続する

ネットワークプリンタを接続する手順を次に示します。

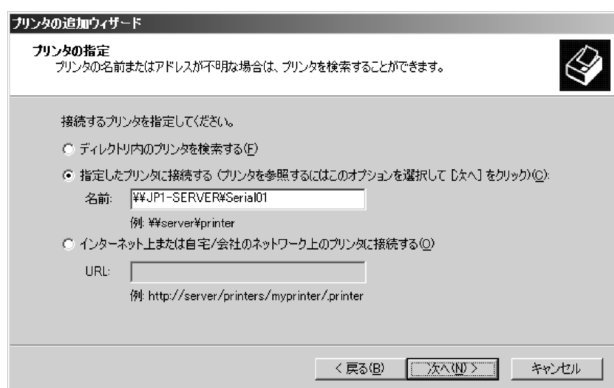
1. Windows のプリンタフォルダから、[プリンタの追加ウィザード] を表示して [次へ] をクリックする。
[プリンタの追加ウィザード] プリンタの種類選択画面が表示されます。

図 5-16 [プリンタの追加ウィザード] プリンタの種類選択画面



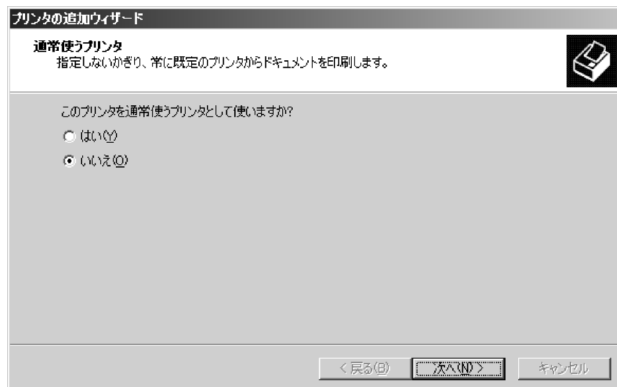
- Windows 2000 の場合は [ネットワーク プリンタ], Windows XP または Windows Server 2003 の場合は [ネットワーク プリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ] をチェックして [次へ] をクリックする。
[プリンタの追加ウィザード] プリンタの指定画面が表示されます。

図 5-17 [プリンタの追加ウィザード] プリンタの指定画面



- [指定したプリンタに接続する] で、接続するプリンタを選択する。
[プリンタの追加ウィザード] 通常使うプリンタの選択画面が表示されます。

図 5-18 [プリンタの追加ウィザード] 通常使うプリンタの選択画面



4. [いいえ] (通常使うプリンタに設定しない) をチェックして [次へ] をクリックする。

プリンタの追加ウィザードが完了します。

(b) リモート印刷用のプリンタのポートを追加する

リモート印刷用のプリンタのポートを追加する手順を次に示します。

1. Windows のプリンタフォルダで、[ファイル] - [サーバーのプロパティ] を選択し、[プリント サーバーのプロパティ] ダイアログボックスの [ポート] タブを選択する。

図 5-19 [プリント サーバーのプロパティ] ダイアログボックス ([ポート] タブ)



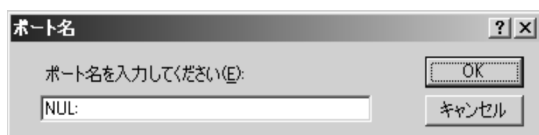
2. [ポートの追加] をクリックする。
[プリンタポート] ダイアログボックスが表示されます。

図 5-20 [プリントポート] ダイアログボックス



3. [利用可能なポートの種類] 一覧から「Local Port」を選択して [新しいポート] をクリックする。
[ポート名] ダイアログボックスが表示されます。

図 5-21 [ポート名] ダイアログボックス



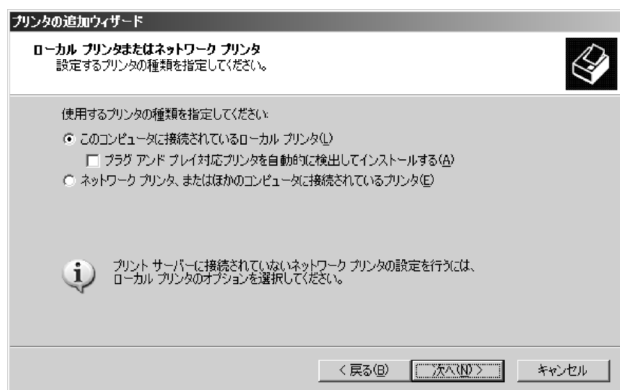
4. [ポート名を入力してください] に「NUL:」を指定して [OK] をクリックする。
ポートの追加が完了します。

(c) リモート印刷用のプリンタを追加する

リモート印刷用のプリンタを作成する手順を次に示します。

1. Windows のプリンタフォルダから , [プリンタの追加ウィザード] を表示して [次へ] をクリックする。
[プリンタの追加ウィザード] プリンタの種類選択画面が表示されます。

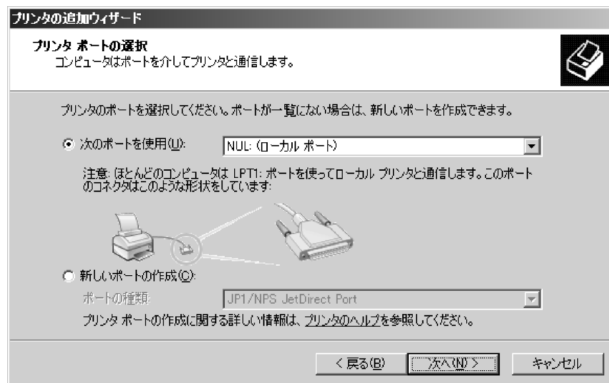
図 5-22 [プリンタの追加ウィザード] プリンタの種類選択画面



2. Windows 2000 の場合は [ローカル プリンタ] , Windows XP または Windows Server 2003 の場合は [このコンピュータに接続されているローカル プリンタ] を選択して ,

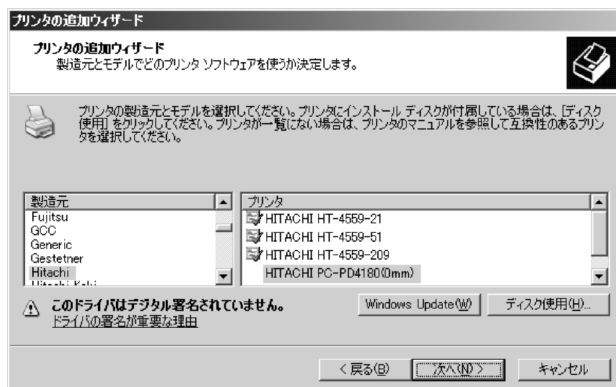
- [次へ] をクリックする。
 [プリンタの追加ウィザード] プリンタポートの選択画面が表示されます。

図 5-23 [プリンタの追加ウィザード] プリンタポートの選択画面



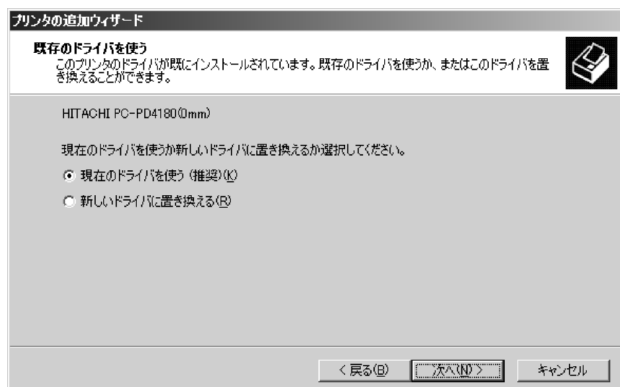
3. [次のポートを使用] から「NUL:」ポートを選択して [次へ] をクリックする。
 [プリンタの追加ウィザード] プリンタドライバの選択画面が表示されます。

図 5-24 [プリンタの追加ウィザード] プリンタドライバの選択画面



4. 接続したネットワークプリンタと同じプリンタドライバを選択して [次へ] をクリックする。
 [プリンタの追加ウィザード] ドライバ置き換え画面が表示されます。

図 5-25 [プリンタの追加ウィザード] ドライバ置き換え画面



一覧にプリンタドライバがない場合は、[ディスク使用] をクリックして、プリンタに付属している CD-ROM などからプリンタドライバをインストールしてください。

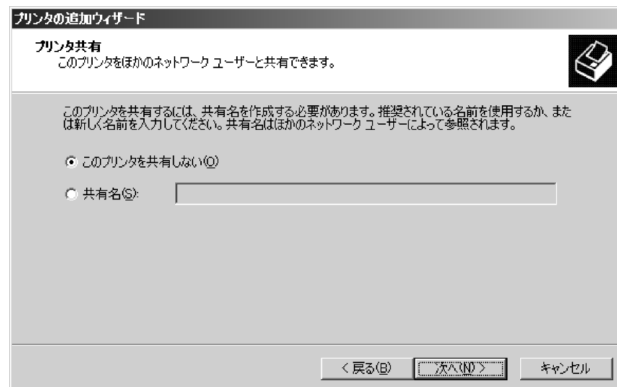
- 5. [現在のドライバを使う (推奨)] を選択して [次へ] をクリックする。
[プリンタの追加ウィザード] プリンタ名入力画面が表示されます。

図 5-26 [プリンタの追加ウィザード] プリンタ名入力画面



- 6. 対応するネットワークプリンタのプリンタ名とサーバ名を、「プリンタ名 @ サーバ名 (@ は半角)」の形式で指定して [次へ] をクリックする。
[プリンタの追加ウィザード] プリンタ共有画面が表示されます。

図 5-27 [プリンタの追加ウィザード] プリンタ共有画面



7. [このプリンタを共有しない] をチェックして [次へ] をクリックする。
 テストページの印刷を選択し、リモート印刷用のプリンタの追加を終了します。

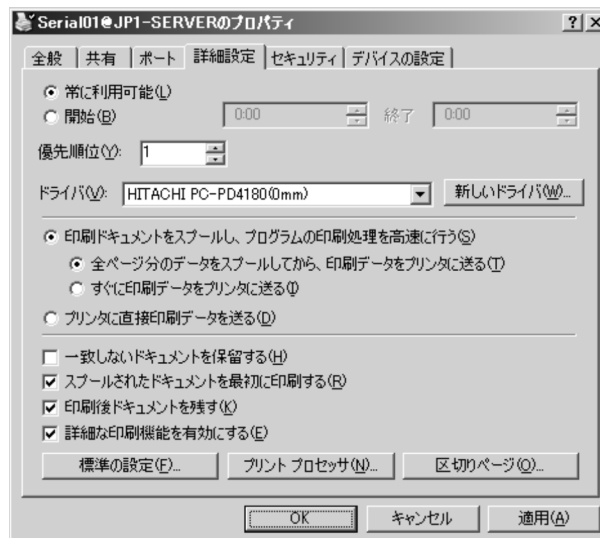
(d) リモート印刷用のプリンタのプロパティを設定する

Windows のプリンタプロパティで、次のように設定します。

[詳細設定] タブ

プリンタプロパティの [詳細設定] タブを次の図に示します。

図 5-28 プリンタプロパティ [詳細設定] タブ



設定項目を説明します。

- [印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う]
 選択する

5. JP1/NPS の運用

[全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る]
選択する

[印刷後ドキュメントを残す]

- Windows 2000 の場合：チェックしない
- Windows XP または Windows Server 2003 の場合：チェックする

[詳細な印刷機能を有効にする]

チェックする

[プリントプロセッサ] をクリックして、[プリントプロセッサ] ダイアログボックスを表示します。

図 5-29 [プリントプロセッサ] ダイアログボックス



[プリント プロセッサ]

「npsprint」

[既定のデータ型]

「NT EMF 1.008」

- EMF スプーリングについて

[詳細設定] タブの [詳細な印刷機能を有効にする] をチェックすると、EMF スプーリングが有効になります。ただし、プリンタドライバによっては、このチェックと合わせて、プリンタプロパティのそのほかのタブや、プリンタの印刷設定や標準の設定で EMF スプーリングの設定が必要なプリンタもあります。EMF スプーリングの設定方法については、プリンタのマニュアルを参照してください。次に、EMF スプーリングの設定例を示します。

(例) そのほかのタブにも EMF スプーリングの設定がある場合

プリンタプロパティの任意のタブで EMF スプーリングを設定します。

図 5-30 プリンタプロパティ ([デバイスの設定] タブの EMF スプーリング設定例)



(例) 印刷設定，標準の設定にも EMF スプーリングの設定がある場合

プリンタプロパティで [印刷設定] や [標準の設定] をクリックすると，プリンタドライバの画面が表示されます。

表示された画面で EMF スプーリングを設定します。

図 5-31 プリンタプロパティ ([印刷設定] ダイアログボックスの EMF スプーリング設定例)



[印刷設定] と [標準の設定] の違いについては Windows のオンラインヘルプを参照してください。

(3) プリントサーバのプリンタを削除する

プリントサーバのプリンタを削除する手順を次に示します。

(a) クライアントの操作

クライアントからプリントサーバのプリンタを接続している場合は、クライアントで次の操作が必要です。

1. [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウでプリンタウィンドウを閉じる。
2. 接続しているネットワークプリンタを削除する。
3. Windows のプリンタフォルダで、リモート印刷用のプリンタを削除する。

(b) プリントサーバの操作

1. [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウでプリンタウィンドウを閉じる。
2. プリンタにプリンタ情報を設定している場合は、[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウでプリンタ情報をデフォルト情報に戻す。
3. Windows のプリンタフォルダでプリンタを削除する。
4. JP1/NPS 用のポートが不要な場合は、ポートを削除する。

(4) プリントサーバのプリンタ名を変更する

プリントサーバのプリンタ名を変更する手順を次に示します。

(a) クライアントの操作

クライアントからプリントサーバのプリンタを接続している場合は、クライアントで次の操作が必要です。

1. [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウでプリンタウィンドウを閉じる。
2. 接続しているネットワークプリンタを削除する。
3. プリントサーバでプリンタ名を変更したあと、Windows のプリンタフォルダでリモート印刷用のプリンタのプリンタ名を変更する。
プリンタ名を変更したら、プリンタプロパティを確認してください。
4. ネットワークプリンタを接続する。

(b) プリントサーバでの操作

1. [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウでプリンタウィンドウを閉じる。
2. プリンタにプリンタ情報を設定している場合は、[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウでプリンタ情報をデフォルト情報に戻す。
3. Windows のプリンタフォルダでプリンタ名を変更する。
プリンタ名を変更したら、プリンタプロパティを確認してください。

4. プリンタ情報を設定する場合は、[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウでプリンタ情報を設定する。

5.1.2 プリンタ情報およびデフォルト情報を設定する

プリンタ情報とは、各プリンタに設定・変更する情報です。プリンタ障害発生時のリカバリ印刷の方法や仕様適合プリンタの検索に必要な情報などを設定します。デフォルト情報とは、プリンタ情報の設定を省略したプリンタに対して適用される情報です。

プリンタ情報を設定すると、そのプリンタは仕様適合プリンタの検索時の対象プリンタになりますが、デフォルト情報を適用しているプリンタは仕様適合プリンタの検索時の対象プリンタになりません。

プリンタ情報を変更するには、そのプリンタに対して「フルコントロール」アクセス権が必要です。プリンタに対するアクセス権は、Windows のプリンタプロパティで設定してください。また、デフォルト情報を変更するには、Administrators グループのメンバーとしてログオンしておく必要があります。

(1) プリンタ情報およびデフォルト情報を設定する

プリンタ情報は、[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウのプリンタプロパティで設定します。プリンタプロパティは、[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウでプリンタ情報を設定したいプリンタを選択して、[プリンタ] - [プロパティ] を選択すると表示されます。また、デフォルト情報は、[NPS デフォルト設定プロパティ] で設定します。[NPS デフォルト設定プロパティ] は、[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウで [プリンタ] - [デフォルト情報の変更] を選択すると表示されます。

プリンタプロパティの例を次の図に示します。

図 5-32 プリンタプロパティの例



プリンタプロパティおよび [NPS デフォルト設定プロパティ] には、次に示すタブがあります。

- プリンタオプション 1
- プリンタオプション 2
- プリンタ仕様 (プリンタプロパティだけ)
- 検索キーワード (プリンタプロパティだけ)
- 障害通知
- リカバリ指示
- 自動リカバリ
- 用紙確認
- 印刷完了通知

次に、プリンタ情報およびデフォルト情報で設定する項目について説明します。

(a) ジョブの保存オプションを設定する

印刷が終了した印刷ジョブをプリンタキューにどのくらいの間保存しておくかを設定できます。印刷済みのジョブを保存しておくで、印刷ジョブが正常に出力されなかった場合に、再度印刷ジョブを実行することなく再印刷できます。印刷ジョブを保存する必要がない場合は、保存時間を 1 分に設定してください。また、プリンタキューに保存されている印刷済みの印刷ジョブを、設定した日時に定期的に削除することもできます。デフォルトは、[印刷済みジョブの保存時間] が「0 分」です。

ジョブの保存オプションは、[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウのプリンタプロパティまたは [NPS デフォルト設定プロパティ] の [プリンタオプション 1] タブで設定します。

(b) ジョブの自動コピーオプションを設定する

印刷が正常終了したあと、印刷ジョブを任意のプリンタへ自動的にコピーできます。また、コピーが正常に終了した場合はイベントを出力することもできます。ジョブの自動コピーオプションは、印刷ジョブを保存する目的でも使用できます。なお、ほかのコンピュータに接続しているプリンタにコピーする場合は、コピー先のコンピュータに JP1/NPS がインストールされていることが必要です。デフォルトは、「印刷が正常終了した後に印刷ジョブをコピーする」はチェックされていません。

ジョブの自動コピーオプションは、[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウのプリンタプロパティまたは [NPS デフォルト設定プロパティ] の [プリンタオプション 2] タブで設定します。

(c) プリンタ仕様を設定する

プリンタの用紙サイズと解像度の仕様を設定できます。設定した仕様は構成管理サーバに登録されます。したがって、プリンタ仕様を設定すると、[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウから印刷ジョブをどのプリンタで印刷できるかを容易に検索できます。また、設定した仕様は、仕様適合プリンタとして適当かどうかを判断する情報となります。

用紙サイズは複数指定できますが、通常使用する頻度が高い仕様だけを設定することをお勧めします。用紙サイズを設定しない場合は、プリンタの検索時にすべての用紙サイズに適合するプリンタとして定義できます。

プリンタ仕様は、[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウのプリンタプロパティの [プリンタ仕様] タブで設定します。

(d) 仕様適合プリンタ検索時の検索キーワードを設定する

プリンタ仕様で設定した仕様のうち、仕様適合プリンタ検索時に適合する必要がある項目を設定します。用紙サイズと解像度のどちらかまたは両方を設定できます。設定した検索キーワードは構成管理サーバに登録されます。

なお、仕様適合プリンタの検索時に、ここで設定した検索キーワードとは異なるキーワードを設定することもできます。

検索キーワードは、[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウのプリンタプロパティの [検索キーワード] タブで設定します。

(e) プリンタ障害発生時の障害通知と障害通知先を設定する

プリンタ障害が発生した場合、[障害通知] ダイアログボックスを表示できます。また、障害通知先のコンピュータも設定できます。障害通知先のコンピュータは複数設定できます。なお、「CREATOR OWNER」を指定すると、印刷ジョブを実行したコンピュータに [障害通知] ダイアログボックスが表示されます。デフォルトは、「障害通知する」で、障害通知先が「CREATOR OWNER」です。

5. JP1/NPS の運用

障害通知および障害通知先は、[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウのプリンタプロパティまたは [NPS デフォルト設定プロパティ] の [障害通知] タブで設定します。

(f) プリンタ障害発生時のリカバリ指示を設定する

プリンタ障害発生時に [リカバリ指示] ダイアログボックスを表示して、対話形式でリカバリ印刷できます。また、[リカバリ指示] ダイアログボックスに対する応答の監視時間も設定できます。ここで設定した監視時間を超えても [リカバリ指示] ダイアログボックスに応答がない場合は、自動リカバリの処理が実行されます。なお、[リカバリ指示 応答先] に「CREATOR OWNER」を指定すると、印刷ジョブを実行したコンピュータに [リカバリ指示] ダイアログボックスが表示されます。デフォルトは、「リカバリ指示する」、[リカバリ指示 応答先] が「CREATOR OWNER」、[監視時間] が「0分」です。

リカバリ指示は、[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウのプリンタプロパティまたは [NPS デフォルト設定プロパティ] の [リカバリ指示] タブで設定します。

(g) プリンタ障害発生時の自動リカバリを設定する

対話形式のリカバリ印刷をしない場合、[リカバリ指示] ダイアログボックスに対する監視時間を超過した場合、または [リカバリ指示] ダイアログボックスを表示できない場合に自動リカバリできます。自動リカバリする前に、設定した時間、印刷続行を試行することもできます。印刷続行を試行した場合は、設定した時間が経過してもプリンタ障害が回復されないときに、自動リカバリの処理を実行します。

自動リカバリの処理は、印刷ジョブのキャンセル、または他プリンタでの再印刷のどちらかを指定します。他プリンタでの再印刷を指定する場合は、[再印刷プリンタの定義] ウィザードでプリンタを定義します。デフォルトは、「印刷ジョブキャンセル」、「保留属性で再登録」、「プリンタを一時停止する」です。

自動リカバリは、[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウのプリンタプロパティまたは [NPS デフォルト設定プロパティ] の [自動リカバリ] タブで設定します。

(h) 印刷開始前の用紙確認を設定する

印刷ジョブの用紙サイズがプリンタ情報に登録された用紙サイズ、または一つ前に印刷された用紙サイズと異なる場合、[用紙確認指示] ダイアログボックスを表示できます。また、[用紙確認指示] ダイアログボックスに対する応答の監視時間および用紙確認の方法も設定できます。なお、[用紙確認 応答先] に「CREATOR OWNER」を指定すると、印刷ジョブを実行したコンピュータに [用紙確認指示] ダイアログボックスが表示されます。

用紙サイズの確認は、プリンタ情報に登録されている用紙サイズと比較する方法、または一つ前に印刷されたジョブの用紙サイズと比較する方法のどちらかを選択できます。なお、デフォルト情報では、プリンタ情報に登録されている用紙サイズと比較する方法は選択できません。デフォルトは、「用紙確認する」はチェックされていません。

用紙サイズの確認は、[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウのプリンタプロパティまたは

[NPS デフォルト設定プロパティ] の [用紙確認] タブで設定します。

(i) 印刷完了通知を設定する

印刷が終了したときに、[印刷完了通知] メッセージボックスを表示できます。通知先や通知するメッセージの種別も設定できます。なお、[印刷完了メッセージ通知先] に「CREATOR OWNER」を指定すると、印刷ジョブを実行したコンピュータに [印刷完了通知] メッセージボックスが表示されます。

[印刷完了通知] メッセージボックスには、「正常終了」と「警告終了」の2種類があります。

正常終了

正常に印刷が終了した場合にメッセージボックスを表示します。

警告終了

リカバリ印刷などで代替印刷された、などの特殊な状態で印刷が終了した場合にメッセージボックスを表示します。

デフォルトは、「印刷完了メッセージを通知する」はチェックされていません。

印刷完了の通知は、[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウのプリンタプロパティまたは [NPS デフォルト設定プロパティ] の [印刷完了通知] タブで設定します。

5.1.3 ポート情報を設定する

ポート情報とは、各ポートに設定・変更する情報です。LAN 接続プリンタ用ポートに対して、通信処理実行時のタイムアウト値などの情報を設定します。ポート情報の設定を省略した場合は、ポート情報のデフォルト情報が適用されます。

なお、ポート情報およびポート情報のデフォルト情報を変更するには、Administrators グループのメンバーとしてログオンしておく必要があります。

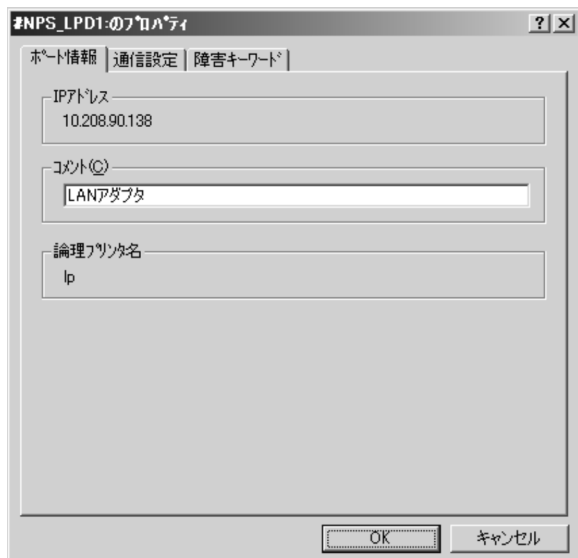
(1) ポート情報を設定する

ポート情報は、[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウのポートのプロパティで設定します。ポートのデフォルト情報は、[NPS デフォルト設定プロパティ] で設定します。

[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウで [表示] - [LAN 接続ポート一覧] を選択すると、[プリンタ] ウィンドウに、JP1/NPS が管理する LAN 接続用ポートの一覧が表示されます。ポートのプロパティは、ポート情報を設定したいポートを選択して、[プリンタ] - [プロパティ] を選択すると表示されます。また、[NPS デフォルト設定プロパティ] は、[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウで [プリンタ] - [デフォルト情報の変更] を選択すると表示されます。

ポートのプロパティの例を次の図に示します。

図 5-33 ポートのプロパティの例



ポートのプロパティおよび [NPS デフォルト設定プロパティ] には、次に示すタブがあります。

- ポート情報（ポートのプロパティだけ）
- 通信設定
- 障害キーワード（「#NPS_XDPx:」および「#NPS_LPDx:」ポートだけ）

次に、ポートのプロパティで設定する項目について説明します。

(a) ポート情報を設定する

ポートの IP アドレス、コメント、および論理プリンタ名が表示されます。また、ポートのコメントを変更できます。なお、「#NPS_JETx:」ポートの場合、論理プリンタ名は表示されません。

(b) 通信設定を設定する

送信バッファサイズ、プリンタ状態監視インターバル、通信処理実行時のタイムアウト、およびプリンタの状態監視を設定します。なお、「#NPS_JETx:」ポートの場合は、通信処理実行時のタイムアウトだけ設定できます。次に、設定項目について説明します。

[送信バッファサイズ]

プリンタ装置に印刷データを送信する場合の、1 回当たりのデータ量を設定します。送信バッファサイズを大きく設定することで、印刷データの送信効率が向上するとは限りません。印刷データの送信効率やネットワークに与える負荷などは、ご使用のコンピュータやネットワークの環境に依存します。送信バッファサイズは、4 ~ 32 キロバイトで指定します。デフォルトは 4 キロバイトです。

[プリンタ状態監視インターバル]

プリンタの状態を監視する間隔を設定します。

プリンタ状態監視インターバルの値を大きくすると、監視間隔が広がるため、印刷処理の負荷やネットワーク負荷を軽減できますが、印刷完了やプリンタ障害を検知するまでに時間が掛かるようになります。プリンタ状態監視インターバルは、1 ~ 999 秒で指定します。デフォルトは 10 秒です。

[通信処理実行時のタイムアウト]

プリンタとの通信処理でのタイムアウト時間を設定します。設定した時間内にプリンタから応答が得られなかった場合は、プリンタ障害として「プリンタからの応答がありませんでした」を報告します。なお、プリンタ電源断、または回線障害が発生している場合は、通信処理実行時のタイムアウトに設定された時間を超えて（最大で、指定した値の約 2 倍）監視することがあります。通信処理実行時のタイムアウトは、0 ~ 9999 秒で指定します。デフォルトは 45 秒です。

なお、次のようなプリンタ装置を使用する場合は、通信処理実行時のタイムアウトに 45 秒より大きい値を設定してください。

- ウォームアップやスリープ状態から印刷可能状態に変わるまでに時間が掛かる。
プリンタ装置が印刷可能状態に変わるまでの時間を考慮して、値を設定してください。
- 受信バッファの割り当てがない、または受信バッファが小さい。
プリンタ装置の受信バッファのサイズはプリンタ装置に依存します。また、受信バッファに記憶されるデータは印刷データにも依存するため、印刷環境に合った値を設定してください。

なお、通信処理実行時のタイムアウトを 45 秒より小さい値に設定すると、「プリンタからの応答がありませんでした」が報告されることがあります。

プリンタの状態監視 [印刷モード]

「#NPS_XDPx:」および「#NPS_LPDx:」ポートの場合は、印刷結果または印刷効率のどちらを優先するかで、プリンタの状態監視の印刷モードを設定します。デフォルトは [同期モード] です。

[同期モード]

プリンタに印刷要求してから印刷ジョブの最後のページを出力し終えるまでプリンタを監視します。プリンタ障害を検知できますが、一つの印刷ジョブに掛かる時間は長くなります。

印刷結果を重視したい場合は、このモードを選択してください。

[非同期モード]

プリンタに印刷要求してからプリンタ装置に登録し終えるまでプリンタを監視します。一つの印刷ジョブに掛かる時間は同期モードより短くなりますが、プリンタ装置に登録したあとにプリンタ障害が発生した場合、検出できないことがあります。

[非監視モード] (「#NPS_LPDx:」ポートだけ)

印刷ジョブをプリンタ装置に登録した時点で印刷完了とします。

このときは、プリンタの状態を監視しないので、一つの印刷ジョブに掛かる時間は最も短くなります。

プリンタの状態監視 [監視モード] (「#NPS_LPDx:」ポートだけ)

「#NPS_LPDx:」ポートの場合は、プリンタ装置によって、プリンタ状態監視の監視モードを設定します。選択する監視モードは、JP1/NPS をインストールしたフォルダ内の NpsPrint.htm を参照してください。デフォルトは [標準] です。

[標準]

通常はこのモードを選択してください。

[L-モード]

通常は選択しないでください。

L-モードで動作確認しているプリンタを使用する場合だけ選択してください。

[E-モード]

通常は選択しないでください。

E-モードで動作確認しているプリンタを使用する場合だけ選択してください。

[C-モード]

通常は選択しないでください。

C-モードで動作確認しているプリンタを使用する場合だけ選択してください。

(c) 障害キーワードを設定する

プリンタ障害を判断するキーワードを設定します。プリンタの状態とここで設定したキーワードが一致した場合、プリンタ障害が検出されます。

障害キーワードは、プリンタに合ったキーワードを設定してください。誤ったキーワードを設定したり、必要なキーワードが設定されていなかったりする場合は、プリンタ障害を検出できなくなります。デフォルトは、DP300 用の定義です。

なお、障害キーワードは、「#NPS_XDPx:」ポート、および監視モードが標準、L-モード設定の「#NPS_LPDx:」ポートの場合だけ定義してください。「#NPS_JETx:」ポート、および監視モードが E-モード、C-モード設定の「#NPS_LPDx:」ポートを使用する場合は、障害キーワードの定義は不要です。

障害キーワード「HITACHI PC-PB20301」を設定する手順を次に示します。

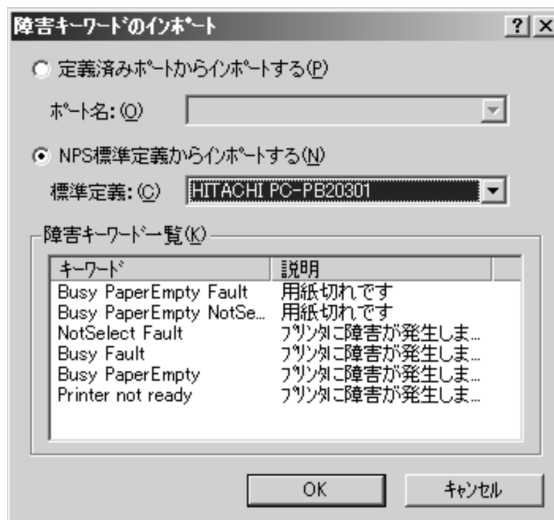
1. ポートのプロパティで、[障害キーワード] タブを選択する。

図 5-34 ポートのプロパティ [障害キーワード] タブ



- 表示されているキーワードをすべて選択して、[削除] をクリックする。
障害キーワードが削除されます。
- [インポート] をクリックする。
[障害キーワードのインポート] ダイアログボックスが表示されます。

図 5-35 [障害キーワードのインポート] ダイアログボックス



- [NPS 標準定義からインポートする] を選択して、[標準定義] コンボボックスから「HITACHI PC-PB20301」を選択して [OK] をクリックする。

5. JP1/NPS の運用

5. [障害キーワード一覧] に障害キーワードが表示されたことを確認して [OK] をクリックする。

5.2 印刷する

プリンタの選択方法はアプリケーションによって異なりますが、主に次の方法があります。

- 通常使用するプリンタとして設定されているプリンタに対して印刷する。
- 対話形式のアプリケーションから、印刷するプリンタを選択して印刷する。
- バッチ形式のアプリケーションから、あらかじめ定義しておいたプリンタに対して印刷する。

JP1/NPS を使って印刷するには、JP1/NPS で管理するプリンタを選択してください。

JP1/NPS の場合

- ローカルプリンタで印刷する
JP1/NPS が管理するポート（「#NPS_」で始まるポート名称）が設定してあるプリンタを選択してください。
- ネットワークプリンタで印刷する
ネットワークプリンタに対応するリモート印刷用のプリンタを選択してください。

JP1/NPS/Client の場合

ネットワークプリンタに対応するリモート印刷用のプリンタを選択してください。

5.3 リカバリ印刷する

プリンタ障害発生時のリカバリ印刷について説明します。

(1) 障害通知

プリンタに障害が発生した場合、指定したコンピュータに [障害通知] ダイアログボックスが表示されます。なお、障害通知先に設定されたコンピュータが起動していない場合、または JP1/NPS/Client プログラムが停止している場合には、障害通知が表示されません。

[障害通知] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 5-36 [障害通知] ダイアログボックスの例



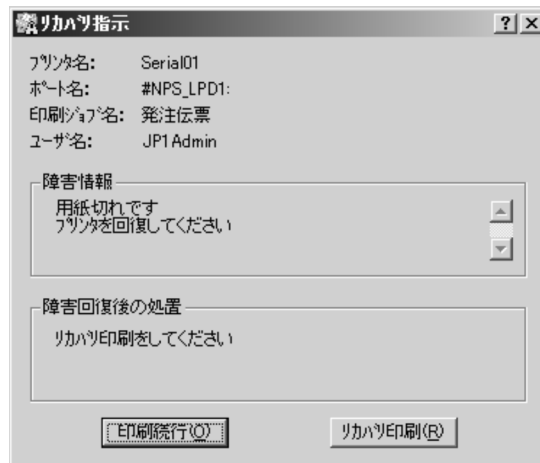
[障害情報] に、障害の原因が表示されます。障害情報とプリンタの情報を見て、プリンタ障害を回復してください。

(2) リカバリ印刷

リカバリ印刷は、プリンタ障害を回復したあと、[リカバリ指示] または [リカバリ印刷] ダイアログボックスで操作します。なお、[リカバリ指示] ダイアログボックスに回答がない場合、設定した監視時間が過ぎると自動リカバリします。また、[リカバリ指示] ダイアログボックス表示先に指定したコンピュータが起動していない場合、または JP1/NPS/Client プログラムが停止している場合には、[リカバリ指示] ダイアログボックスを表示しないで、自動リカバリの設定に従って処理します。

[リカバリ指示] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 5-37 [リカバリ指示] ダイアログボックスの例



[障害情報] に、障害の原因が表示されます。障害情報とプリンタの状態を見て、プリンタ障害を回復してください。

[リカバリ指示] ダイアログボックスでは、次の操作ができます。

[印刷続行]

プリンタの障害回復後、障害発生個所から印刷を続行します。

[リカバリ印刷]

[リカバリ印刷] ダイアログボックスが表示されます。[リカバリ印刷] ダイアログボックスから、リカバリ印刷を指示できます。

[リカバリ印刷] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 5-38 [リカバリ印刷] ダイアログボックスの例



[リカバリ印刷] ダイアログボックスでは、次の操作ができます。

[印刷ジョブプレビュー]

再印刷またはテスト印刷の開始ページをプレビューできます。なお、RAW スプーリングされた印刷ジョブはプレビューできません。

[再印刷]

指定したプリンタで、指定したページを再印刷できます。なお、RAW スプーリングされた印刷ジョブは再印刷できません。

[テスト印刷]

指定したページをテスト印刷できます。なお、RAW スプーリングされた印刷ジョブはテスト印刷できません。

[印刷ジョブキャンセル]

印刷ジョブをキャンセルします。[保留属性で再登録] をチェックすると、キャンセル後、プリンタキューに保留属性で再登録されます。

[印刷続行]

リカバリ印刷しないで、障害が発生したページから印刷を続行します。

(3) 障害が起きたプリンタ装置のバッファ操作

プリンタ装置の障害回復後、次に示す操作が必要です。なお、自動リカバリを設定している場合も、プリンタ障害回復後に、次に示す操作が必要です。

(a) DP300 以外のプリンタの場合

印刷続行以外のリカバリ印刷をする場合

障害が起きたプリンタ装置をリセットしてバッファを空にしてください。なお、外づけの LAN 装置を使用している場合は、LAN 装置の電源をオフにしてから、プリンタ装置のバッファを空にしてください。

リセットしないでテスト印刷または再印刷すると、プリンタ装置のバッファに存在する印刷データが出力されてから、テスト印刷または再印刷の印刷データが出力されます。他プリンタへの再印刷で再印刷先のプリンタ装置のバッファにも印刷データが存在すると、同様の現象が起こります。

また、他プリンタへの再印刷または印刷ジョブキャンセル時も、障害の起きたプリンタ装置をリセットしてください。

なお、プリンタ装置の機種によっては、電源をオフにするとバッファが空になります。

印刷続行する場合

障害が起きたプリンタ装置をリセットしないで、印刷続行してください。

ただし、[障害通知] または [リカバリ指示] ダイアログボックスの「障害情報」に「LAN 接続プリンタへの印刷要求が受け付けられませんでした」が表示された場合は、障害の起きたプリンタ装置をリセットしたあとに印刷続行してください。外づけの LAN 装置を使用している場合は、LAN 装置の電源をオフにしてからプリンタ装置のバッファを空にしてください。この場合、リセットしないと印刷できません。

(b) DP300 の場合

印刷続行以外のリカバリ印刷をする場合

回線障害の時だけ、次に示す操作をしてください。

障害が起きた DP300 上で障害を検出した印刷ジョブが登録されているか確認してください。DP300 にジョブが登録されている場合は、DP300 上で印刷ジョブをキャンセルしてください。

障害を検出したジョブをキャンセルしないでテスト印刷または再印刷すると、そのジョブが出力されてからテスト印刷または再印刷するジョブが出力されます。

また、他プリンタへの再印刷または印刷ジョブをキャンセルする場合も、DP300 上で障害を検出したジョブをキャンセルしてください。

印刷続行する場合

障害を検出したジョブを DP300 上でキャンセル、一時停止、または割り込みしないで、印刷続行してください。

5.4 プリンタを管理する

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウからプリンタを管理できます。

JP1/NPS ができるプリンタの操作を次に示します。

- プリンタを開く
- プリンタの接続と切り離し
- プリンタの一時停止と再開
- 仕様適合プリンタの検索
- 選択したプリンタ上のすべての印刷ジョブの削除，保留および保留解除
- サーバの表示
- サーバ上のすべてのプリンタの一時停止および再開
- サーバ上のすべての印刷ジョブの削除，保留および保留解除

注 この操作を実行するには，プリンタに対する「フルコントロール」アクセス権が必要です。

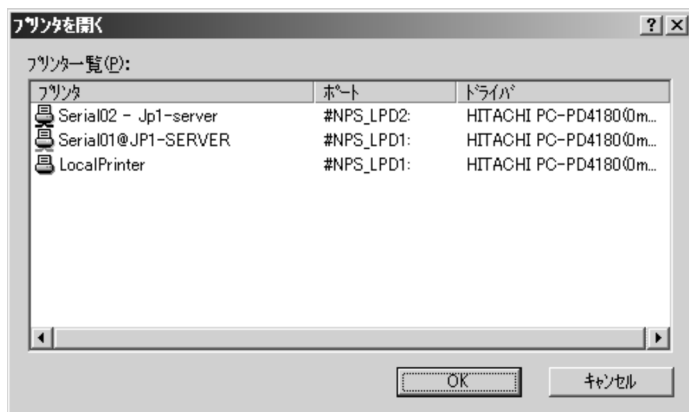
プリンタの接続および切り離しは，[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウからも操作できます。また仕様適合プリンタの検索は [リカバリ印刷] ダイアログボックスからも操作できます。

ここでは，プリンタを開く，および仕様適合プリンタの検索について説明します。

5.4.1 プリンタを開く


[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウで，[プリンタ] - [開く] を選択すると，[プリンタを開く] ダイアログボックスが表示されます。[プリンタを開く] ダイアログボックスを次の図に示します。


図 5-39 [プリンタを開く] ダイアログボックス




このダイアログボックスには，ローカルプリンタおよび接続されているネットワークプ

リンタの情報が表示されます。プリンタは次のアイコンで表示されます。

 ローカルプリンタ

 リモート印刷用のプリンタを持つネットワークプリンタ

 リモート印刷用のプリンタを持たないネットワークプリンタ

[プリンタを開く] ダイアログボックスでプリンタを選択し、[OK] をクリックすると、[プリンタ] ウィンドウが表示されます。[プリンタ] ウィンドウについては、「8.1.2 [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウ」を参照してください。

5.4.2 仕様適合プリンタを検索する

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウで [プリンタ] - [検索] を選択すると、[仕様適合プリンタの検索] ダイアログボックスが表示されます。[仕様適合プリンタの検索] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 5-40 [仕様適合プリンタの検索] ダイアログボックス



プリンタは、次のどちらかの方法で検索できます。

[プリンタ名で検索]

指定したプリンタのプリンタ情報に設定されている検索キーワードと同じ仕様を持つプリンタを検索します。例えば、障害が発生したプリンタと同じ仕様を持つ代替りのプリンタを検索したい場合は、障害が発生したプリンタのプリンタ名を選択します。

[プリンタ仕様で検索]

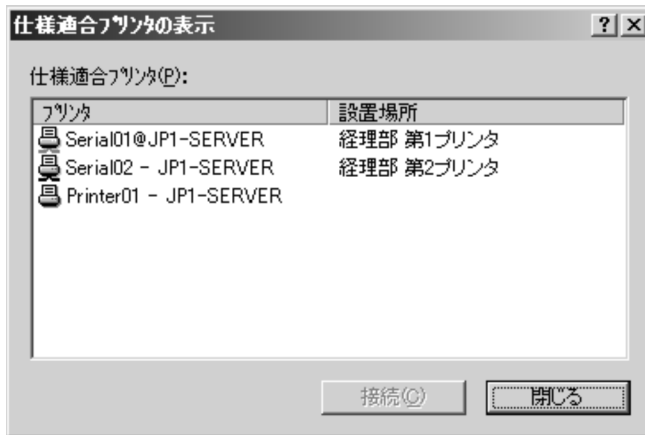
プリンタ仕様から仕様適合プリンタを検索します。用紙サイズまたは解像度のどちらか、または両方で設定された仕様が検索キーワードになります。解像度を設定する場合は、検索したいプリンタの解像度を選択します。さらに指定した解像度を基準に、検索する解像度の範囲を選択します。したがって、その解像度と同じ解像度

5. JP1/NPS の運用

を持つプリンタ，またはその解像度以上・以下の解像度を持つプリンタを検索できます。

プリンタの検索が終了すると，[仕様適合プリンタの表示] ダイアログボックスが表示されます。[仕様適合プリンタの表示] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 5-41 [仕様適合プリンタの表示] ダイアログボックス



プリンタは次のアイコンで表示されます。



接続状態のプリンタ



未接続状態のプリンタ



リモート印刷用のプリンタ

5.5 印刷ジョブを操作する

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウから、印刷ジョブを操作できます。自分自身の印刷ジョブには「ドキュメントの管理」アカウントが与えられるため操作できます。ほかのユーザの印刷ジョブを操作するには、プリンタに対する「フルコントロール」アクセス権が必要です。

JP1/NPS でできる印刷ジョブの操作を次に示します。

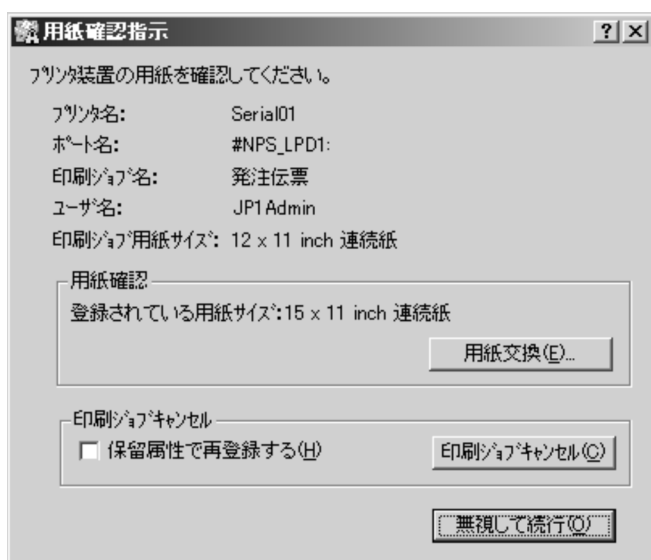
- 印刷ジョブの削除
- 印刷ジョブの移動・コピー
- 印刷ジョブのキャンセル
- 印刷ジョブの詳細情報の表示・変更
- 印刷ジョブのプレビュー
- 印刷ジョブの仕分け配布
- 印刷ジョブの保留と保留解除
- 印刷ジョブの再印刷
- 印刷ジョブのテスト印刷
- 印刷ジョブの印刷順序の変更

5.6 用紙サイズを確認する

用紙確認は、プリンタの用紙サイズを確認したあと、[用紙確認指示] または [用紙確認] ダイアログボックスで操作します。なお、[用紙確認指示] ダイアログボックスに回答がない場合、設定した監視時間が過ぎるとプリンタ情報で設定した処理に従います。また、[用紙確認指示] ダイアログボックス表示先に指定したコンピュータが起動していない場合、または JP1/NPS/Client プログラムが停止している場合には、[用紙確認指示] ダイアログボックスを表示しないで、プリンタ情報で設定した処理に従います。

[用紙確認指示] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 5-42 [用紙確認指示] ダイアログボックスの例



[用紙確認指示] ダイアログボックスでは、次の操作ができます。

[用紙交換]

[用紙確認] ダイアログボックスが表示されます。[用紙確認] ダイアログボックスから、プリンタ情報に登録された用紙サイズを変更できます。

[印刷ジョブキャンセル]

印刷ジョブをキャンセルします。キャンセル後、保留属性でプリンタキューに再登録できます。

[無視して続行]

印刷を続行します。

[用紙確認] ダイアログボックスの例を次の図に示します。

図 5-43 [用紙確認] ダイアログボックス



[用紙確認] ダイアログボックスでは、次の操作ができます。

用紙サイズの変更

プリンタ情報に登録している用紙サイズを変更できます。なお、プリンタ情報で [登録されている用紙サイズと比較する] 確認方法が設定されている場合だけ、用紙サイズを変更できます。なお、変更した用紙サイズがプリンタ情報に再登録されるのは、[印刷続行] を選択した場合だけです。

[テスト印刷]

ページを指定してテスト印刷できます。[テスト印刷] をクリックすると、[テスト印刷] ダイアログボックスが表示されます。

[印刷ジョブキャンセル]

印刷ジョブをキャンセルします。キャンセル後、保留属性でプリンタキューに再登録できます。

[印刷続行]

印刷を続行します。

5.7 課金情報を収集する

課金情報は、次に示すどちらかの方法で収集します。

- JNpsActC.exe を実行する
- JNpsActG.exe を実行して [課金情報の出力] ダイアログボックスを表示する

この節では、[課金情報の出力] ダイアログボックスで課金情報を収集する操作について説明します。コマンドの詳細については、「9. コマンド」を参照してください。

[課金情報の出力] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 5-44 [課金情報の出力] ダイアログボックスの例



[課金情報の出力] ダイアログボックスでは、収集する課金情報について、次のことを設定します。

[イベントログの入力元]

課金情報を収集するコンピュータまたはイベントログファイルを指定します。

[出力ファイル名]

課金情報を入力するファイル名をフルパスで指定します。ファイルの拡張子は .csv です。また、[見出し行を出力する] をチェックすると、情報を出力したファイルに、「受付日時」や「印刷ページ数」など、収集する情報の項目名が出力されます。

[イベントログ情報を取得する範囲]

情報を収集する期間を指定します。[すべて] を選択すると、イベントログファイル

のイベントをすべて収集します。[範囲指定] を選択して、開始日時および終了日時を指定すると、その間に出力されたイベント（印刷終了日時がその範囲内であるイベント）の情報を収集します。

5.8 JP1/Cm2 または hp OpenView から監視する

JP1/NPS が管理するプリンタを NNM から監視する方法を説明します。

5.8.1 プリンタの状態の監視

プリンタの状態を NNM のノード・サブマップで監視します。監視の対象は、JP1/NPS で管理するポート単位です。NNM の監視対象となるポートを次に示します。

- 「#NPS_LPTx:」ポート
- 「#NPS_JETx:」ポート
- 「#NPS_XDPx:」ポート
- 「#NPS_LPDx:」ポート

プリンタの状態は、[プリンタ] シンボルの色で表示されます。NNM では、ステータスごとに決められた色でシンボルが表示されます。各ステータスの表示色は、NNM で設定します。

シンボルは展開可能属性ですが、クリックしても何も表示されません。[プリンタ] シンボルは、JP1/NPS が管理するポートごとに生成され、シンボル名がポート名で表示されます。プリンタの状態が変化すると、状態の変更を通知するトラップが NNM に送られます。NNM 側では、通知された情報に基づいて、対応するノード・サブマップ上のシンボルの色が変更され、ステータス・イベント・ブラウザにメッセージが表示されます。シンボルは、最も新しい通知のステータスを表しています。

プリンタプロパティでポートを追加・削除することによって、対応するポート名のシンボルが追加・削除されます。

シンボルはポートを削除しないかぎり、自動的に削除されることはありません。NNM や JP1/NPS を使用しない場合など、シンボルが不要になった場合は、NNM を使ってシンボルを削除してください。

なお、NNM では、UNIX 版の JP1/NPS が管理するプリンタ（デバイス）のシンボルも表示されます。シンボル名の先頭が「NPS/」で始まる場合は、UNIX 版の JP1/NPS が管理するシンボルとなります。

シンボルのステータスは次の 3 種類で表示されます。

ステータス	デフォルトの色	プリンタの状態
正常域	緑色	印刷できる状態（正常）
警戒域	黄色	障害が発生している状態（異常）
認識不能	青色	サーバが停止している状態

NNM のノード・サブマップ上では、シンボルの表示を初期化できます。初期化する場合は、初期化するシンボルを選択し、[管理] - [JP1 の管理] - [シンボルの初期化] を選択します。ステータスを [認識不能] または [正常域] に変更できます。

5.8.2 ステータス・イベントブラウザを使った監視

ステータス・イベントブラウザに表示されるメッセージの見方について説明します。NNM が、JP1/NPS からメッセージを受け取ると、ステータス・イベントブラウザにメッセージが表示されます。ステータス・イベントブラウザの重要度欄には、受け取ったイベントの重要度が表示されます。

受け取ったイベントの詳細は、NNM の [イベント設定 / イベントの変更] ダイアログボックスで確認できます。なお、イベントは変更しないでください。

JP1/NPS がステータス・イベントブラウザに表示するメッセージを次に示します。

(1) ステータスメッセージ

JP1NPS : ホスト名 : ラベル名の状態がステータスになりました

JP1/NPS のシンボルの状態が変わったことを通知するトラップです。

- ホスト名
ステータスが変わったホスト名が表示されます。
- ラベル名
シンボル名（ポート名です。なお、エージェントが UNIX の場合、デバイス名の先頭に「NPS/」が付加された形式となります）が表示されます。
- ステータス
受け取ったイベントのステータスを表します。表示されるステータスは次のとおりです。

ステータス	意味	重要度
Normal	印刷できる状態（正常）	正常域
Unknown	サーバが停止する時	正常域
Minor	障害が発生した時（異常）	警戒域

(2) 削除メッセージ

JP1NPS : ホスト名 : JP1/NPS のシンボルを削除しました

JP1/NPS のシンボルを削除したことを通知するトラップです。

- ホスト名

削除する対象のシンボルが存在していたホスト名が表示されます。

5.8.3 オブジェクト定義

JP1/NPS と NNM との連携で使用されるオブジェクトの形式を示します。

(1) 選択名

オブジェクトの選択名は次の形式になります。

ホスト名 :JP1NPS・ラベル名

- ホスト名
エージェントのホスト名
- ラベル名
シンボル名

(2) 追加フィールド

フィールド名	タイプ	フラグ	内容
isJP1NNM	boolean	capability	JP1 シリーズの管理オブジェクトを表す。 0:JP1 シリーズの管理オブジェクトではない 1:JP1 シリーズの管理オブジェクトである
isJP1NPS	boolean	capability	JP1/NPS の管理オブジェクトを表す。 0:JP1/NPS の管理オブジェクトではない 1:JP1/NPS の管理オブジェクトである
isJP1NPSDel	boolean	capability	このオブジェクトが削除されたかどうかを表す。 0:有効なオブジェクトである 1:削除されたオブジェクトである
jp1nps HostName	string	general	エージェントホスト名を表す。
jp1nps Status	Enumeration	capability	JP1/NPS の管理するシンボルの状態を表す。 Unknown: 認識不能 Normal: 正常域 Minor: 警戒域
jp1nps SymbolType	Enumeration	capability	JP1/NPS のシンボルタイプを表す。 Server:Printer : サーバ・プリンタ

5.8.4 SNMP トラップ

NNM と連携する場合に発行する SNMP トラップを次に示します。

企業 ID	1.3.6.1.4.1.116.7.17.3
一般トラップ番号	6
固有トラップ番号	0, 1, 2

オブジェクト ID	企業 ID.1.1.0	企業 ID.1.2.0	企業 ID.1.3.0
値のシンタクス	OctetString	OctetString	OctetString
値	シンボルのラベル名	シンボルタイプ	シンボルのステータス Normal : 正常域 Minor : 警戒域 Unknown : 認識不能

6

仕分け配布の概要

仕分け配布とは、帳票データを目的別に仕分けしてプリンタに配布する機能です。この章では、仕分け配布の概要を説明します。

-
- 6.1 仕分け配布の特長
 - 6.2 仕分け配布の詳細
 - 6.3 EUR との連携
 - 6.4 仕分け配布の注意事項
-

6.1 仕分け配布の特長

仕分け配布とは、プリンタキューに登録されている大量の印刷ジョブ（帳票データ）を効率良く運用および管理する機能です。仕分け配布の主な特長を次に示します。

6.1.1 帳票データを仕分けできます

どの帳票データのどのページをどの配布先に何部配布するのかを定義できます。この情報を仕分け定義情報といい、仕分けサーバとして設定したプリンタに登録しておきます。帳票データの印刷時に仕分け定義情報を指定することで、仕分け配布が実行できます。仕分け定義情報は、仕分けサーバで定義します。

6.1.2 プリンタに帳票データを配布できます

帳票データを仕分け定義情報に従って仕分けし、印刷ジョブとしてプリンタに配布できます。JP1/NPSの仕分け配布には、[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウから仕分けを実行する対話仕分けと、印刷ジョブを印刷すると同時に仕分けを実行する自動仕分けがあります。

6.1.3 仕分け結果を確認できます

[仕分け結果確認] ウィンドウで、帳票データの仕分け結果を対話形式で確認できます。仕分け結果は仕分けサーバで確認します。

[仕分け結果確認] ウィンドウでは、次の操作ができます。

- 仕分け結果を確認するプリンタを選択できます。
- 仕分け結果ファイルのサイズを設定できます。
- 配布元または配布先の帳票データの仕分け結果の詳細を確認できます。

6.2 仕分け配布の詳細

この節では、仕分け方式や配布先など、仕分け配布機能の詳細について説明します。

6.2.1 仕分け方式

JP1/NPS の仕分けには、次の四つの方式があります。

- ページ指定による仕分け方式
- キーワード指定によるページ単位の仕分け方式
- 複数帳票のマージ方式
- 分割指定による仕分け方式

次に、それぞれの方式について説明します。

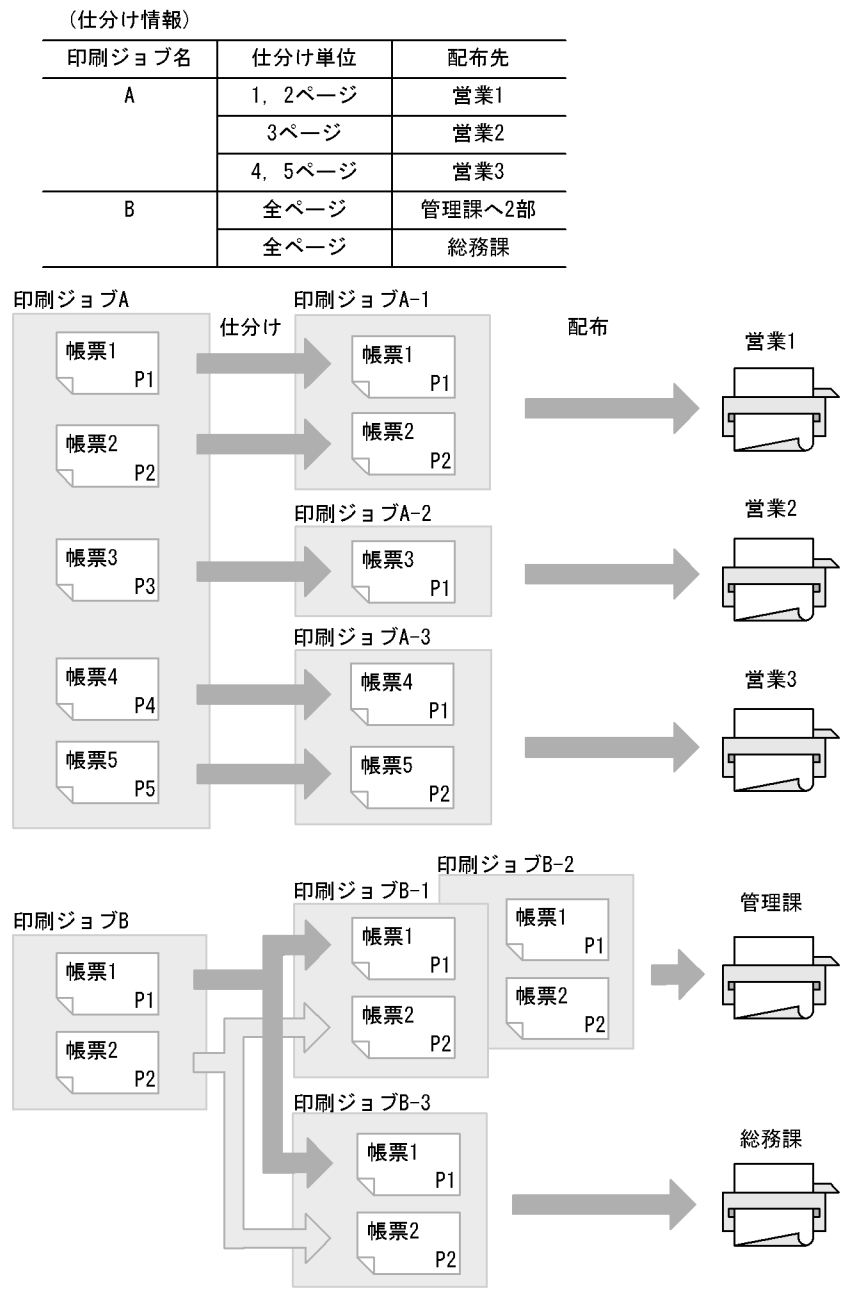
(1) ページ指定による仕分け方式

ページ指定による仕分け情報に従って、一つの帳票データからページを抽出します。抽出したページをグループ化して、指定した配布先に仕分けして配布します。

ページ指定による仕分け方式の例を次の図に示します。

6. 仕分け配布の概要

図 6-1 ページ指定による仕分け方式の例



(2) キーワード指定によるページ単位の仕分け方式

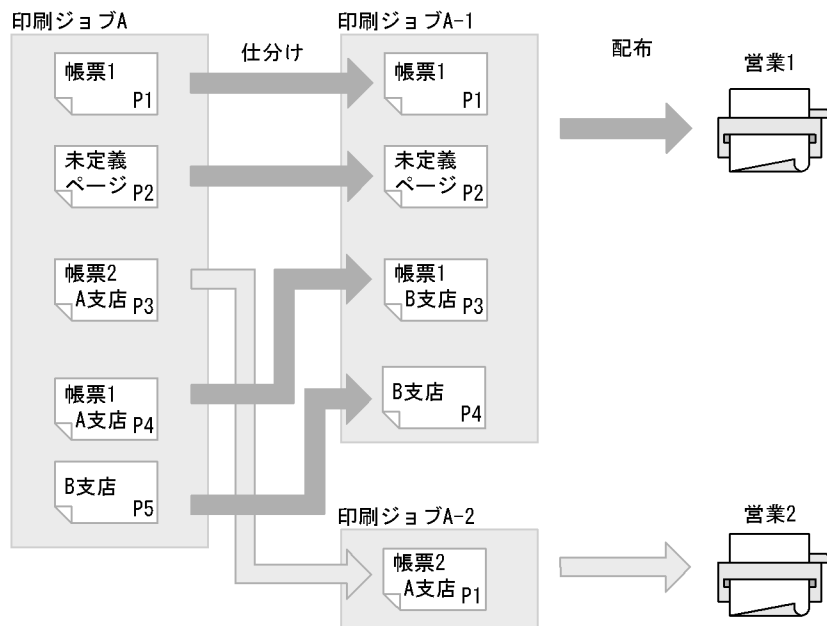
キーワード指定による仕分け情報に従って、一つの帳票データからキーワードを検索します。検索時のキーワードは五つまでの文字列を指定できます。さらに、それらのキーワードに論理和または論理積の条件を指定して抽出ページを決定します。抽出したペー

ジの中から、同じキーワードのあるページ同士をグループ化して、そのグループごとに各配布先に仕分けして配布します。

キーワード指定によるページ単位の仕分け方式の例を次の図に示します。

図 6-2 キーワード指定によるページ単位の仕分け方式の例

(仕分け情報)			
印刷ジョブ名	検索キーワード	検索条件	配布先
A	「帳票1」、「B支店」	論理和 (or)	営業1
	「帳票2」、「A支店」	論理積 (and)	営業2
	未定義ページ	-	前ページと同じ配布先



(3) 複数帳票のマージ方式

複数帳票のマージ方式は対話仕分けを実行するとき有効です。対話仕分けについては、「6.2.2 仕分けの実行形態」を参照してください。

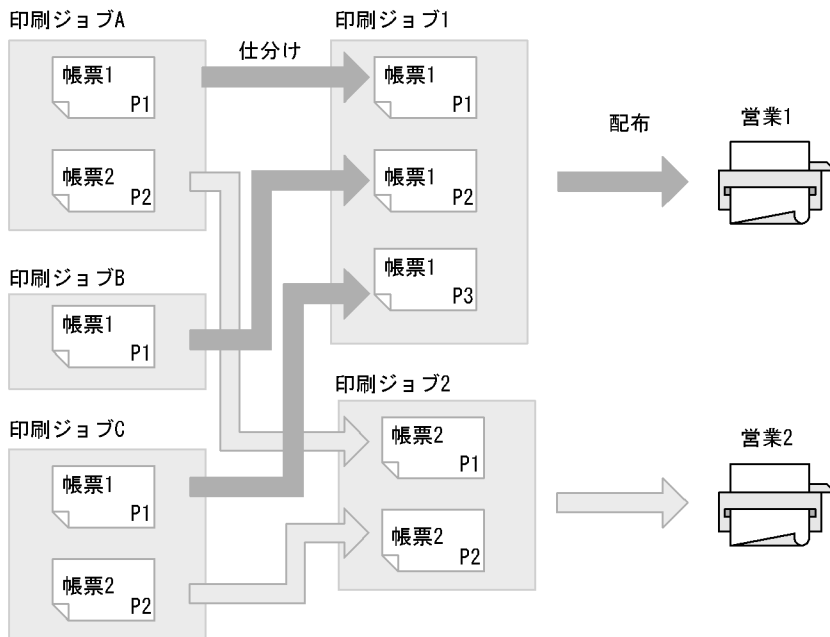
キーワード指定による仕分け方式であれば、複数の帳票データからそれぞれ抽出したページを、同じキーワードのあるページ同士で併合してグループ化します。ページ指定による仕分け方式であれば、複数の帳票データからそれぞれ抽出したページを、同じページ同士で併合してグループ化します。そして、そのグループごとに各配布先に仕分けして配布します。

複数帳票のマージ方式の例を次の図に示します。

6. 仕分け配布の概要

図 6-3 複数帳票のマージ方式の例

(仕分け情報)	
検索キーワード	配布先
「帳票1」	営業1
「帳票2」	営業2



(4) 分割指定による仕分け方式

分割指定による仕分け情報に従って、一つの帳票データがページ単位に分割されます。それぞれの配布先へのくらし配布するかを、全体のページ数から見た割合で指定します。つまり、割合をすべて1に指定した場合、一覧に表示されたすべての配布先に等分に配布されます。割合は1から9までの範囲で変更できます。

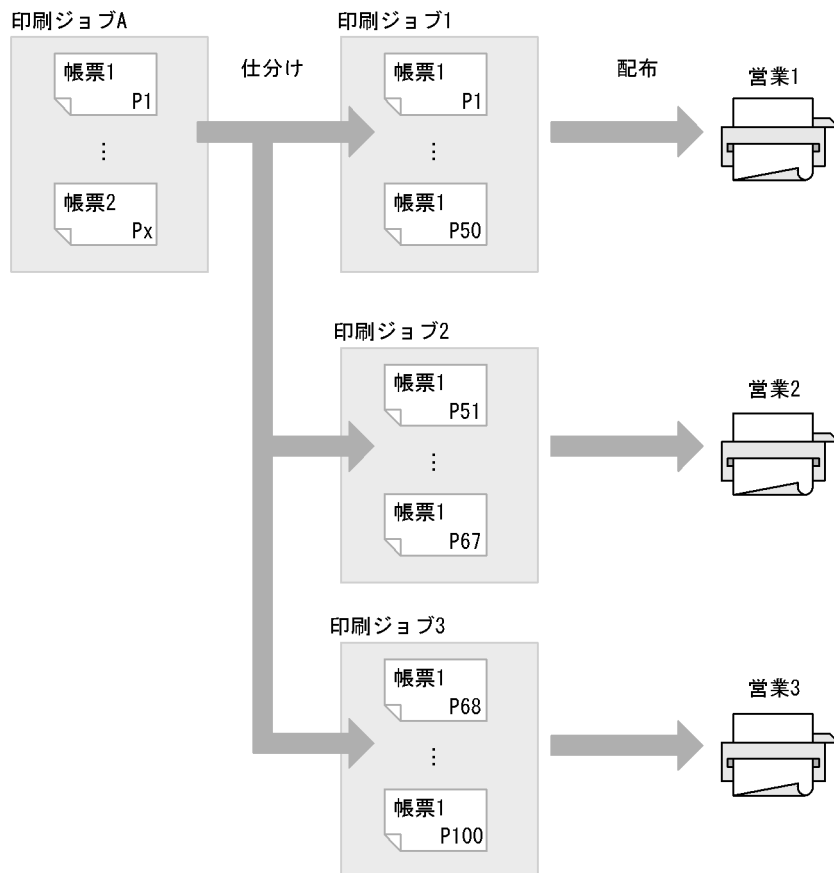
例えば、あるプリンタに3倍のページ数を印刷したい場合は、そのプリンタの割合を3にし、ほかのプリンタの割合を1にします。

指定した割合からページ数が決定され、抽出したページが指定した配布先に仕分けされて配布されます。したがって、ユーザは帳票のページ数を把握する必要がありません。また、大量の帳票を複数のプリンタに分割して印刷したい場合に便利です。

分割指定による仕分け方式の例を次の図に示します。

図 6-4 分割指定による仕分け方式の例

(仕分け情報)	
出力先プリンタ	比率
営業 1	50%
営業 2	17%
営業 3	33%



6.2.2 仕分けの実行形態

帳票データの仕分け実行形態には、自動仕分けと対話仕分けの二つがあります。なお、仕分けの対象になる印刷ジョブは、仕分けプリンタに出力した印刷ジョブだけです。

次に、自動仕分けと対話仕分けについて説明します。

(1) 自動仕分け

自動仕分けとは、JP1/NPS がプリンタキューから印刷ジョブを取り出すと同時に、仕分け定義情報に従って、自動的に印刷ジョブの帳票データを各配布先に仕分けして配布する機能です。

自動仕分けは、大量の帳票データを印刷すると同時に、仕分け配布を実行したい場合に便利です。また、日々の定型業務にも有効です。

プリンタキュー内の印刷ジョブが自動仕分け配布の印刷ジョブかどうかは、仕分けサーバ上で管理している仕分け定義情報を検索して判断します。したがって、あらかじめ自動仕分け対象の印刷ジョブには、仕分け定義情報を定義しておく必要があります。なお、仕分け定義情報が定義されていない印刷ジョブを仕分けプリンタで実行した場合は、そのまま印刷されます。

(2) 対話仕分け

対話仕分けとは、プリンタキュー（仕分けプリンタ）の保留状態および印刷待ち状態の印刷ジョブを、必要な時に [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウから取り出して、各配布先に仕分けして配布する機能です。したがって、保留状態および印刷待ち状態の印刷ジョブに、あらかじめ用意した仕分け定義情報を対話形式で設定する必要があります。対話仕分けでは、一つの印刷ジョブを仕分け配布するだけでなく、複数の印刷ジョブから対象ページだけを抽出・マージして、一つの印刷ジョブとして仕分け配布することもできます。

対話仕分けには次の二つの使用目的があります。

- 複数の帳票データから共通のデータをグループ化して、仕分け配布を実行する。
- 自動仕分けを実行してエラーになり、プリンタキュー内に保留状態および印刷待ち状態になっている印刷ジョブの仕分け配布を再び実行する。

この対話仕分けは、JP1/NPS/Client をインストールしたクライアントコンピュータからでも操作できます。

なお、印刷ジョブの仕分け配布を操作する場合は、印刷ジョブを実行するプリンタに対して、「フルコントロール」アクセス権を持っている必要があります。

6.2.3 印刷ジョブの配布先

指定したプリンタに印刷ジョブを配布できます。配布先のプリンタは仕分けサーバに接続されているプリンタです。なお、仕分けサーバと配布先のサーバの OS が異なる場合は配布できません。

プリンタ配布する印刷ジョブには優先順位を付けることができます。優先順位が付けられた印刷ジョブは、優先度の高い順番でプリンタに配布されます。

また、配布先のプリンタで、帳票データの先頭にセパレータを付加して印刷できます。セパレータは JP1/NPS が標準で提供する形式になります。セパレータは、印刷ジョブの

先頭ページの用紙サイズに合わせて、同じ印刷方向で出力されます。

次にセパレータの出力例を示します。

〈セパレータの出力例〉

印刷ジョブ名:決算報告書
配布元情報名:経理部
配布ページ: 14
配布日付: 2004/01/09 15:55

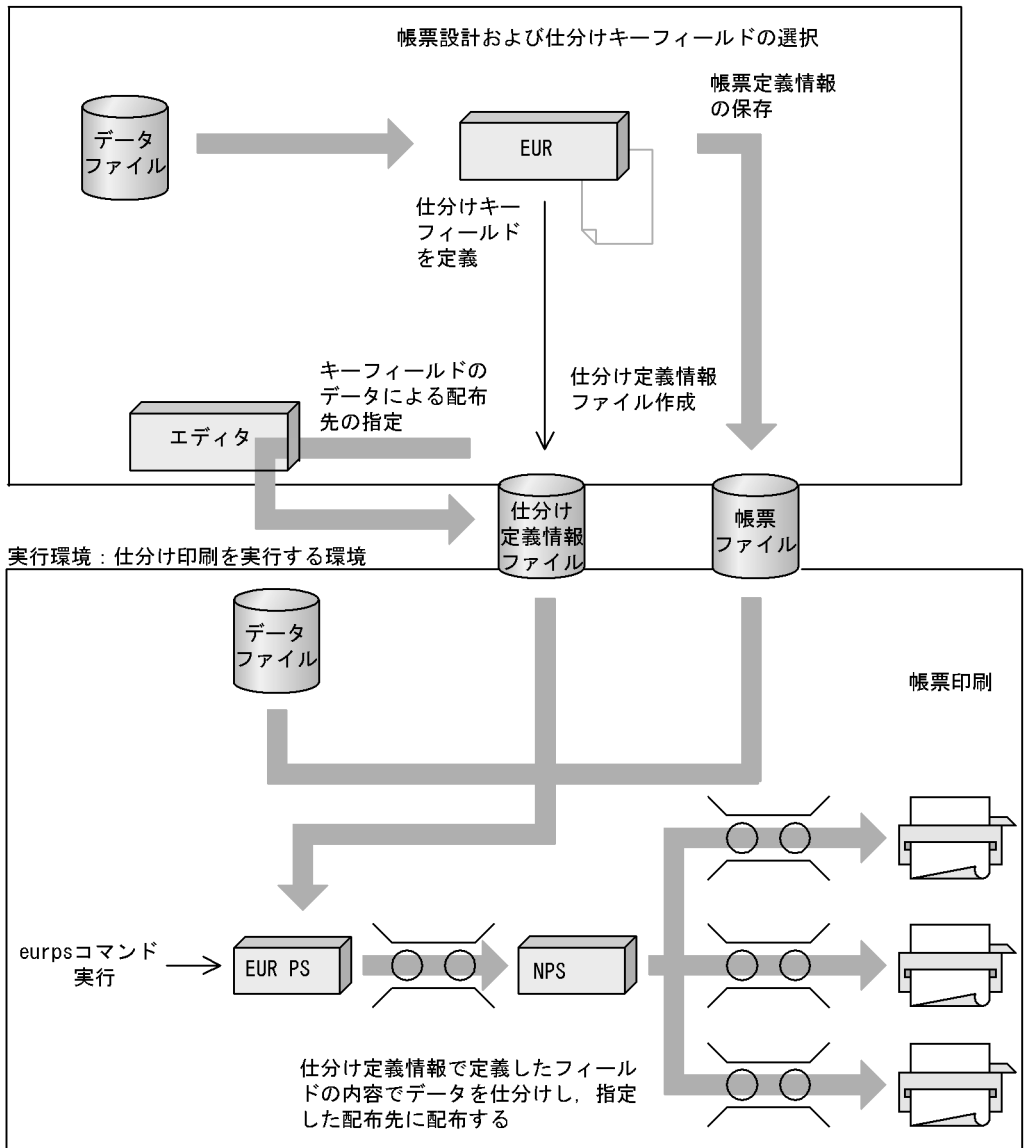
6.3 EUR との連携

EUR と組み合わせて使用すると、EUR で作成した帳票をキーワード仕分けする場合、仕分け性能が向上します。EUR と連携する場合の仕分け形態は、自動仕分けだけです。なお、EUR と連携する場合は、JP1/NPS がインストールされているコンピュータに、EUR Print Service が必要です。EUR については、マニュアル「帳票作成機能 EUR EUR Print Service 帳票出力」を参照してください。

EUR と連携した仕分け配布の概要を次の図に示します。

図 6-5 EUR と連携した仕分け配布の概要図

開発環境：帳票の設計、仕分けキーフィールドの選択および配布先を指定する環境



(凡例)

NPS : JP1/NPS
 EUR PS : EUR Print Service

6.4 仕分け配布の注意事項

仕分け配布機能を使用する場合、次に示す注意事項があります。

(1) 検索キーワードによる仕分けに関する注意事項

(a) 検索キーワードによる仕分けが制限される場合

次の場合、検索キーワードによる仕分けは制限されます。

- 文字列が横書きでない場合
- True Type フォント以外のフォントを使っている場合

(b) シフト JIS のコード体系と異なるフォントを使用した帳票の場合

シフト JIS のコード体系と異なるフォントを使用した帳票の場合、検索キーワードによる仕分けは正しく実行されません。シフト JIS のコード体系と異なるフォントには、例えば、Microsoft Excel 95 の MAP DATA 機能 (Microsoft Excel 95 の [挿入] - [マップ] で使用できる機能) によって組み込まれた Map Symbols フォントがあります。

(c) 仕分け実行時の検索キーワードの検索の仕様

- 検索キーワードの検索範囲内に複数の文字列を含み、各文字列の y 座標 (高さ) が同じ場合、一つの連続した文字列として扱います。

(例) A B

文字列「AB」として扱う

- 検索キーワード文字列内にスペースが含まれている場合、スペースは文字として扱わないで、一つの連続した文字列として扱います。

(例) A B

文字列「AB」として扱う

- 検索キーワードの検索範囲内に重なり合った文字列が存在する場合、一つの連続した文字列として扱います。

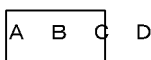
(例) A と B が重なり合っている

各文字列の x 座標 (左幅) の小さい方を先頭に文字列「AB」または「BA」として扱う

(d) 検索キーワードをマウスで囲む場合

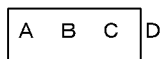
検索キーワードをマウスで囲んだ場合に、マウスで囲んだ文字が検索キーワードに含まれなかったり、囲んでいない文字が検索キーワードに含まれたりする場合があります。このような場合は、マウスで囲む範囲を調整してください。

(例 1) 次の場合、検索キーワードは「ABC」になります。



A B C D

(例 2) 次の場合、検索キーワードは「ABC」になります。



(e) 画面に表示されない文字列が帳票データに含まれている場合

アプリケーションによっては、画面に表示されない文字列が帳票データに含まれていることがあります。このようなアプリケーションから出力された帳票の場合、検索キーワードによる仕分けが正しく実行されないことがあります。

(2) 配布後に保留した帳票に関する注意事項

[ジョブ情報の定義] ダイアログボックスで「配布後に元帳票を保留する」を指定した場合、元帳票を印刷するとその帳票はいったん削除されてから再登録されます。したがって、[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウでの帳票の表示位置や受付時刻は変更されます。

(3) 障害通知先およびリカバリ指示応答先に関する注意事項

JP1/NPS の設定で配布先プリンタの障害通知先またはリカバリ指示応答先が「CREATOR OWNER」になっている場合、[障害通知] または [リカバリ指示] ダイアログボックスは、帳票の仕分け配布を実行した仕分けサーバに表示されます。印刷ジョブを実行したコンピュータにダイアログボックスを表示したい場合は、そのコンピュータを障害通知先またはリカバリ指示応答先に設定してください。

(4) 印刷するプリンタの仕様に関する注意事項

仕分けした帳票は仕分けプリンタの仕様（解像度および用紙サイズ）で印刷されます。したがって、実際に帳票を印刷するプリンタに設定されている仕様とは異なる仕様で印刷されることがあります。

(5) セパレータに関する注意事項

セパレータは、印刷ジョブの先頭ページの用紙サイズに合わせて、同じ印刷方向で出力されます。ただし、次に示す場合は、セパレータが不正に出力されたり、印刷がエラーになったりすることがあります。

- 印刷ジョブの先頭ページが A5 用紙サイズ以下の場合
- 印刷様式（倍率・集約・両面など）を変更している場合

このような場合は、セパレータを出力しないようにしてください。

(6) コンピューター一覧に関する注意事項

[仕分け環境定義 - 仕分けサーバの選択] ダイアログボックスのコンピューター一覧には、ネットワーク上に接続されているコンピュータが表示されないことがあります。設定したいコンピュータが表示されない場合は、直接、テキストボックスにコンピュータ名を入力してください。

(7) 分割指定の仕分け方式に関する注意事項

分割指定の仕分け方式の場合、配布先ユーザ名を指定できません。仕分け元帳票と同じユーザ名で配布されます。また、印刷部数を指定できません。1部固定で配布されます。

(8) 「*」をワイルドカードとして使うジョブ名指定に関する注意事項

「*」をワイルドカードとして使用し、ジョブ名に「*」を指定する場合は、仕分け先プリンタとして仕分けプリンタ自身を指定しないように注意してください。また、それ以外の場合でも、仕分け先に仕分けプリンタ自身を指定する場合は、印刷ジョブ名に仕分け対象にならない名称を指定してください。

(9) EUR と連携する場合の注意事項

EUR と連携して仕分け配布する帳票の印刷ジョブ名が、[仕分け情報定義]のジョブ情報定義で定義された印刷ジョブ名と同じ場合、仕分け定義情報で定義された配布先にだけ仕分けされます。例えば、「*」だけをジョブ名に定義したジョブ情報定義がある場合、EUR でキーワードを設定しても、仕分け情報定義に従った配布先にしか仕分けされません。

したがって、EUR で作成した帳票を仕分け配布する場合は、[仕分け情報定義]のジョブ情報定義で定義されたジョブ名と異なるジョブ名を指定してください。特に、「*」をジョブ名に使用している場合は注意してください。

(10) 配布先の指定に関する注意事項

仕分け情報の定義で、配布先プリンタに仕分けプリンタを定義した場合、仕分け配布が繰り返し実行されることがあるため、注意してください。

特に、EUR と連携して仕分け配布する場合は、配布先プリンタに仕分けプリンタを指定しないでください。

(11) 配布先のプリンタに関する注意事項

仕分けプリンタと配布先プリンタは同じプリンタ機種、同じプリンタドライバを使用してください。また、用紙の向きなどの設定も同じにしてください。

仕分けプリンタと配布先プリンタで異なるプリンタを使用した場合、正しく印刷できなかったり、Windows の Print Spooler サービスが停止したりすることがあります。

7

仕分け配布の運用

仕分け配布を運用する場合の設定および操作方法について説明します。なお、操作の詳細はオンラインヘルプを参照してください。

7.1 運用環境を設定する

7.2 環境を定義する

7.3 仕分け定義情報を定義する

7.4 帳票を仕分け配布する

7.5 仕分け結果を確認する

7.6 EUR と連携する

7.1 運用環境を設定する

仕分け配布するには、環境定義および仕分け定義情報の定義が必要です。

環境定義

[仕分け環境定義] ダイアログボックスで定義します。仕分けサーバの運用環境を設定します。

仕分け定義情報の定義

[仕分け情報定義] ダイアログボックスで定義します。仕分けプリンタに対して仕分け定義情報を定義します。

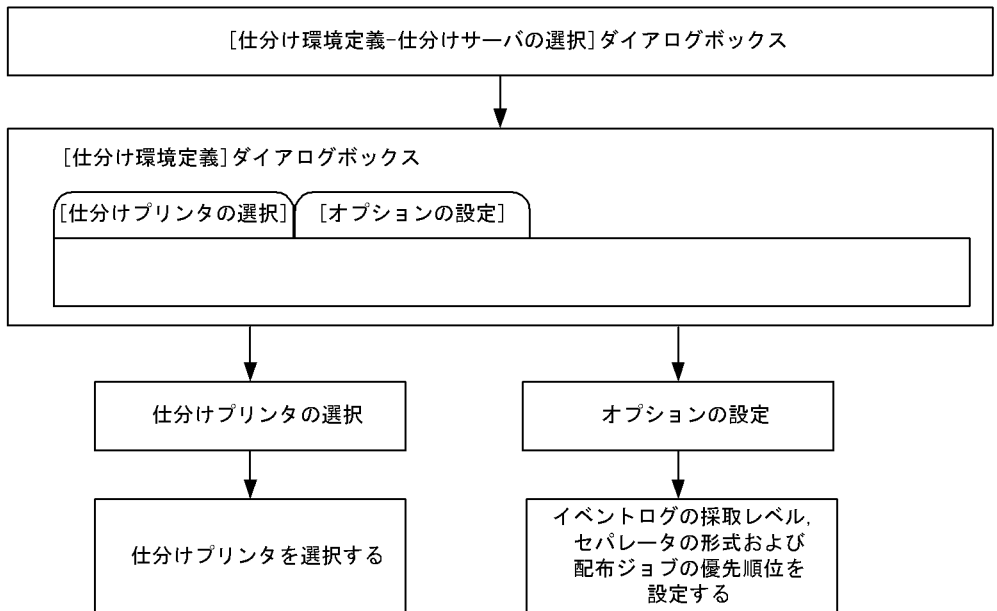
なお、この章で説明する運用環境の設定は仕分けサーバで行ってください。

7.2 環境を定義する

[仕分け環境定義] ダイアログボックスでの操作を説明します。なお、仕分け環境を定義するには、Administrators の権限が必要です。

[仕分け環境定義] ダイアログボックスの画面遷移を次の図に示します。

図 7-1 [仕分け環境定義] ダイアログボックスの画面の遷移



(1) 仕分けサーバを選択する

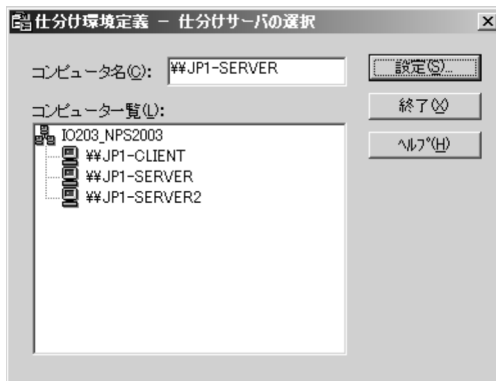
仕分けサーバを選択する手順を次に示します。なお、仕分けサーバとして定義するサーバには、JP1/NPS がインストールされている必要があります。

- Windows の [スタート] メニューから、[プログラム] - [JP1_Network Printing System] - [仕分け環境定義] を選択する。

[仕分け環境定義 - 仕分けサーバの選択] ダイアログボックスが表示されます。

7. 仕分け配布の運用

図 7-2 [仕分け環境定義 - 仕分けサーバの選択] ダイアログボックス



2. 仕分けサーバを選択して、[設定] をクリックする。

[仕分け環境定義] ダイアログボックスが表示されます。[仕分け環境定義] ダイアログボックスには次のタブがあります。

- [仕分けプリンタの選択] タブ
- [オプションの設定] タブ

(2) 仕分けプリンタを選択する

[仕分けプリンタの選択] タブで、仕分けプリンタを選択する手順を次に示します。[仕分けプリンタの選択] タブを次の図に示します。

図 7-3 [仕分けプリンタの選択] タブ



[プリンター一覧] には、仕分けサーバとして設定したコンピュータに接続しているローカルプリンタが表示されます。仕分けプリンタとして使用するプリンタを選択して、[追加] をクリックしてください。選択したプリンタは、JP1/NPS で使用できるプリンタとして設定されている必要があります。JP1/NPS のプリンタのセットアップについては、「5.1 運用環境を設定する」を参照してください。

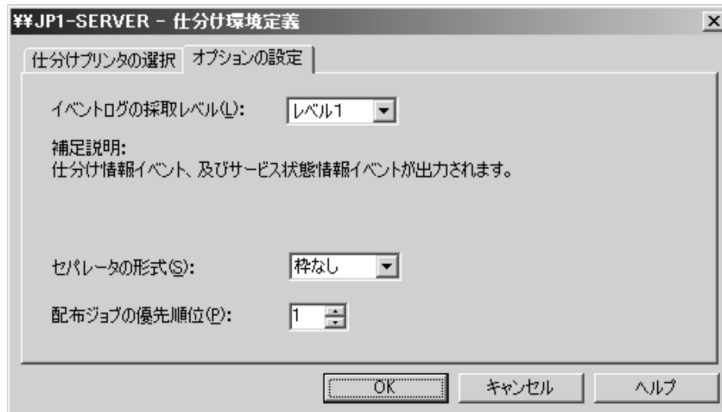
ここで設定したプリンタは、[仕分け情報定義 - 仕分けプリンタの選択] ダイアログボッ

クスの [仕分けプリンタの一覧] に表示されます。

(3) オプションを設定する

[オプションの設定] タブで、イベントログの採取レベル、セパレータの形式、および配布ジョブの優先順位を設定します。[オプションの設定] タブを次の図に示します。

図 7-4 [オプションの設定] タブ



設定項目を説明します。

[イベントログの採取レベル]

採取レベルと採取するログの種類を示します。デフォルトは [レベル 1] です。イベント情報の詳細については、「10. イベント」を参照してください。

[セパレータの形式]

セパレータを目立たせるために、*で囲んだ枠を付けることができます。枠を付けたい場合は、「枠あり」を選択してください。

[配布ジョブの優先順位]

ジョブが配布されるときに優先順位を設定できます。設定した優先順位で配布先のプリンタキューに登録されます。1を指定すると、通常の仕分け配布と同じです。優先順位を設定したいジョブには、1より大きい値を設定してください。配布ジョブの優先順位は、仕分けジョブ単位に設定することもできます。ジョブ単位の優先順位の設定方法については、「7.3.5 ジョブ情報を定義する」または「7.4.1 対話仕分けする」を参照してください。

7.3 仕分け定義情報を定義する

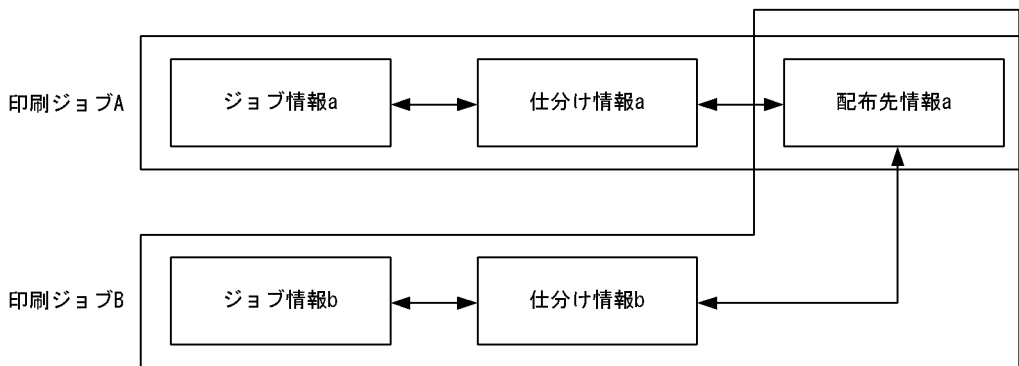
仕分け定義情報とは、仕分け方式や配布先に関する定義情報や、印刷ジョブに関連づけるための情報です。印刷ジョブの仕分け配布を実行するには、仕分け方式や配布先について定義し、定義情報を印刷ジョブに関連づけておきます。

仕分け定義情報には、次の三つの情報があります。

- 配布先情報
帳票の配布先や出力先について定義した情報です。
- 仕分け情報
帳票の仕分け方式について定義した情報です。仕分け情報の定義時、仕分け情報と配布先情報を関連づけます。
- ジョブ情報
印刷ジョブ名を定義した情報です。ジョブ情報の定義時、印刷ジョブと仕分け情報を関連づけます。

仕分け定義情報と印刷ジョブの関係を、次の図に示します。

図 7-5 仕分け定義情報と印刷ジョブの関係



(凡例) \longleftrightarrow : 関連付けられていることを示す。

自動仕分けの場合

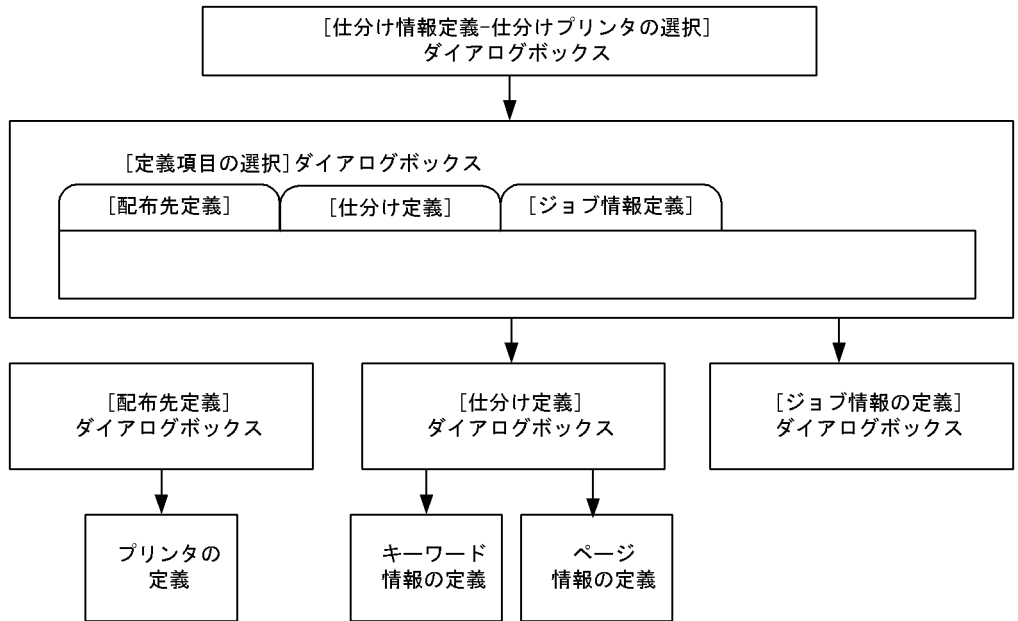
自動仕分けの対象になる印刷ジョブには、配布先情報と仕分け情報、およびジョブ情報を定義しておく必要があります。JP1/NPS は、ジョブ情報が関連づけられた印刷ジョブの場合、自動仕分けの処理を開始します。

対話仕分けの場合

仕分け情報の定義時に配布先情報を関連づけた仕分け情報名を、[対話仕分け] ダイアログボックスの実行時に選択します。

仕分け定義情報は、[仕分け情報定義] ダイアログボックスで定義します。[仕分け情報定義] ダイアログボックスの画面遷移を次の図に示します。

図 7-6 [仕分け情報定義] ダイアログボックスの画面の遷移



7.3.1 仕分け定義情報の所有権

仕分け定義情報は、ユーザごとに独自の情報を定義できます。また、定義した情報を、ほかのユーザへ公開するかどうかを指定できます。

情報の公開については、情報を定義するダイアログボックスのチェックボックスで指定します。

情報を公開した場合、ほかのユーザが情報を定義するダイアログボックスに、情報名が表示されます。表示される情報名の末尾には、情報を定義したユーザ名が付きます。ほかのユーザは、情報の定義時、公開された情報を参照、または複写することができます。また、公開された情報をそのまま、仕分け配布の実行時の仕分け情報として使用できます。

情報を公開しない場合、ほかのユーザが情報を定義するダイアログボックスには情報名が表示されないため、ほかのユーザは情報を使用できません。したがって、情報を定義したユーザが仕分け帳票を印刷した場合は仕分け対象ジョブとして仕分けされますが、情報を定義したユーザ以外のユーザが同じジョブ名で印刷した場合は、仕分け対象のジョブにはなりません。普通の印刷ジョブとして印刷されます。

情報を公開した場合と非公開にした場合の、ユーザが情報を使用できる範囲を、次の表に示します。

表 7-1 情報の公開および非公開による、情報の使用範囲

利用者		情報			
		ユーザ A が定義した情報		ユーザ B が定義した情報	
		公開情報	非公開情報	公開情報	非公開情報
ユーザ A が使用できる範囲	定義時	変更・削除・複写	変更・削除・複写	参照・複写	使用できない
	実行時	使用できる	使用できる	使用できる	使用できない
ユーザ B が使用できる範囲	定義時	参照・複写	使用できない	変更・削除・複写	変更・削除・複写
	実行時	使用できる	使用できない	使用できる	使用できる

7.3.2 仕分けプリンタを選択する

仕分け定義情報を定義する前に、仕分け配布を実行する仕分けプリンタを選択します。仕分けプリンタを選択する手順を次に示します。

- Windows の [スタート] メニューから、[プログラム] - [JP1_Network Printing System] - [仕分け情報定義] を選択する。
[仕分け情報定義 - 仕分けプリンタの選択] ダイアログボックスが表示されます。

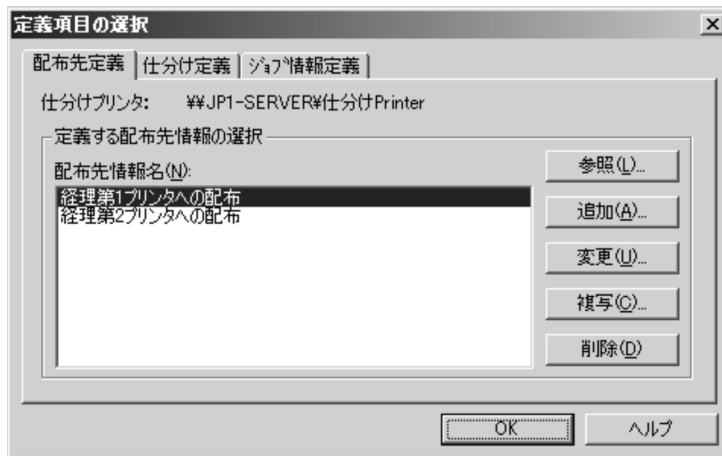
図 7-7 [仕分け情報定義 - 仕分けプリンタの選択] ダイアログボックス



[仕分けプリンタの一覧] に表示されるプリンタは、[仕分け環境定義] ダイアログボックスの [仕分けプリンタの選択] で選択されたプリンタのうち、表示するコンピュータに接続された仕分けプリンタです。

- 仕分け配布を実行するプリンタを、[仕分けプリンタの一覧] から選択、または [仕分けプリンタ] に直接入力し、[設定] をクリックする。
[定義項目の選択] ダイアログボックスが表示されます。

図 7-8 [定義項目の選択] ダイアログボックス



[定義項目の選択] ダイアログボックスには、次のタブがあります。

[配布先定義] タブ

配布先情報を定義します。配布先情報とは、帳票の配布先や出力先について定義した情報です。

[配布先定義] タブには、定義済みの配布先情報名が表示されます。なお、配布先情報名とは、配布先情報の定義内容を一つにまとめた名称です。

[仕分け定義] タブ

仕分け情報を定義します。仕分け情報とは、キーワード指定によるページ単位の仕分けをする場合の検索キーワード、ページ指定による仕分けをする場合のページ番号、および分割指定による仕分けをする場合の分割比率のことです。一つのページ情報やキーワード情報が、仕分け配布の一つのパターンとなります。一つの印刷ジョブを、幾つかのパターンで複数個所に配布する場合、そのパターンを仕分け情報として定義します。

[仕分け定義] タブには、定義済みの仕分け情報名が表示されます。仕分け情報名とは、定義した情報を一つにまとめた名称です。

[ジョブ情報定義] タブ

ジョブ情報を定義します。ジョブ情報とは、印刷ジョブ名と仕分け情報を関連づける情報です。

設定済みの仕分け情報と配布先情報に従って印刷ジョブを実行するには、仕分け情報と印刷ジョブ名を関連づける必要があります。

仕分け情報と配布先情報は、仕分け情報の設定時に関連づけられます。したがって、印刷ジョブ名と仕分け情報を関連づけることによって、配布先情報も印刷ジョブ名に関連づけられます。

[ジョブ名] には、定義済みの印刷ジョブ名が表示されます。

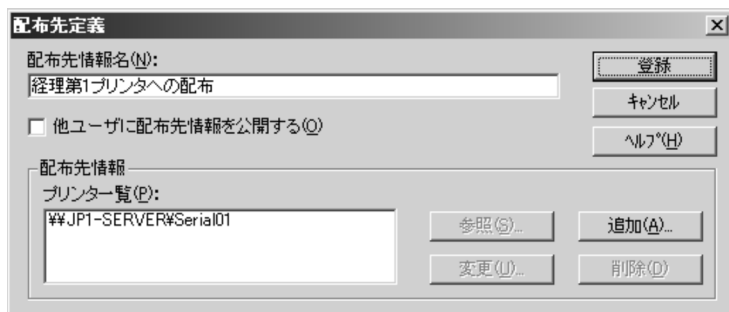
7.3.3 配布先情報を定義する

配布先情報を新規に設定する場合の手順を次に示します。

7. 仕分け配布の運用

1. [配布先定義] タブで [追加] をクリックする。
[配布先定義] ダイアログボックスが表示されます。

図 7-9 [配布先定義] ダイアログボックス



2. [プリンター一覧] の枠内を選択して [追加] をクリックする。
[プリンタの定義] ダイアログボックスが表示されます。

図 7-10 [プリンタの定義] ダイアログボックス



3. 仕分けした帳票の出力先となるプリンタのプリンタ名などを指定する。

7.3.4 仕分け情報を定義する

仕分け情報を新規に設定する場合、[定義項目の選択] ダイアログボックスの [仕分け定義] タブで [追加] をクリックして、[仕分け定義] ダイアログボックスを表示します。

[仕分け定義] ダイアログボックスから、キーワード指定で仕分けをする場合、ページ指定での仕分けをする場合、および分割指定で仕分けをする場合の設定方法を説明します。

(1) キーワード指定で仕分けする

キーワード指定で仕分けをする場合は、[仕分け定義] ダイアログボックスの [仕分け方式] で [キーワード指定] を選択します。キーワード指定の場合の [仕分け定義] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 7-11 [仕分け定義] ダイアログボックス (キーワード指定)

仕分け定義

仕分け情報名(N):

他ユーザに仕分け情報を公開する(O)

仕分け方式
 キーワード指定(K) ページ指定(P) 分割指定(B)

キーワード仕分け情報

キーワード情報名(W):

未定義ページの配布先情報
 未定義ページを配布する(W)
 配布先情報名(M):

検索キーワードが見つからなかったページを未定義ページと呼びます。[未定義ページの配布先情報]で、[未定義ページを配布する]をチェックすると、未定義ページの配布先を指定できます。配布先情報名を指定する代わりに、[前ページと同じところに配布する]を選択すると、未定義ページの前ページに指定された配布先と同じ配布先に配布できます。

検索キーワードおよび使用する配布先情報名を指定する場合は、[キーワード仕分け情報]の[追加]をクリックします。表示される[キーワード情報の定義]ダイアログボックスを次の図に示します。

図 7-12 [キーワード情報の定義] ダイアログボックス

キーワード情報の定義

キーワード情報名(K):

検索キーワード情報

検索キーワード(W): 検索範囲(R):

<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="100"/>	<input type="text" value="1045"/>	<input type="text" value="198"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

検索条件
 論理和(O) 論理積(A)

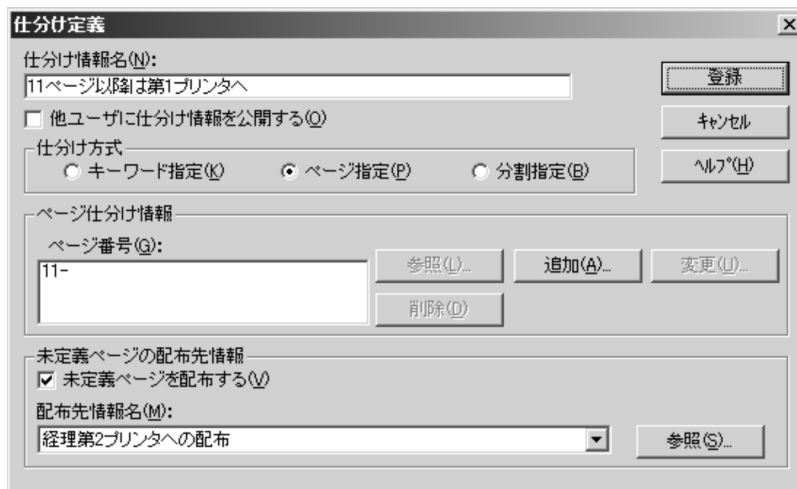
使用する配布先情報
 配布先情報名(N):

キーワード情報名、検索キーワード、配布先情報などを指定します。

(2) ページ指定で仕分けする

ページ指定で仕分けをする場合は、[仕分け定義] ダイアログボックスの [仕分け方式] で [ページ指定] を選択します。ページ指定の場合の [仕分け定義ダイアログボックス] を次の図に示します。

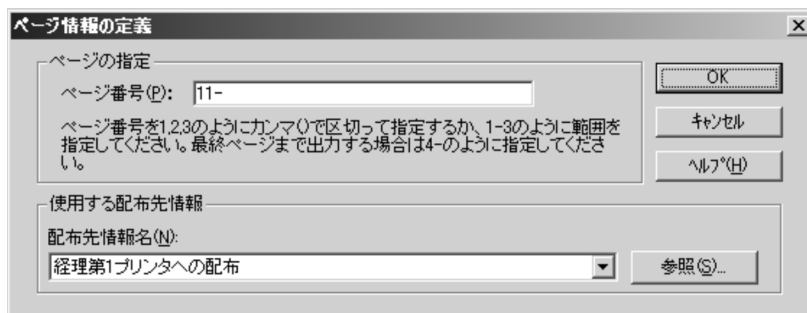
図 7-13 [仕分け定義] ダイアログボックス (ページ指定)



ページ指定に該当しなかったページを未定義ページと呼びます。[未定義ページの配布先情報] で、[未定義ページを配布する] をチェックすると、未定義ページに対して配布先を指定できます。配布先情報名を指定する代わりに、[前ページと同じところに配布する] を選択すると、未定義ページの前ページに指定された配布先と同じ配布先に配布できます。

仕分けするページおよび使用する配布先情報名を指定する場合は、[ページ仕分け情報] の [追加] をクリックします。表示される [ページ情報の定義] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 7-14 [ページ情報の定義] ダイアログボックス

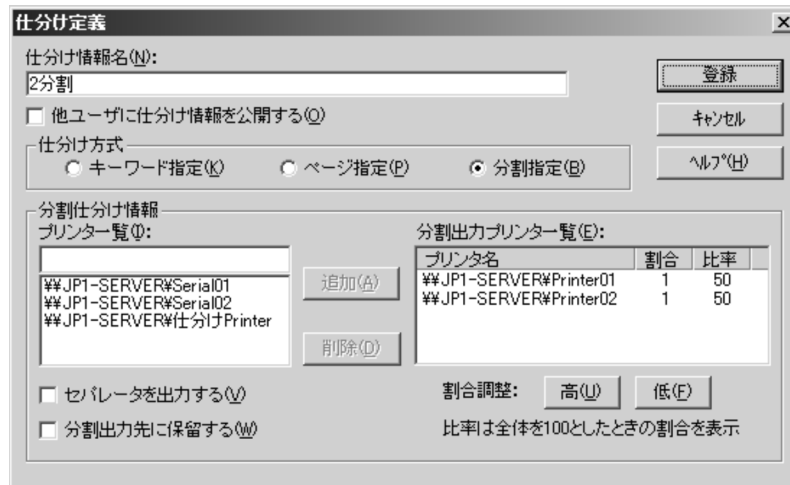


仕分けするページ番号および配布先情報名を指定します。

(3) 分割指定で仕分けする

分割指定で仕分けをする場合は、[仕分け定義] ダイアログボックスの [仕分け方式] で [分割指定] を選択します。分割指定の場合の [仕分け定義] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 7-15 [仕分け定義] ダイアログボックス (分割指定)



[プリンター一覧] から配布先のプリンタを選択し、選択したプリンタに対して仕分けの割合を調整します。なお、分割指定で仕分けをする場合は、配布先のプリンタ名を直接指定するので、配布先定義との関連づけは不要です。

7.3.5 ジョブ情報を定義する

ジョブ情報を新規に設定する場合、[ジョブ情報定義] タブで [追加] をクリックします。表示される [ジョブ情報の定義] ダイアログボックスを次の図に示します。

7. 仕分け配布の運用

図 7-16 [ジョブ情報の定義] ダイアログボックス

[ジョブ名] および [仕分け情報名] を指定すると、印刷ジョブと仕分け情報が関連づけられます。[ジョブ名] では「*」をワイルドカード文字として使用できます。また、仕分け定義情報を他ユーザに公開するかどうかも設定できます。

このダイアログボックスでは、仕分け配布時のオプションも設定できます。次に、設定できるオプションを説明します。

[印刷ジョブ名]

配布先のプリンタに出力する印刷ジョブ名を指定できます。

[配布元情報名]

セパレータの [配布元情報名] に表示される配布元の情報を指定できます。

[配布ジョブの優先順位]

ジョブが配布されるときの優先順位を設定できます。ジョブは、設定した優先順位で配布先のプリンタキューに登録されます。1 を指定すると、通常の仕分け配布と同じです。優先順位を設定したいジョブには、1 より大きい値を設定してください。配布ジョブの優先順位は、[環境定義] ダイアログボックスの [オプションの設定] タブでも設定できます。なお、[ジョブ情報の定義] ダイアログボックスと [環境定義] ダイアログボックスの優先順位では、[ジョブ情報の定義] ダイアログボックスで設定した順位が優先されます。[ジョブ情報の定義] ダイアログボックスで優先順位を設定しなかった場合は、[環境定義] ダイアログボックスの [オプションの設定] タブで設定した優先順位で配布します。

[配布後に元帳票を保留する]

印刷ジョブを仕分けして配布したあと、JP1/NPS のプリンタにその印刷ジョブの帳票データを保留する場合にチェックします。

7.4 帳票を仕分け配布する

帳票を仕分け配布する方法は、自動仕分けと対話仕分けがあります。自動仕分けは、仕分け定義情報に従って自動的に仕分けされます。対話仕分けは、仕分けジョブごとに [対話仕分け] ダイアログボックスで操作します。

この節では、対話仕分けについて説明します。

7.4.1 対話仕分けする

対話仕分けする手順を次に示します。

1. [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウで、印刷ジョブの一覧から対話仕分けする印刷ジョブを選択して、[印刷ジョブ] - [仕分け] を選択する。
[対話仕分け] ダイアログボックスが表示されます。

図 7-17 [対話仕分け] ダイアログボックス



2. [仕分け情報名] を選択して [実行] をクリックする
仕分けが実行されます。

なお、[対話仕分け] ダイアログボックスでは、仕分け配布時のオプションも設定できます。次に、設定できるオプションを説明します。

- 印刷ジョブ名
配布先のプリンタに出力する印刷ジョブ名を指定できます。
- [配布元情報名]
セパレータの [配布元情報名] に表示される配布元の情報を指定できます。
- 配布ジョブの優先順位
ジョブが配布されるとき優先順位を設定できます。ジョブは、設定した優先順位で配布先のプリンタキューに登録されます。1 を指定すると、通常の仕分け配布と

7. 仕分け配布の運用

同じです。優先順位を設定したいジョブには、1より大きい値を設定してください。配布ジョブの優先順位は、[環境定義]ダイアログボックスの[オプションの設定]タブでも設定できます。なお、[対話仕分け]ダイアログボックスと[環境定義]ダイアログボックスの優先順位では、[対話仕分け]ダイアログボックスで設定した順位が優先されます。[対話仕分け]ダイアログボックスで優先順位を設定しなかった場合は、[環境定義]ダイアログボックスの[オプションの設定]タブで設定した優先順位で配布します。

7.5 仕分け結果を確認する

[仕分け結果確認] ウィンドウで、帳票データの仕分け結果を確認できます。なお、仕分け結果は仕分けサーバで確認します。

[仕分け結果確認] ウィンドウは、Windows の [スタート] メニューから、[プログラム] - [JP1_Network Printing System] - [仕分け結果確認] を選択すると表示されます。[仕分け結果確認] ウィンドウを次の図に示します。

図 7-18 [仕分け結果確認] ウィンドウ



配布元の印刷ジョブの仕分け結果情報が表示されている行をダブルクリックすると、次の行以降に配布先の印刷ジョブの仕分け結果情報が表示されます。

[仕分け結果確認] ウィンドウから、さらに次の三つのダイアログボックスを開くことができます。

[プリンタの選択] ダイアログボックス

仕分け結果を確認するプリンタを選択できます。

[ファイルサイズの設定] ダイアログボックス

仕分け結果ファイルのサイズを設定できます。

[仕分け結果の詳細] ダイアログボックス

配布元または配布先の帳票データの仕分け結果の詳細を確認できます。

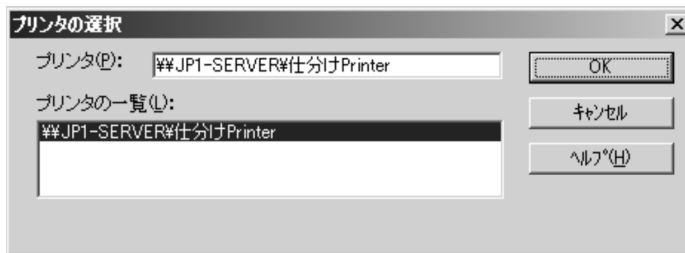
(1) [プリンタの選択] ダイアログボックス

[仕分け結果確認] ウィンドウで、[ファイル] - [プリンタの選択] を選択すると、[プ

7. 仕分け配布の運用

プリンタの選択] ダイアログボックスが表示されます。[プリンタの選択] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 7-19 [プリンタの選択] ダイアログボックス

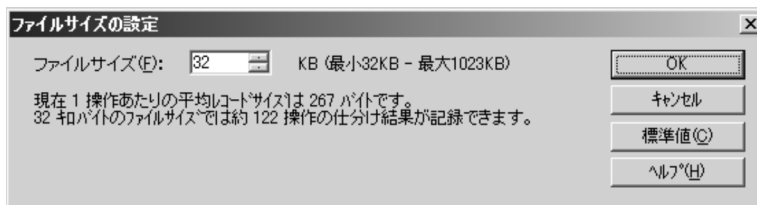


このダイアログボックスでは、仕分け結果を確認したい仕分けプリンタを選択します。プリンタの一覧には、[仕分け環境定義] ダイアログボックスで選択した仕分けプリンタが表示されます。

(2) [ファイルサイズの設定] ダイアログボックス

[仕分け結果確認] ウィンドウで、[ファイル] - [ファイルサイズの設定] を選択すると、[ファイルサイズの設定] ダイアログボックスが表示されます。[ファイルサイズの設定] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 7-20 [ファイルサイズの設定] ダイアログボックス

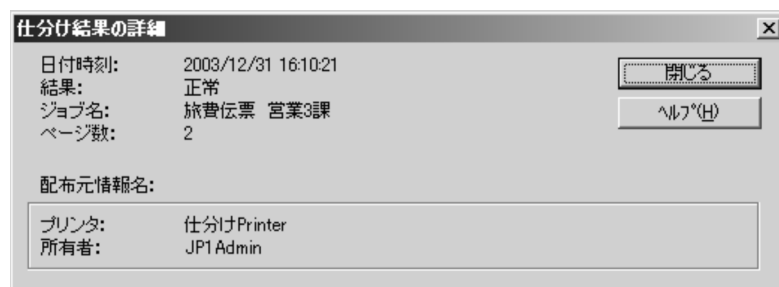


このダイアログボックスでは、仕分け結果ファイルのサイズを指定します。指定できるのは、プリンタに対して、「フルコントロール」アクセス権を持っているユーザだけです。

(3) [仕分け結果の詳細] ダイアログボックス

[仕分け結果確認] ウィンドウで、仕分け結果情報を選択して、[表示] - [仕分け結果の詳細] を選択すると、[仕分け結果の詳細] ダイアログボックスが表示されます。[仕分け結果の詳細] ダイアログボックスを次の図に示します。

図 7-21 [仕分け結果の詳細] ダイアログボックス



7.6 EUR と連携する

EUR で作成した帳票を仕分け配布する場合は、仕分けする検索キーワードやキーワード検出時の配布先などの仕分け情報を EUR で設定します。この節では、EUR での設定について説明します。

EUR を使用して、仕分けする検索キーワードやキーワード検出時の配布先などを定義した仕分け定義情報ファイルを作成します。

EUR の仕分け定義情報ファイルには次に示す配布先を指定できます。

- 配布先情報名
[仕分け情報定義] で定義した「配布先情報名」を指定します。指定された配布先情報に従って配布されます。
- 配布先プリンタ名
配布先プリンタ名を、ネットワークパス名も含めて指定します。
なお、配布先プリンタ名を指定した場合の注意事項を次に示します。
 - 印刷部数の指定はできません。1部固定で配布されます。
 - セパレータを出力できません。
 - 配布先に保留できません。
 - 配布先ユーザ名の指定はできません。仕分け元帳票と同一のユーザ名で配布されます。
 - 配布先プリンタ名に仕分けプリンタを指定しないでください。

仕分け定義情報ファイルの作成方法や指定方法については、EUR のオンラインヘルプを参照してください。

8

ウィンドウとメニュー一覧

この章では、JP1/NPS のウィンドウとメニューコマンドを説明します。

8.1 JP1/NPS のウィンドウとメニュー一覧

8.1 JP1/NPS のウィンドウとメニュー一覧

JP1/NPS は、[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウと [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウから構成されます。JP1/NPS には両方のウィンドウがありますが、JP1/NPS/Client には [JP1/NPS 構成定義] ウィンドウはありません。次に、各ウィンドウとメニュー項目について説明します。

8.1.1 [JP1/NPS 構成定義] ウィンドウ

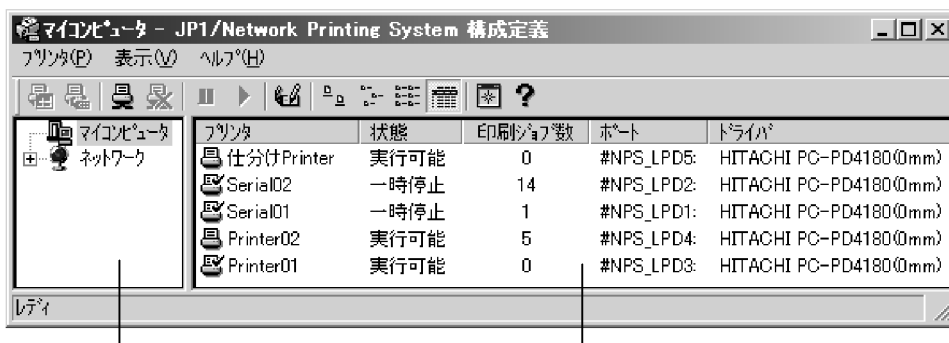
このウィンドウでは、Windows で作成したプリンタにプリンタ情報を設定し、管理します。また、ほかのサーバのプリンタのプリンタ情報も変更することができます。このプリンタ情報のうち、プリンタ障害発生時の対処の方法や代替りのプリンタを検索するために必要なプリンタ仕様は、構成管理サーバに登録され管理されます。

[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウを起動するには、Windows の [スタート] メニューから、[プログラム] - [JP1_Network Printing System] - [構成定義] を選択します。

(1) [JP1/NPS 構成定義] ウィンドウの構成

[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウには、[ネットワーク] ウィンドウおよび [プリンタ] ウィンドウが表示されます。

図 8-1 [JP1/NPS 構成定義] ウィンドウ



ネットワークウィンドウ

プリンタウィンドウ

[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウには、次のメニューがあります。

- [プリンタ] メニュー
- [表示] メニュー
- [ヘルプ] メニュー

それぞれのメニューが提供するコマンドを、メニューごとに示します。

(2) [プリンタ] メニュー

ブルダウメニュー	機能
プロパティ	選択したプリンタのプリンタ情報または選択したポートのポート情報を変更する
デフォルト情報に戻す	選択したプリンタのプリンタ情報または選択したポートのポート情報をデフォルトに戻す
接続	ネットワーク上のプリントサーバに作成されているプリンタを接続する
切り離し	選択したプリンタを切り離す
一時停止	選択したプリンタを一時停止する
再開	選択した一時停止中のプリンタを再開する
デフォルト情報の変更	プリンタ情報またはポート情報のデフォルト情報を変更する
構成定義の終了	[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウを終了する

(3) [表示] メニュー

ブルダウメニュー	機能
ツールバー	ツールバーの表示または非表示を切り替える
ステータスバー	ステータスバーの表示または非表示を切り替える
プリンター一覧	プリンター一覧を表示する
LAN 接続ポート一覧	LAN 接続プリンタ用ポート一覧を表示する
大きいアイコン	プリンター一覧または LAN 接続プリンタ用ポート一覧を大きいアイコンで表示する
小さいアイコン	プリンター一覧または LAN 接続プリンタ用ポート一覧を小さいアイコンで表示する
一覧	プリンター一覧または LAN 接続プリンタ用ポート一覧を一覧形式で表示する
詳細	プリンター一覧または LAN 接続プリンタ用ポート一覧を詳細形式で表示する
最新の情報に更新	選択されたコンピュータのプリンタに関する情報を最新の情報に更新する

(4) [ヘルプ] メニュー

ブルダウメニュー	機能
トピックの検索	ヘルプを表示する
バージョン情報	バージョン情報を表示する

8.1.2 [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウ

このウィンドウでは、主にプリンタの管理や印刷ジョブの操作ができます。

8. ウィンドウとメニュー一覧

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウを起動するには、Windows の [スタート] メニューから、[プログラム] - [JP1_Network Printing System] - [マネージャ] を選択します。または、タスクトレイにある JP1/NPS/Client プログラムアイコンをダブルクリックします。

(1) [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウの構成

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウには、[プリンタ] ウィンドウまたは [サーバ] ウィンドウが表示されます。

[プリンタ] ウィンドウ

[プリンタ] ウィンドウには、選択したプリンタ上の印刷ジョブが表示されます。ここから、印刷ジョブを操作できます。[プリンタ] ウィンドウは、リモート印刷用のプリンタがある場合とリモート印刷用のプリンタがない場合で異なります。リモート印刷用のプリンタがある場合の [プリンタ] ウィンドウを次の図に示します。

図 8-2 [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウ (リモート印刷用のプリンタがある場合)



プリンタウィンドウ (ネットワークプリンタの状態)

プリンタウィンドウ (リモート印刷用プリンタの状態)

リモート印刷用のプリンタがある場合は、上段にネットワークプリンタの状態を、下段に上段のネットワークプリンタに対応するリモート印刷用のプリンタの状態を表示します。

次に、リモート印刷用のプリンタがない場合の [プリンタ] ウィンドウを次の図に示します。

図 8-3 [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウ (リモート印刷用のプリンタがない場合)

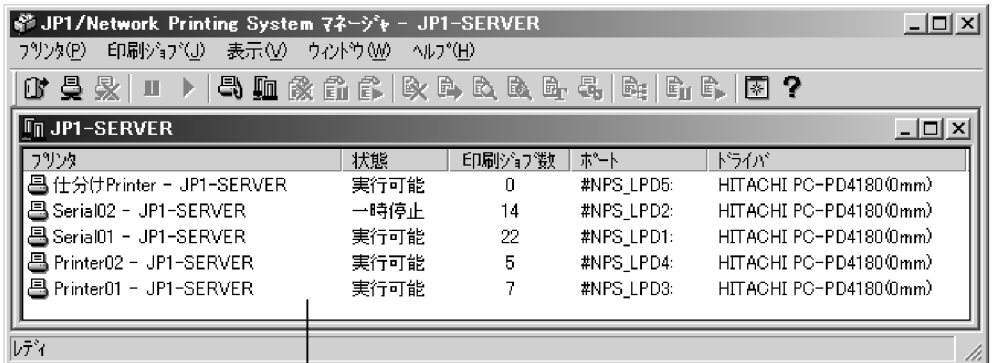


プリンタウィンドウ

[サーバ] ウィンドウ

[サーバ] ウィンドウには、選択したサーバ上のプリンタが表示されます。これは、[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウの [プリンタ] ウィンドウに表示される情報と同じです。[サーバ] ウィンドウを次の図に示します。

図 8-4 [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウ ([サーバ] ウィンドウが表示されている場合)



サーバウィンドウ

(2) [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウのメニュー一覧

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウには、次のメニューがあります。

- [プリンタ] メニュー
- [印刷ジョブ] メニュー
- [表示] メニュー
- [ウィンドウ] メニュー

8. ウィンドウとメニュー一覧

• [ヘルプ]メニュー

それぞれのメニューが提供するコマンドを、メニューごとに示します。

(a) [プリンタ]メニュー

ブルダウメニュー		機能
開く		選択したプリンタのプリンタウィンドウを開く
接続		ネットワーク上のプリントサーバに作成されているプリンタを接続する
切り離し		選択したプリンタの接続を切り離す
一時停止		選択したプリンタを一時停止する
再開		選択した一時停止中のプリンタを再開する
検索		仕様適合プリンタを検索する
サーバの表示		ネットワーク上のプリントサーバを表示する
サーバ単位での操作	全プリンタの一時停止	サーバウィンドウ内のすべてのプリンタを一時停止する
	全プリンタの再開	サーバウィンドウ内のすべてのプリンタを再開する
	全印刷ジョブの削除	サーバウィンドウ内のすべてのプリンタの印刷ジョブを削除する
	全印刷ジョブの保留	サーバウィンドウ内のすべてのプリンタの印刷ジョブを保留する
	全印刷ジョブの保留解除	サーバウィンドウ内のすべてのプリンタの印刷ジョブの保留を解除する
全印刷ジョブの削除		選択したプリンタ上のすべての印刷ジョブを削除する
全印刷ジョブの保留		選択したプリンタ上のすべての印刷ジョブを保留する
全印刷ジョブの保留解除		選択したプリンタ上のすべての印刷ジョブを保留解除する
マネージャの終了		[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウを終了する

(b) [印刷ジョブ]メニュー

ブルダウメニュー		機能
削除		選択した印刷ジョブを削除する
移動・コピー		[印刷ジョブの移動またはコピー] ダイアログボックスを表示する。このダイアログボックスから、印刷ジョブを別のプリンタへ移動またはコピーする
キャンセル	再登録する	選択した印刷中のジョブをキャンセルし、保留属性で再登録する
	再登録しない	選択した印刷中のジョブをキャンセルする
詳細		[印刷ジョブの詳細情報] ダイアログボックスを表示する

プルダウンメニュー	機能
プレビュー	選択した印刷待ち、保留または印刷済み状態の印刷ジョブをプレビューする
仕分け	選択した印刷ジョブを仕分け配布する
保留	選択した印刷ジョブを保留する
保留解除	選択した印刷ジョブの保留を解除する
テスト印刷	[テスト印刷] ダイアログボックスを表示する。このダイアログボックスから、選択した印刷待ちまたは保留状態の印刷ジョブを、ページを指定してテスト印刷する
再印刷	[ページ指定の再印刷] ダイアログボックスを表示する。このダイアログボックスから、選択した印刷済み状態の印刷ジョブを、ページを指定して再印刷する

(c) [表示] メニュー

プルダウンメニュー	機能
ツールバー	ツールバーの表示または非表示を切り替える
ステータスバー	ステータスバーの表示または非表示を切り替える
印刷ジョブ	すべての印刷ジョブ 印刷ジョブ表示のフィルタ 印刷済みを表示しない
	[プリンタ] ウィンドウに、すべての印刷ジョブを表示する
	[フィルタ] ダイアログボックスを表示する。このダイアログボックスで、[プリンタ] ウィンドウに表示する印刷ジョブをフィルタリングする
	[プリンタ] ウィンドウに、印刷済み状態のジョブを表示しない
最新の情報に更新	選択したプリンタの表示情報を最新の情報に更新する

(d) [ウィンドウ] メニュー

プルダウンメニュー	機能
重ねて表示	複数のウィンドウを重ねて表示する
上下に並べて表示	複数のウィンドウを上下に並べて表示する
左右に並べて表示	複数のウィンドウを左右に並べて表示する
アイコンの整列	アイコンを整列する

(e) [ヘルプ] メニュー

プルダウンメニュー	機能
トピックの検索	ヘルプを表示する
バージョン情報	バージョン情報を表示する

9

コマンド

JP1/NPS で使用できるコマンドについて説明します。

コマンドの記述形式

コマンド一覧

JDelJobs.exe

JNpsActC.exe

JNpsActG.exe

コマンドの記述形式

このマニュアルでは、次に示す記号を使ってコマンドの使い方を説明しています。

記号	意味と例
[]	この記号は「省略可能」を示します。 (例) [/Change] 何も指定しないか、/Change を指定することを示します。
	この記号は「または」を示します。 (例) A B 「AまたはB」を指定することを示します。
-	この記号は「デフォルト」を示します。 (例) [/Option:Yes No] 何も指定しない場合は、Yes が仮定されることを示します。

コマンド一覧

JP1/NPS で使用するコマンドを一覧で示します。コマンドは、次に示すフォルダに格納されています。

JP1/NPS のインストールフォルダ ¥Command

機能	コマンド名	必要な実行権限
プリンタキュー上の印刷済みジョブを削除する。	JDelJobs.exe	プリンタに対する「フルコントロール」アクセス権
課金情報を収集する。	JNpsActC.exe	Administrators
[課金情報の出力] ダイアログボックスを表示し、課金情報を収集する。	JNpsActG.exe	Administrators

JDelJobs.exe

形式

```
JDelJobs.exe * | プリンタ名  
              * | YYYYMMDD
```

機能

印刷済みのジョブを削除します。印刷済みジョブの削除方法には、次に示す四つの方法があります。

- すべてのプリンタ上のすべての印刷済みジョブを削除する
- すべてのプリンタ上の印刷済みジョブのうち、指定した日付以前に印刷されたジョブを削除する
- 指定した一つのプリンタ上のすべての印刷済みジョブを削除する
- 指定した一つのプリンタ上の印刷済みジョブのうち、指定した日付以前に印刷されたジョブを削除する

なお、このコマンドはプリントサーバ上でだけ実行できます。そのプリントサーバのローカルプリンタ上の印刷済みジョブを削除します。

引数

* | プリンタ名

印刷済みジョブを削除するプリンタを指定します。ここで指定したプリンタ上の印刷済みジョブを削除します。

- *
すべてのプリンタ上の印刷済みジョブを削除します。
- プリンタ名
そのプリンタ上の印刷済みジョブを削除します。

* | YYYYMMDD

印刷済み日付を指定します。ここで指定した日付以前に印刷されたジョブを削除します。

- *
すべての印刷済みジョブを削除します。
- YYYYMMDD
指定した日付以前に印刷されたジョブを削除します。
なお、印刷済み日付は「年月日 =YYYY/MM/DD」の形式で指定してください。この形式以外で指定するとエラーになります。

注意事項

- このコマンドは JP1/NPS が管理するポート (#NPS_LPTx:, #NPS_JETx:, #NPS_XDPx:, #NPS_LPDx:) のプリンタでだけ実行できます。
- このコマンドを実行するには、プリンタに対する「フルコントロール」アクセス権が

必要です。

戻り値

0	正常終了
1	引数が指定されていないなど、引数が誤っている
2	指定したプリンタが存在しないなど、プリンタ名が誤っている
3	指定した日付の形式が正しくないなど、印刷済み日付が誤っている
4	JP1/NPS/Client がインストールされたコンピュータでコマンドを実行したなど、コマンドの実行環境が不正である
5	削除する印刷済みジョブがない
6	対象となるプリンタがない
7	プリンタに対する「フルコントロール」アクセス権がない 1
8	コマンド処理中にエラーが発生した 2

なお、削除中にエラーが複数発生した場合は、重要度が高いもの（戻り値の数値が大きいもの）が戻り値として表示されます。

注 1 プリンタ名に "*" を指定した場合、すべてのプリンタの中に「フルコントロール」アクセス権がないプリンタが一つでも存在しているところのエラーになります。その場合、「フルコントロール」アクセス権があるプリンタ上の印刷済みジョブは削除されます。

注 2 ただし、幾つかの印刷済みジョブの削除に成功した可能性もあります。

使用例

すべてのプリンタ上のすべての印刷済みジョブを削除します

```
JDelJobs.exe * *
```

すべてのプリンタ上の印刷済みジョブのうち、2003年12月31日以前に印刷されたジョブを削除します

```
JDelJobs.exe * 2003/12/31
```

プリンタ "Printer01" 上のすべての印刷済みジョブを削除します

```
JDelJobs.exe Printer01 *
```

プリンタ "Printer01" 上の印刷済みジョブのうち、2003年12月31日以前に印刷されたジョブを削除します

```
JDelJobs.exe Printer01 2003/12/31
```

JNpsActC.exe

形式

JNpsActC.exe コンピュータ名 | イベントログファイル名
出力ファイル名
[/Mode:ADD | UPDATE | NEW]
[/Header]
[/Range:* | 開始日時-終了日時]

機能

指定したコンピュータのイベントログまたは指定したイベントログファイルから、印刷関連の課金情報を収集し、編集しやすい.csvファイル形式で出力します。なお、このコマンドでは、印刷終了イベントから印刷が正常に終了したジョブの情報を収集します。

引数

コンピュータ名 | イベントログファイル名

課金情報を収集するコンピュータまたはイベントログファイルを指定します。イベントログファイル名を指定する場合は、フルパスで指定します。

出力ファイル名

課金情報を出力するファイル名をフルパスで指定します。ファイルの拡張子は.csvです。

[/Mode:ADD | UPDATE | NEW]

「出力ファイル名」で指定したファイルが存在する場合の処理を指定します。

- ADD
指定したファイルがない場合：新しいファイルを作成します
指定したファイルが存在する場合：ファイルの最後に情報を追加します
- UPDATE
指定したファイルがない場合：新しいファイルを作成します
指定したファイルが存在する場合：ファイルを上書きします
- NEW
指定したファイルがない場合：新しいファイルを作成します
指定したファイルが存在する場合：コマンドエラーになります

[/Header]

見出し行を出力するかを指定します。見出し行には、「受付日時」や「印刷ページ数」など、収集する情報の項目名が出力されます。この引数を省略した場合は、見出し行は出力されません。

[/Range:* | 開始日時 - 終了日時]

情報を収集する期間を指定します。この引数を省略すると、/Range:* が仮定されます。

- *
- すべての課金情報を収集します。
- 開始日時 - 終了日時
開始日時と終了日時を指定すると、その間に出力されたイベント（印刷終了日時がその範囲内であるイベント）の情報を取得します。開始日時と終了日時は "-"（ハイフン）でつなげてください。
 - 開始日時の指定形式
TOP | YYYY/MM/DD.HH:MM:SS
TOP: イベントの先頭から情報を取得します。
YYYY/MM/DD.HH:MM:SS: 指定した日時以降に出力されたイベントから情報を取得します。
 - 終了日時の指定形式
BOTTOM | YYYY/MM/DD.HH:MM:SS
BOTTOM: イベントの最後まで情報を取得します。
YYYY/MM/DD.HH:MM:SS: 指定した日時までに出力されたイベントから情報を取得します。

注意事項

- このコマンドを実行するには、Administrators グループのメンバーとしてログオンしていることが必要です。
- 収集できない情報がある場合、その項目には何も表示されません。
- 印刷ページ数は、論理的なページ数を出力するため、N アップ、両面印刷、または部数指定などのオプションを指定した場合は、実際の印刷枚数と異なることがあります。
- 情報を収集する期間を指定した場合、JP1/NPS 06-00 より前のバージョンで出力したイベントは .csv ファイルに出力されません。
JP1/NPS 06-00 より前の課金情報を取得する場合には、情報を収集する期間で、[/Range: *] または [/Range: TOP-BOTTOM] を指定してください。
- JP1/NPS 06-00 より前のバージョンで出力したイベントの場合、[タイムゾーン]、[印刷要求コンピュータ名] および [用紙名] は出力されません。また、JP1/NPS 05-00 より前のバージョンで出力したイベントの場合、上記に加えて [印刷ジョブ ID] も出力されません。
- JP1/NPS 06-00 より前のバージョンでは、日付を出力していません。そのため、[受付日時]、[印刷開始日時]、[印刷終了日時] の日付部分には、「YYYY/MM/DD」の文字列が出力されます。

戻り値

0	正常に終了した
1	ヘルプを実行した
2	コマンドの実行権限がない
3	引数が指定されていないなど、引数が誤っている

4	イベントログ入力元の指定が誤っている
5	出力ファイル名の指定が誤っている
6	書き込みモードの指定が誤っている
7	見出し行の指定が誤っている
8	イベントログ情報を取得する範囲の日時指定が誤っている
9	イベントログ入力元に指定されたコンピュータのイベントログファイルを開けない
10	イベントログ入力元に指定されたイベントログファイルを開けない
11	出力ファイルを開けない
12	指定した出力ファイルが存在する（書き込みモードに "NEW" を指定している場合）
13	出力する課金情報がない
14	ディスク容量が不足した
15	コマンド処理中にエラーが発生した

使用例

- イベントログファイル（C:¥Eventlog.evt）にある情報をすべて C:¥AccountInfo.csv に出力します

```
JNpsActC.exe C:¥Eventlog.evt C:¥AccountInfo.csv
```

- コンピュータ（JP1-SERVER）上のイベントログのうち、2003/12/1 の 0 時 0 分 0 秒から 2003/12/31 の 23 時 59 分 59 秒までの情報を、見出し行を付けて C:¥AccountInfo.csv に出力する。指定した出力先ファイルが存在する場合、コマンドエラーにする。

```
JNpsActC.exe JP1-SERVER C:¥AccountInfo.csv /Mode:new /Header /
Range:2003/12/01.00:00:00-2003/12/31.23:59:59
```

JNpsActG.exe

形式

JNpsActG.exe

機能

[課金情報の出力] ダイアログボックスを表示します。[課金情報の出力] ダイアログボックスでは、イベントログまたはイベントログファイルから、印刷関連の課金情報を収集し、編集しやすい.csv ファイル形式で出力します。

注意事項および「コマンド終了イベント」に出力する戻り値については、「JNpsActC.exe」を参照してください。

10 イベント

JP1/NPS が通知する JP1 イベントおよび Windows イベントについて説明します。

10.1 JP1 イベント

10.2 Windows イベント

10.1 JP1 イベント

JP1 イベントとは、JP1/NPS が JP1/Base に送るイベントです。これらのイベントは、JP1/Base を経由して、JP1/IM - Console のイベントコンソールに表示されます。各イベントは、共通情報と固有情報で構成されます。共通情報はプログラムごとに異なります。

JP1/NPS のイベントの共通情報を次に示します。なお、内容が複数ある場合は、その中の一つが表示されます。各イベントの詳細はオンラインヘルプを参照してください。

共通情報

項目	属性名	内容
重大度	SEVERITY	Information, Warning, Error, Notice
ユーザ名	USER_NAME	印刷ジョブの所有者, 操作したユーザ, サービスアカウント, ログオンユーザ, 実行したユーザ
プロダクト名	PRODUCT_NAME	/HITACHI/JP1/NPS, /HITACHI/JP1/NPS/DISTRIBUTOR
オブジェクトタイプ	OBJECT_TYPE	PRINTJOB, PRINTQUEUE, PRINTER, SERVICE, PRODUCT, COMMAND
オブジェクト名	OBJECT_NAME	印刷ジョブ名, プリンタ名, サーバ名, ポート名, サービス名, コマンド名, 仕分け元ジョブ名, JP1/NPS/Distributor
登録名タイプ	ROOT_OBJECT_TYPE	PRINTJOB, PRINTQUEUE, PRINTER, SERVICE, PRODUCT, COMMAND
登録名	ROOT_OBJECT_NAME	印刷ジョブ名, プリンタ名, サーバ名, ポート名, サービス名, コマンド名, 仕分け元ジョブ名, JP1/NPS/Distributor
事象種別	OCCURRENCE	START, RESTART, END, STOP, RETRY, NOTICE, REPLY, MOVE, COPY, CANCEL, DELETE, MODIFY, CONNECT, DISCONNECT, PAUSE, RELEASE, EXCEPTION
開始時刻	START_TIME	開始時刻を表示します。ただし、設定されないイベントもあります。
終了時刻	END_TIME	終了時刻を表示します。ただし、設定されないイベントもあります。
終了コード	RESULT_CODE	終了コードを表示します。ただし、設定されないイベントもあります。

10.1.1 JP1/NPS のイベント

JP1/NPS が出力するイベントを次に示します。

- 印刷ジョブ関連イベント
- プリンタ関連イベント
- デフォルト情報関連イベント
- リカバリ関連イベント

- コマンド関連イベント
- LAN ポート関連イベント
- サービス関連イベント

印刷ジョブ関連イベント

イベント ID	イベント名称	イベント発行契機
00003100	印刷開始イベント	印刷を開始したとき
00003101	印刷終了イベント	印刷を終了したとき（異常終了を含む）
00003121	障害通知イベント	障害通知されたとき
00003122	リカバリ指示応答イベント	[リカバリ指示] ダイアログボックスに 応答したとき
00003102	用紙確認イベント	用紙確認を実行したとき
00003124	用紙確認指示応答イベント	[用紙確認指示] ダイアログボックス に 応答したとき
00003131	テスト印刷開始イベント	テスト印刷を開始したとき
00003108	テスト印刷終了イベント	テスト印刷を終了したとき
00003133	再印刷開始イベント	同一のプリンタで再印刷を開始した とき
00003135	自動リカバリ開始イベント	自動リカバリを開始したとき
00003141	印刷ジョブ削除イベント	印刷ジョブを削除したとき
00003142	印刷ジョブの別プリンタ移動イベント	印刷ジョブを別プリンタに移動した とき
00003143	印刷ジョブのコピーイベント	印刷ジョブをコピーしたとき
00003144	印刷ジョブキャンセルイベント	印刷ジョブのキャンセルを開始した とき

プリンタ関連イベント

イベント ID	イベント名称	イベント発行契機
00003153	プリンタ情報変更イベント	プリンタ情報を変更したとき
00003154	プリンタ接続イベント	プリンタを接続したとき
00003155	プリンタ切り離しイベント	プリンタを切り離したとき
00003156	プリンター一時停止イベント	プリンタを一時停止したとき
00003157	プリンタ再開イベント	プリンタを再開したとき
00003103	プリンタ障害イベント	プリンタ障害が発生したとき

10. イベント

イベント ID	イベント名称	イベント発行契機
000031F1	LAN 接続プリンタ回線障害イベント	LAN 接続プリンタの回線に障害が発生したとき
000031F2	LAN 接続プリンタ印刷再試行イベント	LAN 接続プリンタへの印刷要求が受け付けられなかったとき (「#NPS_JETx:」ポート使用時だけ)

デフォルト情報関連イベント

イベント ID	イベント名称	イベント発行契機
00003171	デフォルト情報変更イベント	デフォルト情報を変更したとき

リカバリ関連イベント

イベント ID	イベント名称	イベント発行契機
00003181	自動リカバリ 他プリンタでの再印刷成功イベント	再印刷が成功したとき
00003182	自動リカバリ 他プリンタでの再印刷失敗イベント	再印刷が失敗したとき
00003183	自動リカバリ 他プリンタでの再印刷結果通知イベント	再印刷結果を通知したとき

LAN ポート情報関連イベント

イベント ID	イベント名称	イベント発行契機
00003191	ポート情報変更イベント	ポート情報を変更したとき

コマンド関連イベント

イベント ID	イベント名称	イベント発行契機
000031A0	コマンド終了イベント	コマンドを終了したとき

サービス関連イベント

イベント ID	イベント名称	イベント発行契機
000031C0	JP1/NPS メインサービス開始イベント	JP1/NPS メインサービスを開始したとき
000031D0	JP1/NPS メインサービス終了イベント	JP1/NPS メインサービスを終了したとき
000031C1	JP1/NPS サブサービス開始イベント (印刷ジョブ転送サービス)	印刷ジョブ転送サービスを開始したとき

イベント ID	イベント名称	イベント発行契機
000031D1	JP1/NPS サブサービス終了イベント (印刷ジョブ転送サービス)	印刷ジョブ転送サービスを終了したとき
000031C4	JP1/NPS サブサービス開始イベント (構成管理エージェント)	構成管理エージェントを開始したとき
000031D4	JP1/NPS サブサービス終了イベント (構成管理エージェント)	構成管理エージェントを終了したとき
000031C3	JP1/NPS サブサービス開始イベント (構成管理マネージャ)	構成管理マネージャを開始したとき
000031D3	JP1/NPS サブサービス終了イベント (構成管理マネージャ)	構成管理マネージャを終了したとき
000031C5	JP1/NPS サブサービス開始イベント (プリントサーバ初期化要求)	プリントサーバの初期化要求を開始したとき
000031D5	JP1/NPS サブサービス終了イベント (プリントサーバ初期化要求)	プリントサーバの初期化要求を終了したとき
000031C6	JP1/NPS サブサービス開始イベント (自動ジョブ削除サービス)	自動ジョブ削除サービスを開始したとき
000031D6	JP1/NPS サブサービス終了イベント (自動ジョブ削除サービス)	自動ジョブ削除サービスを終了したとき
000031C2	JP1/NPS サブサービス開始イベント (Editor 用印刷ジョブ転送サービス)	Editor 用印刷ジョブ転送サービスを開始したとき
000031D2	JP1/NPS サブサービス終了イベント (Editor 用印刷ジョブ転送サービス)	Editor 用印刷ジョブ転送サービスを終了したとき
000031C7	JP1/NPS サブサービス開始イベント (印刷障害サービス(サーバ))	印刷障害サービス(サーバ)を開始したとき
000031D7	JP1/NPS サブサービス終了イベント (印刷障害サービス(サーバ))	印刷障害サービス(サーバ)を終了したとき
000031CF	JP1/NPS/Client プログラム開始イベント	JP1/NPS/Client を開始したとき
000031DF	JP1/NPS/Client プログラム終了イベント	JP1/NPS/Client を終了したとき

10.1.2 JP1/NPS/Client のイベント

JP1/NPS/Client が出力するイベントを次に示します。

- 印刷ジョブ関連イベント
- プリント関連イベント
- リカバリ関連イベント
- サービス関連イベント

印刷ジョブ関連イベント

10. イベント

イベント ID	イベント名称	イベント発行契機
00003141	印刷ジョブ削除イベント	印刷ジョブを削除したとき

プリンタ関連イベント

イベント ID	イベント名称	イベント発行契機
00003154	プリンタ接続イベント	プリンタを接続したとき
00003155	プリンタ切り離しイベント	プリンタを切り離したとき
00003156	プリンター時停止イベント	プリンタを一時停止したとき
00003157	プリンタ再開イベント	プリンタを再開したとき

リカバリ関連イベント

イベント ID	イベント名称	イベント発行契機
00003181	自動リカバリ 他プリンタでの再印刷成功イベント	再印刷が成功したとき
00003182	自動リカバリ 他プリンタでの再印刷失敗イベント	再印刷が失敗したとき

サービス関連イベント

イベント ID	イベント名称	イベント発行契機
000031CF	JP1/NPS/Client プログラム開始イベント	JP1/NPS/Client を開始したとき
000031DF	JP1/NPS/Client プログラム終了イベント	JP1/NPS/Client を終了したとき

10.1.3 仕分け配布のイベント

JP1/NPS が出力する仕分け配布のイベントを次に示します。

- 仕分け配布関連イベント
- サービス関連イベント

仕分け配布関連イベント

イベント ID	イベント名称	イベント発行契機
00003C01	仕分け開始イベント	仕分けを開始したとき
00003C02	仕分け終了イベント	仕分けを終了したとき
00003C03	仕分け警告終了イベント	仕分けを終了したとき

イベントID	イベント名称	イベント発行契機
00003C04	仕分け異常終了イベント	仕分けを終了したとき
00003C05	仕分けキャンセルイベント	仕分けをキャンセルしたとき
00003C06	配布正常終了イベント	配布を終了したとき
00003C07	配布異常終了イベント	配布を終了したとき

サービス関連イベント

イベントID	イベント名称	イベント発行契機
00003C11	Distributor サービス開始イベント	JP1/NPS/Distributor サービスを開始したとき
00003C13	Distributor サービス終了イベント	JP1/NPS/Distributor サービスを終了したとき
00003C15	Distributor サービスエラーイベント	JP1/NPS/Distributor サービスの動作中

10.2 Windows イベント

Windows イベントとは、JP1/NPS が Windows のイベントログに出力するイベントです。イベントは、Windows の [イベントビューア] でアプリケーションログの表示から参照できます。

各イベントの詳細はオンラインヘルプを参照してください。

10.2.1 JP1/NPS のイベント

JP1/NPS が出力するイベントを次に示します。イベントのソース名は、JP1/NPS です。

- 印刷ジョブ情報
- プリンタ情報
- デフォルト情報
- リカバリ情報
- コマンド情報
- LAN ポート情報

印刷ジョブ情報 [分類名 :PrintJobInfo]

イベント ID	イベント名称	イベント発行契機
1	印刷開始イベント	印刷を開始したとき
2	印刷終了イベント	印刷を終了したとき (異常終了を含む)
21	障害通知イベント	障害通知されたとき
22	リカバリ指示応答イベント	[リカバリ指示] ダイアログボックスに 応答したとき
23	用紙確認イベント	用紙確認を実行したとき
24	用紙確認指示応答イベント	[用紙確認指示] ダイアログボックス に 応答したとき
31	テスト印刷開始イベント	テスト印刷を開始したとき
32	テスト印刷終了イベント	テスト印刷を終了したとき
33	再印刷開始イベント	同一のプリンタで再印刷を開始した とき
35	自動リカバリ開始イベント	自動リカバリを開始したとき
41	印刷ジョブ削除イベント	印刷ジョブを削除したとき
42	印刷ジョブの別プリンタ移動イベント	印刷ジョブを別プリンタに移動した とき
43	印刷ジョブのコピーイベント	印刷ジョブをコピーしたとき
44	印刷ジョブキャンセルイベント	印刷ジョブのキャンセルを開始した とき

プリンタ情報 [分類名 :PrinterInfo]

イベント ID	イベント名称	イベント発行契機
53	プリンタ情報変更イベント	プリンタ情報を変更したとき
54	プリンタ接続イベント	プリンタを接続したとき
55	プリンタ切り離しイベント	プリンタを切り離したとき
56	プリンター一時停止イベント	プリンタを一時停止したとき
57	プリンタ再開イベント	プリンタを再開したとき
420	プリンタ障害イベント	プリンタ障害が発生したとき
421	LAN 接続プリンタ回線障害イベント	LAN 接続プリンタの回線に障害が発生したとき
423	LAN 接続プリンタ印刷再試行イベント	LAN 接続プリンタへの印刷要求が受け付けられなかったとき

デフォルト情報 [分類名 :DefaultInfo]

イベント ID	イベント名称	イベント発行契機
71	デフォルト情報変更イベント	デフォルト情報を変更したとき

リカバリ情報 [分類名 :RecoveryInfo]

イベント ID	イベント名称	イベント発行契機
81	自動リカバリ 他プリンタでの再印刷成功イベント	再印刷が成功したとき
82	自動リカバリ 他プリンタでの再印刷失敗イベント	再印刷が失敗したとき
83	自動リカバリ 他プリンタでの再印刷結果通知イベント	再印刷結果を通知したとき

LAN ポート情報 [分類名 :LANPortInfo]

イベント ID	イベント名称	イベント発行契機
91	ポート情報変更イベント	ポート情報を変更したとき

コマンド情報 [分類名 :CommandInfo]

イベント ID	イベント名称	イベント発行契機
100	コマンド終了イベント	コマンドが終了したとき

10.2.2 JP1/NPS/Client のイベント

JP1/NPS/Client が出力するイベントを次に示します。イベントのソース名は JP1/NPS です。

- 印刷ジョブ情報
- プリンタ情報
- リカバリ情報

印刷ジョブ情報 [分類名 :PrintJobInfo]

イベント ID	イベント名称	イベント発行契機
41	印刷ジョブ削除イベント	印刷ジョブを削除したとき

プリンタ情報 [分類名 :PrinterInfo]

イベント ID	イベント名称	イベント発行契機
54	プリンタ接続イベント	プリンタを接続したとき
55	プリンタ切り離しイベント	プリンタを切り離したとき
56	プリンター一時停止イベント	プリンタを一時停止したとき
57	プリンタ再開イベント	プリンタを再開したとき

リカバリ情報 [分類名 :RecoveryInfo]

イベント ID	イベント名称	イベント発行契機
81	自動リカバリ 他プリンタでの再印刷成功イベント	再印刷が成功したとき
82	自動リカバリ 他プリンタでの再印刷失敗イベント	再印刷が失敗したとき

10.2.3 仕分け配布のイベント

JP1/NPS の仕分け配布機能出力するイベントを次に示します。イベントのソース名は JP1NPSDIST です。

- 仕分け配布情報
- サービス状態情報

仕分け配布情報 [分類名 :DistInfo]

イベント ID	イベント名称	イベント発行契機
1001	仕分け開始イベント	仕分けを開始した時
1002	仕分け正常終了イベント	仕分けを終了した時
1003	仕分け警告終了イベント	仕分けを終了した時
1004	仕分け異常終了イベント	仕分けを終了した時
1005	仕分けキャンセルイベント	仕分けをキャンセルした時
1006	配布正常終了イベント	配布を完了した時
1007	配布異常終了イベント	配布を完了した時

サービス状態情報 [分類名 :StatusInfo]

イベント ID	イベント名称	イベント発行契機
2001	JP1/NPS/Distributor のサービス開始イベント	JP1/NPS/Distributor のサービスプログラムを開始した時
2003	JP1/NPS/Distributor のサービス終了イベント	JP1/NPS/Distributor のサービスプログラムを終了した時
2005	JP1/NPS/Distributor のサービスエラーイベント	JP1/NPS/Distributor のサービスプログラムの動作中

11 トラブルシューティング

JP1/NPS の運用中に発生したトラブルの原因と対処方法について説明します。

11.1 JP1/NPS のトラブルシューティング

11.2 仕分け配布のトラブルシューティング

11.3 保守情報を採取する

11.1 JP1/NPS のトラブルシューティング

この節では、JP1/NPS および JP1/NPS/Client を使用しているときに発生したトラブルの原因を示します。該当する原因の対処方法を参照してください。

11.1.1 [JP1/NPS 構成定義] ウィンドウに関する問題

(1) トラブルの現象

[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウに関するトラブルの現象を次の表に示します。考えられる原因と対処方法は、「(2) トラブルの対処方法」で現象ごとに説明しています。

表 11-1 トラブルの現象 ([JP1/NPS 構成定義] ウィンドウ)

項番	現象
1	[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウを起動できません。
2	構成定義のプリンタ情報およびデフォルト情報の表示・変更ができません。
3	プリンタの一覧表示が状態不明です。
4	LAN ポート一覧が表示できません。
5	プリンタ情報およびデフォルト情報のプロパティの一部が選択できません。
6	プリンター一覧にグレーのプリンタアイコンが表示されます。

(2) トラブルの対処方法

表 11-1 に示した現象ごとに、考えられる原因と対処方法を説明します。該当する個所を参照してください。

項番 1 [JP1/NPS 構成定義] ウィンドウを起動できません。

(1-1) ディスク容量が不足しています。

エクスプローラなどを利用して不要なファイルを削除し、ディスクの空き容量を増やしてください。または、ハードディスクを増設してください。

(1-2) メモリが不足しています。

同時に起動しているほかのアプリケーションを終了させてください。または、メモリを増設してください。

(1-3) 起動時に必要なファイルを削除しています。

JP1/NPS をインストールし直してください。

項番 2 構成定義のプリンタ情報およびデフォルト情報の表示・変更ができません。

(2-1) アクセス権がありません。

プリンタ情報を表示・変更するには、「フルコントロール」アクセス権が必要です。

Administrators , Server Operators , Print Operators , Power Users の各グループのメンバーには、既定の設定で「フルコントロール」アクセス権が与えられています。

デフォルト情報を表示・変更するには、Administrators の権限が必要です。

(2-2) 構成管理情報が正しく設定されていません。

環境設定の [問い合わせする構成管理サーバ名] に誤りがないか確認してください。

(2-3) 構成管理サーバおよび JP1/NPS サービスが起動していません。

構成管理サーバが未起動または、JP1/NPS サービスが停止している可能性がありますので、確認してください。

JP1/NPS サービスが停止している場合は、Windows の [スタート] メニューから、[設定] - [コントロールパネル] を選択し、[サービス] で JP1/NPS を起動してください。

(2-4) 他コンピュータのプリンタ情報およびデフォルト情報を表示・変更する場合、他コンピュータ上に JP1/NPS 02-00 以降がインストールされていません。

プリンタ情報およびデフォルト情報を表示・変更したいコンピュータに、JP1/NPS 02-00 以降をインストールしてください。

(2-5) 他コンピュータのプリンタ情報およびデフォルト情報を表示・変更する場合、他コンピュータ上で、JP1/NPS サービスが起動していません。

Windows の [スタート] メニューから、[設定] - [コントロールパネル] を選択し、[サービス] で JP1/NPS を起動してください。

項番 3 プリンタの一覧表示が状態不明です。

(3-1) JP1/NPS がインストールされていないコンピュータを選択しています。

[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウで、表示できる他コンピュータは、JP1/NPS がインストールされているコンピュータに限られます。

(3-2) 他コンピュータが起動していません。

選択した他コンピュータを起動してください。

項番 4 LAN ポート一覧が表示されません。

(4-1) 「#NPS_JETx:」, 「#NPS_XDPx:」, または 「#NPS_LPDx:」 ポートが定義されていません。

「#NPS_JETx:」, 「#NPS_XDPx:」, または 「#NPS_LPDx:」 ポートを定義してください。「#NPS_JETx:」, 「#NPS_XDPx:」, および 「#NPS_LPDx:」 ポート以外の情報は表示されません。

(4-2) JP1/NPS 06-00 より前のバージョンの JP1/NPS をインストールしているコンピュータに、JP1/NPS/LAN Printer Driver がインストールされていません。

JP1/NPS/LAN Printer Driver をインストールしてください。JP1/NPS 06-00 より

11. トラブルシューティング

前のバージョンの JP1/NPS がインストールされている場合、JP1/NPS/LAN Printer Driver がインストールされていないコンピュータでは、[表示] - [LAN ポート一覧] は選択できません。

項番 5 プリンタ情報およびデフォルト情報のプロパティの一部が選択できません。

(5-1) JP1/NPS 05-20 より前のバージョンの JP1/NPS をインストールしているコンピュータのプリンタ情報またはデフォルト情報のプロパティを表示しています。

JP1/NPS 05-20 より前のバージョンの JP1/NPS をインストールしているコンピュータでは、選択できない項目の機能は使用できません。

項番 6 プリンター一覧にグレーのプリンタアイコンが表示されます。

(6-1) プリンタ名が正しく設定されていません。

プリンタ名の設定規則に従い、正しいプリンタ名を設定してください。プリンタ名の設定規則を次に示します。

- 半角 32 文字以内で指定してください。
- Windows で予約されている以下の文字を使用しないでください。
¥ / : , ; * ? “ < > |
- プリンタ名の最後にスペースを使用しないでください。
- 次のようなプリンタ名は使用しないでください。
「LPT1」や「COM1」など、ポート名と同じプリンタ名

11.1.2 [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウに関する問題

(1) トラブルの現象

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウに関するトラブルの現象を次の表に示します。考えられる原因と対処方法は、「(2) トラブルの対処方法」で現象ごとに説明しています。

表 11-2 トラブルの現象 ([JP1/NPS マネージャ] ウィンドウ)

項番	現象
1	[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウを起動できません。
2	仕分けメニューが有効になりません。
3	印刷ジョブを移動できません。
4	印刷ジョブをコピーできません。
5	印刷ジョブを再印刷できません。
6	印刷ジョブをテスト印刷できません。
7	印刷中ジョブをキャンセルできません。
8	印刷中ジョブをキャンセルしても印刷が終了しません。
9	リモート印刷用のプリンタウィンドウが表示されません。
10	印刷済みの印刷ジョブが表示されません。

項番	現象
11	印刷ジョブの印刷順序を変更できません。
12	[サーバ単位での操作]で,[全プリンタの一時停止]または[全プリンタの再開]ができません。
13	[サーバ単位での操作]で,[全印刷ジョブの削除],[全印刷ジョブの保留]または[全印刷ジョブの保留解除]ができません。
14	印刷ジョブをプレビューできません。

(2) トラブルの対処方法

表 11-2 に示した現象ごとに、考えられる原因と対処方法を説明します。該当する個所を参照してください。

項番 1 [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウを起動できません。

(1-1) ディスク容量が不足しています。

エクスプローラなどを利用して不要なファイルを削除し、ディスクの空き容量を増やしてください。または、ハードディスクを増設してください。

(1-2) メモリが不足しています。

同時に起動しているほかのアプリケーションを終了させてください。または、メモリを増設してください。

(1-3) 起動時に必要なファイルを削除しています。

JP1/NPS または JP1/NPS/Client をインストールし直してください。

項番 2 仕分けメニューが有効になりません。

(2-1)[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウ起動後に仕分け定義プリンタを設定していません。

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウを停止後、再起動してください。

項番 3 印刷ジョブを移動できません。

(3-1) 移動元または移動先プリンタのコンピュータにインストールされている JP1/NPS が古いバージョンです。

- 印刷ジョブが EMF スプーリングの場合

JP1/NPS 02-00 以降をインストールしてください。または、JP1/NPS 02-00 以降をインストールしているコンピュータのプリンタを選択してください。

- 印刷ジョブが RAW スプーリングの場合

JP1/NPS 05-20 以降をインストールしてください。または、JP1/NPS 05-20 以降をインストールしているコンピュータのプリンタを選択してください。

(3-2) 移動元または移動先プリンタのコンピュータで JP1/NPS サービスが起動していません。

11. トラブルシューティング

Windows の [スタート] メニューから , [設定] - [コントロールパネル] を選択し , [サービス] で JP1/NPS を起動してください。

(3-3) 移動元または移動先のプリントサーバが , 移動先または移動元のプリンタと接続されていません。

プリンタプロパティで [共有する] をチェックしてください。さらに , プリントサーバからプリンタを接続してください。

項番 4 印刷ジョブをコピーできません。

(4-1) コピー元またはコピー先プリンタのコンピュータにインストールされている JP1/NPS が古いバージョンです。

- 印刷ジョブが EMF スプーリングの場合

JP1/NPS 05-00 以降をインストールしてください。または , JP1/NPS 05-00 以降をインストールしているコンピュータのプリンタを選択してください。

- 印刷ジョブが RAW スプーリングの場合

JP1/NPS 05-20 以降をインストールしてください。または , JP1/NPS 05-20 以降をインストールしているコンピュータのプリンタを選択してください。

(4-2) コピー元またはコピー先プリンタのコンピュータで JP1/NPS サービスが起動していません。

「11.1.2 (3-2) 移動元または移動先プリンタのコンピュータで JP1/NPS サービスが起動していません。」を参照してください。

(4-3) コピー元またはコピー先プリントサーバが , コピー先またはコピー元のプリンタと接続されていません。

「11.1.2 (3-3) 移動元または移動先のプリントサーバが , 移動先または移動元のプリンタと接続されていません。」を参照してください。

項番 5 印刷ジョブを再印刷できません。

(5-1) 再印刷を実行するプリンタのコンピュータにインストールされている JP1/NPS が古いバージョンです。

「11.1.2 (3-1) 移動元または移動先プリンタのコンピュータにインストールされている JP1/NPS が古いバージョンです。」を参照してください。

項番 6 印刷ジョブをテスト印刷できません。

(6-1) テスト印刷を実行するプリンタのコンピュータにインストールされている JP1/NPS が古いバージョンです。

「11.1.2 (4-1) コピー元またはコピー先プリンタのコンピュータにインストールされている JP1/NPS が古いバージョンです。」を参照してください。

(6-2) テスト印刷を実行するプリンタのコンピュータで JP1/NPS サービスが起動していません。

「11.1.2 (3-2) 移動元または移動先プリンタのコンピュータで JP1/NPS サービスが起動していません。」を参照してください。

項番 7 印刷中ジョブをキャンセルできません。

(7-1) キャンセルを実行するコンピュータにインストールされている JP1/NPS が古いバージョンです。

キャンセルを実行するコンピュータに、JP1/NPS 06-00 以降をインストールしてください。

(7-2) キャンセルを実行するプリンタのコンピュータで JP1/NPS サービスが起動していません。

「11.1.2 (3-2) 移動元または移動先プリンタのコンピュータで JP1/NPS サービスが起動していません。」を参照してください。

(7-3) キャンセルを実行するプリンタが JP1/NPS 用のプリンタではありません。

JP1/NPS 用プリンタ以外のプリンタでは、キャンセルを実行できません。

項番 8 印刷中ジョブをキャンセルしても印刷が終了しません。

(8-1) プリンタ装置のバッファをリセットしてください。

印刷中ジョブをキャンセルしても、プリンタ装置によっては出力を続ける場合があります。このような場合は、プリンタ装置のバッファをリセットすると、印刷が終了します。なお、外づけの LAN 装置を使用している場合は、LAN 装置の電源をオフにしてからプリンタ装置のバッファを空にしてください。

項番 9 リモート印刷用のプリンタウィンドウが表示されません。

(9-1) リモート印刷用のプリンタが正しく設定されていません。

Windows のプリンタプロパティで、リモート印刷用のプリンタの設定を見直してください。

- 「NUL:」ポートを指定してください。

このとき「NUL」にしないでください。

以上の設定を見直してもエラーになる場合は、「11.1.3 (1-5) リモート印刷用のプリンタが正しく設定されていません。」を参照してください。

項番 10 印刷済みの印刷ジョブが表示されません。

(10-1) 印刷ジョブのフィルタリング機能が有効になっています。

[表示] - [印刷ジョブ] を選択して [印刷済みを表示しない] のチェックを外してください。

項番 11 印刷ジョブの順序を変更できません。

(11-1) 印刷ジョブのフィルタリング機能が有効になっています。

[表示] - [印刷ジョブ] を選択して [すべての印刷ジョブ] をチェックしてくださ

11. トラブルシューティング

い。さらに、[印刷済みを表示しない]のチェックを外してください。

項番 12 [サーバ単位での操作]で、[全プリンタの一時停止]または[全プリンタの再開]ができません。

(12-1) プリントサーバが停止しています。

サーバウィンドウを最新情報に更新して、サーバが停止していないか確認してください。サーバが停止している場合は、サーバを起動してください。

(12-2) プリンタに対するアクセス権がありません。

- [サーバ単位での操作]で、全プリンタを一時停止または再開するには、「フルコントロール」アクセス権が必要です。プリンタに対するアクセス権は、Windows のプリンタのプロパティで設定してください。
- [サーバ単位での操作]で、全プリンタを一時停止または再開するには、プリンタが共有されていることが必要です。プリンタを共有する場合は、Windows のプリンタのプロパティで設定してください。

項番 13 [サーバ単位での操作]で、[全印刷ジョブの削除]、[全印刷ジョブの保留]または[全印刷ジョブの保留解除]ができません。

(13-1) プリントサーバが停止しています。

「11.1.2 (12-1) プリントサーバが停止しています。」を参照してください。

(13-2) プリンタに対するアクセス権がありません。

[サーバ単位での操作]で、全印刷ジョブの操作をするには、プリンタが共有されていることが必要です。プリンタを共有する場合は、Windows のプリンタのプロパティで設定してください。

(13-3) 印刷ジョブに対するアクセス権がありません。

[サーバ単位での操作]で、全印刷ジョブの操作をするには、操作するユーザが印刷ジョブの所有者であること、またはプリンタに対する「フルコントロール」アクセス権を持っていることが必要です。プリンタに対するアクセス権は、Windows のプリンタのプロパティで設定してください。

項番 14 印刷ジョブをプレビューできません。

(14-1) プリントサーバのコンピュータにインストールされている JP1/NPS が古いバージョンです。

プリントサーバのコンピュータに、JP1/NPS 06-71 以降をインストールしてください。

(14-2) プリントサーバのコンピュータで JP1/NPS サービスが起動していません。

「11.1.2 (3-2) 移動元または移動先プリンタのコンピュータで JP1/NPS サービスが起動していません。」を参照してください。

11.1.3 印刷に関する問題

(1) トラブルの現象

印刷に関するトラブルの現象を次の表に示します。考えられる原因と対処方法は、「(2) トラブルの対処方法」で現象ごとに説明しています。

表 11-3 トラブルの現象 (印刷)

項番	現象
1	印刷できません。
2	印刷できません。プリンタ障害になります。
3	印刷できません。回線障害になります。
4	印刷できません。「プリンタからの応答がありませんでした」が報告されます。
5	印刷できません。このとき、印刷ジョブの状態は再試行中です。
6	印刷が終了しません。 このとき、印刷ジョブの状態は印刷済みです。
7	印刷が終了しません。 このとき、印刷ジョブの状態は印刷中です。
8	印刷が終了しません。 このとき、印刷ジョブの状態は障害発生です。
9	印刷はできますが、回線障害になります。
10	印刷はできますが、プリンタ障害になります。
11	印刷はできますが、正しいフォントで印刷されません。
12	印刷はできますが、「プリンタからの応答がありませんでした」が報告されます。
13	「プリンタからの応答がありませんでした」のプリンタ障害に対して、[印刷続行]を選択すると、再度「プリンタからの応答がありませんでした」が報告されます。
14	「プリンタからの応答がありませんでした」のプリンタ障害に対して、リカバリ印刷で[印刷続行]を選択すると、印刷中のまま印刷できません。

(2) トラブルの対処方法

表 11-3 に示した現象ごとに、考えられる原因と対処方法を説明します。該当する個所を参照してください。

項番 1 印刷できません。

(1-1) Print Spooler サービスが停止しています。

Windows の [スタート] メニューから、[設定] - [コントロールパネル] を選択し、[サービス] で Print Spooler を起動してください。

(1-2) ディスク容量が不足しています。

スプールフォルダまたは印刷ジョブ管理フォルダのディスクが不足しています。エクスプローラなどを利用して不要なファイルを削除し、ディスクの空き容量を増や

11. トラブルシューティング

してください。または、ハードディスクを増設してください。

(1-3) メモリが不足しています。

同時に起動しているほかのアプリケーションを終了させてください。または、メモリを増設してください。

(1-4) ローカルプリンタが正しく設定されていません。

Windows のプリンタプロパティでローカルプリンタの設定を見直してください。

- プリンタ装置に対応したプリンタドライバを指定してください。
- プリンタ名は、最大で半角 32 文字です。
- プリンタ名に Windows で予約されている次の文字を指定しないでください。
¥ / : , ; * ? " < > |
- 印刷するポートが「#NPS_LPTx:」、「EXP_LPTx:」および「LPTx:」のプリンタを混在させないでください。また、「LPTx:」ポートを使用するプログラムと併用しないでください。
- プリンタ名の最後にスペースを使用しないでください。
- 「LPT1」や「COM1」などポート名と同じプリンタ名を使用しないでください。
- プリントプロセッサを「winprint」にしてください。
- 既定のデータの種別を「RAW」にしてください。
- [常に RAW データをスプールする] をチェックしないでください。

(1-5) リモート印刷用のプリンタが正しく設定されていません。

Windows のプリンタプロパティでリモート印刷用のプリンタの設定を見直してください。

- ネットワークプリンタと同じプリンタドライバを指定してください。
- 「NUL:」ポートを指定してください。
- 複数のポートを指定しないでください。
- プリンタ名を次の形式にしてください (@ は半角)
プリンタ名 @ サーバ名
- プリントプロセッサを「npsprint」にしてください。
- 既定のデータの種別を「NT EMF 1.008」にしてください。
- [常に RAW データをスプールする] をチェックしないでください。
- [全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る] をチェックしてください。
- Windows XP または Windows Server 2003 の場合、[印刷後ドキュメントを残す] をチェックしてください。
- ネットワークプリンタが切り離されている場合、接続してください。
- [プリンタプールを有効にする] をチェックしないでください。

(1-6) アプリケーションでの印刷時に使用したプリンタドライバと異なるプリンタドライバを使用しています。

アプリケーションでの印刷時に使用したプリンタドライバと同じプリンタドライバを使用してください。

(1-7) JP1/NPS サービスが起動していません。

Windows の [スタート] メニューから , [設定] - [コントロールパネル] を選択し , [サービス] で JP1/NPS を起動してください。

(1-8) 選択したプリンタが一時停止の状態になっています。

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウの [プリンタ] - [再開] を選択して再開してください。

(1-9) 選択したプリンタが削除保留中の状態になっています。

使用可能なほかのプリンタを選択してください。

(1-10) 選択したプリンタは現在 , 印刷できる時間帯ではありません。

Windows のプリンタのプロパティの [スケジュール] タブで [利用可能時間] を確認してください。

(1-11) 印刷ジョブは現在 , 印刷できる時間帯ではありません。

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウから [印刷ジョブ] - [詳細] を選択して , 印刷ジョブの開始時間と終了時間を確認してください。

(1-12) プリンタ装置が印刷できる状態になっていません。

「電源断」, 「準備未完了」, 「用紙切れ」, 「用紙ジャム」などが発生していませんか? プリンタを確認したあと , 障害を取り除いてください。

項番 2 印刷できません。プリンタ障害になります。

(2-1) ポート構成に誤りがあります。

[リカバリ印刷] ダイアログボックスで印刷ジョブをキャンセルしてください。そのあと , プリンタプロパティの [ポート] タブの [ポートの構成] をクリックして , [JP1/NPS XDP ポートの構成] ダイアログボックスで正しい論理プリンタ名を指定してください。また , 論理プリンタが DP300 で作成されていない場合は , DP300 で論理プリンタを作成してください。

そのあと , 再度印刷してください。

DP300 の操作の詳細は DP300 のマニュアルを参照してください。

(2-2) DP300 の論理プリンタが停止しています。

DP300 で論理プリンタを開始したあと , [リカバリ印刷] ダイアログボックスでリカバリ印刷してください。

DP300 の操作の詳細は DP300 のマニュアルを参照してください。

(2-3) DP300 のキューが停止しています。

DP300 でキューを開始したあと , [リカバリ印刷] ダイアログボックスでリカバリ印刷してください。

DP300 の操作の詳細は DP300 のマニュアルを参照してください。

(2-4) DP300 のプリントサービスが停止しています。

11. トラブルシューティング

DP300 でプリントサービスを開始したあと、[リカバリ印刷] ダイアログボックスでリカバリ印刷してください。

DP300 の操作の詳細は DP300 のマニュアルを参照してください。

(2-5) プリンタ障害が発生しています。

プリンタ障害を取り除いたあと、[リカバリ印刷] ダイアログボックスでリカバリ印刷してください。

項番 3 印刷できません。回線障害になります。

(3-1) LAN 接続プリンタの電源がオフになっています。

LAN 接続プリンタの電源をオンにしたあと、[リカバリ印刷] ダイアログボックスでリカバリ印刷してください。

(3-2) LAN 装置の電源がオフになっています。

LAN 装置の電源をオンにしたあと、[リカバリ印刷] ダイアログボックスでリカバリ印刷してください。

(3-3) ポート構成で設定した LAN 接続プリンタの IP アドレスに誤りがあります。

[リカバリ印刷] ダイアログボックスで印刷ジョブをキャンセルしたあと、プリンタプロパティの [ポート] タブの [ポートの構成] をクリックして、[JP1/NPS xxx ポートの構成] ダイアログボックスで正しい IP アドレスを指定してください。そのあと、再度印刷してください。

(3-4) LAN ケーブルが抜けている、または LAN ケーブルが破損しています。

LAN ケーブルを確認したあと、[リカバリ印刷] ダイアログボックスでリカバリ印刷してください。

(3-5) プリントサーバのホスト情報定義が DP300 で設定されていません。

DNS 管理されていないプリントサーバで通常モード運用の DP300 を使用する場合は、DP300 でプリントサーバのホスト情報定義を設定する必要があります。ホスト情報定義を設定したあと、[リカバリ印刷] ダイアログボックスでリカバリ印刷してください。

DP300 の操作の詳細は、DP300 のマニュアルを参照してください。

項番 4 印刷できません。「プリンタからの応答がありませんでした」が報告されます。

(4-1) 通信処理実行時のタイムアウトが妥当な値ではありません。

[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウの [#NPS_JETx:」、[#NPS_XDPx:」または「#NPS_LPDx:」ポートのプロパティ] で、[通信処理実行時のタイムアウト] を妥当な値に変更してください。

(4-2) プリンタ障害が発生している可能性があります。

プリンタに障害が発生している場合は障害を取り除いてください。

「#NPS_LPDx:」ポートで障害キーワードを設定している場合でも、障害キーワード

に登録されていない障害が発生すると、プリンタからの応答を得られなくなることがあります。

(4-3) 回線障害が発生している可能性があります。

プリンタの電源、ポート構成、LAN ケーブル等の状態を確認してください。

「#NPS_LPDx:」ポートで C-モードを設定している場合、回線障害が発生すると、「プリンタからの応答がありませんでした」を報告します。

項番 5 印刷できません。このとき、印刷ジョブの状態は再試行中です。

(5-1) 同じ IP アドレスの LAN 接続プリンタに対して複数プリントサーバから印刷要求しています。または、通信ポート確保失敗時の再試行までのインターバルおよび再試行回数が妥当な値になっていません。

LAN 接続プリンタは 1 台のプリントサーバで運用してください。[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウの [表示] - [LAN 接続ポート一覧] を選択して、各プリントサーバの IP アドレスを確認してください。

また、[環境設定] ダイアログボックスの [通信ポート確保失敗時の再試行までのインターバル] および [通信ポート確保失敗時の再試行回数] を妥当な値に変更してください。

(5-2) プリンタ装置のバッファに印刷データが残っています。

プリンタ装置のバッファをリセットし忘れた場合、印刷は受け付けられません。プリンタ装置のバッファをリセットしてください。なお、外づけの LAN 装置を使用している場合は、LAN 装置の電源をオフにしてからプリンタ装置のバッファを空にしてください。

項番 6 印刷が終了しません。このとき、印刷ジョブの状態は印刷済みです。

(6-1) プリンタの状態監視が非同期モードまたは非監視モードの印刷ジョブが印刷されました。

プリンタの状態監視が非同期モードまたは非監視モードの印刷ジョブの場合、プリンタに転送した時点で印刷終了とします。

印刷結果を重視したい場合は、[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウの [#NPS_XDPx: のプロパティ] または [#NPS_LPDx: のプロパティ] で [通信設定] タブを選択して、[プリンタの状態監視] を [同期モード] にしてください。

(6-2) セキュリティ印刷ジョブが印刷されました。

セキュリティ印刷ジョブの場合、DP300 のキューに登録し終えた時点で印刷終了とします。セキュリティ印刷ジョブを印刷するためには、DP300 でセキュリティ印刷ジョブを再開する必要があります。

DP300 の操作の詳細は DP300 のマニュアルを参照してください。

(6-3) DP300 上でオペレータによって印刷ジョブがキャンセル、一時停止、または割り込み操作されました。

DP300 上で印刷ジョブをキャンセル、一時停止、または割り込み操作した場合は、

11. トラブルシューティング

印刷終了とします。一時停止、または割り込み操作された印刷ジョブを印刷するためには、DP300 で印刷ジョブを再開する必要があります。

DP300 の操作の詳細は DP300 のマニュアルを参照してください。

項番 7 印刷が終了しません。このとき、印刷ジョブの状態は印刷中です。

(7-1) 障害キーワードに設定されていないプリンタ障害が発生しています。

プリンタ障害を取り除くと印刷が開始します。[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウの [#NPS_XDPx: のプロパティ] または [#NPS_LPDx: のプロパティ] で [障害キーワード] タブを選択して、障害キーワードを正しく設定してください。

(7-2) DP300 のライセンス期間が過ぎています。

ライセンスを再設定してください。

DP300 の操作の詳細は DP300 のマニュアルを参照してください。

項番 8 印刷が終了しません。このとき、印刷ジョブの状態は障害発生です。

(8-1) [用紙確認指示] または [用紙確認] ダイアログボックスが表示されています。

[用紙確認指示] または [用紙確認] ダイアログボックスに回答してください。[用紙確認指示] または [用紙確認] ダイアログボックスを閉じるまで、印刷ジョブの状態は障害発生のみで印刷されません。

項番 9 印刷はできませんが、回線障害になります。

(9-1) 通信処理実行時のタイムアウトが妥当な値ではありません。

「11.1.3 (4-1) 通信処理実行時のタイムアウトが妥当な値ではありません。」を参照してください。

(9-2) DP300 の通常モード運用で、DP300 に登録してあるホスト名とプリントサーバ名が違います。

DP300 に登録しているホスト名とプリントサーバ名は同じ名称にしてください。

DP300 の操作の詳細は DP300 のマニュアルを参照してください。

(9-3) LAN 接続プリンタがウォームアップ中です。

[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウの [「#NPS_JETx:」, 「#NPS_XDPx:」 または 「#NPS_LPDx:」 ポートのプロパティ] で、[通信処理実行時のタイムアウト] を妥当な値に変更してください。

[リカバリ印刷] ダイアログボックスで印刷ジョブをキャンセルしてください。

項番 10 印刷はできませんが、プリンタ障害になります。

(10-1) プリンタ装置の機種によって発生する現象です。

プリンタ装置の機種によって、印刷ジョブの最終ページを排出中に用紙切れなどのプリンタ障害が発生すると、最終ページが正しく排出されていても、プリンタ障害が検知されることがあります。

[リカバリ印刷] ダイアログボックスで印刷ジョブをキャンセルし、障害を回復して

ください。なお、自動リカバリが開始した場合は、[JP1/NPS 構成定義] ダイアログボックスで設定したリカバリ印刷が実行されます。

項番 11 印刷はできますが、正しいフォントで印刷されません。

(11-1) クライアント側コンピュータとサーバ側コンピュータに同一のフォントを登録してください

クライアント側コンピュータとサーバ側コンピュータに同一のフォントを登録していない場合は、正しく印刷できません。

また、コンピュータに登録されていないフォントが埋め込まれている PDF ファイルをリモート印刷すると、正しく印刷できないことがあります。PDF ファイルに埋め込まれているフォントをクライアント側コンピュータおよびサーバ側コンピュータに登録する、またはプリントサーバ上で印刷してください。

項番 12 印刷はできますが、「プリンタからの応答がありませんでした」が報告されません。

(12-1) 通信処理実行時のタイムアウトが妥当な値ではありません。

「11.1.3 (4-1) 通信処理実行時のタイムアウトが妥当な値ではありません。」を参照してください。

項番 13 「プリンタからの応答がありませんでした」のプリンタ障害に対して、[印刷続行] を選択すると、再度「プリンタからの応答がありませんでした」が報告されます。

(13-1) [印刷続行] できない場合があります。

[リカバリ印刷] ダイアログボックスの [再印刷] ボタンをクリックして、リカバリ印刷してください。

項番 14 「プリンタからの応答がありませんでした」のプリンタ障害に対して、リカバリ印刷で [印刷続行] を選択すると、印刷中のまま印刷できません。

(14-1) [印刷続行] できない場合があります。

プリンタ障害回復時にプリンタ装置の電源をオフにしたり、プリンタ装置をリセットしたりすると、印刷続行できなくなります。この場合は、[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウから印刷ジョブをキャンセルしてください。

11.1.4 リカバリ印刷に関する問題

(1) トラブルの現象

リカバリ印刷に関するトラブルの現象を次の表に示します。考えられる原因と対処方法は、「(2) トラブルの対処方法」で現象ごとに説明しています。

11. トラブルシューティング

表 11-4 トラブルの現象（リカバリ印刷）

項番	現象
1	通常の印刷はできますが、リカバリ印刷ができません。
2	[障害通知] ダイアログボックスが表示されません。
3	[リカバリ指示] ダイアログボックスが表示されません。
4	テスト印刷または再印刷で正しく印刷できません。
5	印刷続行で正しく印刷できません。
6	テスト印刷または再印刷ができません。このとき、印刷ジョブの状態は再試行中です。
7	[リカバリ印刷] ダイアログボックスに表示される障害発生ページと、実際にプリンタで障害発生したページが異なります。
8	[リカバリ指示] または [リカバリ印刷] ダイアログボックスの [印刷続行] ボタンを選択できません。
9	[リカバリ印刷] ダイアログボックスの [印刷ジョブキャンセル] 以外のボタンを選択できません。
10	[リカバリ印刷] ダイアログボックスで [検索], [印刷ジョブプレビュー], [再印刷], [テスト印刷] が選択できません。
11	[リカバリ印刷] ダイアログボックスで [印刷ジョブプレビュー], [再印刷], [テスト印刷] を選択するとエラーになります。
12	自動リカバリで [印刷続行を試行した後、自動リカバリする] を設定していますが、[印刷続行試行時間] が経過する前に、自動リカバリが始まります。
13	自動リカバリで [印刷続行を試行した後、自動リカバリする] を設定していますが、印刷続行されずに自動リカバリが始まります。
14	[印刷ジョブプレビュー] を選択するとエラーになります。

(2) トラブルの対処方法

表 11-4 に示した現象ごとに、考えられる原因と対処方法を説明します。該当する個所を参照してください。

項番 1 通常の印刷はできますが、リカバリ印刷ができません。

(1-1) ローカルプリンタが正しく設定されていません。

Windows のプリンタプロパティで次のように設定してください。

- メタファイルスプーリングを「オン」または「有効」にしてください。
- メタファイルスプーリングができないプリンタドライバを指定しないでください。
- [全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る] をチェックしてください。
- JP1/NPS が管理するポート「#NPS_LPTx:」、「#NPS_JETx:」、「#NPS_XDPx:」または「#NPS_LPDx:」をチェックしてください。
- [プリンタプールを有効にする] をチェックしないでください。

(1-2) リモート印刷用のプリンタが正しく設定されていません。

Windows のプリンタのプロパティで次の項目を確認してください。

- メタファイルスプーリングを「オン」または「有効」にしてください。
- メタファイルスプーリングができないプリンタドライバを指定しないでください。
- [プリンタプールを有効にする] をチェックしないでください。

(1-3) 印刷するアプリケーションが GDI で出力していません。

GDI 以外のインタフェースを使って印刷するアプリケーションからの印刷では、リカバリ印刷に制限があります。

(1-4) JP1/NPS サービスおよび JP1/NPS/Client プログラムが起動していません。

Windows の [スタート] メニューから、[設定] - [コントロールパネル] を選択し、[サービス] で JP1/NPS を起動してください。

また、JP1/NPS/Client プログラムを手動開始してください。

項番 2 [障害通知] ダイアログボックスが表示されません。

(2-1) [障害通知] が正しく設定されていません。

[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウで次の項目を確認してください。

- 障害通知先に指定したコンピュータ名は正しいですか？
- 障害通知先に指定したコンピュータが起動していますか？
- 障害通知先に指定したコンピュータがネットワーク内で認識できていますか？
- [障害通知する] チェックボックスはチェックされていますか？

(2-2) JP1/NPS/Client プログラムが起動していません。

JP1/NPS/Client プログラムを手動開始してください。

(2-3) プリンタの状態監視が非同期モードまたは非監視モードの印刷ジョブでプリンタ障害を検出しました。

プリンタの状態監視が非同期モードまたは非監視モードの印刷ジョブの場合、プリンタに転送した後にプリンタ障害が発生してもダイアログボックスは表示されません。

印刷結果を重視したい場合は、[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウの [#NPS_XDPx: のプロパティ] または [#NPS_LPDx: のプロパティ] で [通信設定] タブを選択して、プリンタの状態監視を [同期モード] に変更してください。

(2-4) セキュリティ印刷ジョブでプリンタ障害を検出しました。

セキュリティ印刷ジョブの場合、DP300 のキューに登録された後にプリンタ障害が発生しても [障害通知] ダイアログボックスは表示されません。

(2-5) DP300 上でオペレータによって一時停止または割り込み操作された印刷ジョブでプリンタ障害を検出しました。

DP300 上で一時停止、または割り込み操作された印刷ジョブでプリンタ障害が発生しても、[障害通知] ダイアログボックスは表示されません。

項番 3 [リカバリ指示] ダイアログボックスが表示できません。

(3-1) [リカバリ指示] が正しく設定されていません。

11. トラブルシューティング

[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウから次の項目を確認してください。

- リカバリ指示応答先に指定したコンピュータ名は正しいですか？
- リカバリ指示応答先に指定したコンピュータが起動していますか？
- リカバリ指示応答先に指定したコンピュータがネットワーク内で認識できていますか？
- [リカバリ指示する] がチェックされていますか？
- 監視時間をオーバーしていませんか？

(3-2) JP1/NPS/Client プログラムが起動していません。

「11.1.4 (2-2) JP1/NPS/Client プログラムが起動していません。」を参照してください。

(3-3) プリンタの状態監視が非同期モードまたは非監視モードの印刷ジョブでプリンタ障害を検出しました。

「11.1.4 (2-3) プリンタの状態監視が非同期モードまたは非監視モードの印刷ジョブでプリンタ障害を検出しました。」を参照してください。

(3-4) セキュリティ印刷ジョブでプリンタ障害を検出しました。

セキュリティ印刷ジョブの場合、DP300 のキューに登録された後にプリンタ障害が発生しても [リカバリ指示] ダイアログボックスは表示されません。

(3-5) DP300 上でオペレータによって一時停止または割り込み操作された印刷ジョブでプリンタ障害を検出しました。

DP300 上で一時停止、または割り込み操作された印刷ジョブでプリンタ障害が発生しても、[リカバリ指示] ダイアログボックスは表示されません。

項番 4 テスト印刷または再印刷で正しく印刷できません。

(4-1) プリンタ装置のバッファをリセットしていません。

プリンタ装置のバッファをリセットし忘れた場合、正しくテスト印刷および再印刷できません。再度、テスト印刷または印刷を実行してください。なお、外づけの LAN 装置を使用している場合は、LAN 装置の電源をオフにしてからプリンタ装置のバッファを空にしてください。

項番 5 印刷続行で正しく印刷できません。

(5-1) プリンタ装置のバッファをリセットしています。

プリンタ装置のバッファをリセットした場合、印刷続行できません。

(5-2) DP300 上で印刷ジョブをキャンセル、一時停止または割り込み操作しています。

DP300 上で印刷ジョブをキャンセル、一時停止、または割り込み操作した場合、印刷続行できません。

項番 6 テスト印刷または再印刷ができません。このとき、印刷ジョブの状態は再試行中です。

(6-1) プリンタ装置のバッファをリセットしていません。

プリンタ装置のバッファをリセットし忘れた場合、テスト印刷および再印刷は受け付けられません。プリンタ装置のバッファをリセットしてください。なお、外づけの LAN 装置を使用している場合は、LAN 装置の電源をオフにしてからプリンタ装置のバッファを空にしてください。

項番 7 [リカバリ印刷] ダイアログボックスで表示する障害発生ページと、実際にプリンタで障害発生したページが異なります。

(7-1) プリンタの機種または状態によって起こる現象です。

プリンタ障害回復後に再印刷またはテスト印刷する場合は、プリンタで出力された枚数から障害発生ページを確認してください。

(7-2) 「#NPS_XDPx:」または「#NPS_LPDx:」の場合は [リカバリ印刷] ダイアログボックスに表示される障害発生ページは常に 1 ページです。

「11.1.4 (7-1) プリンタの機種または状態によって起こる現象です。」を参照してください。

項番 8 [リカバリ指示] または [リカバリ印刷] ダイアログボックスの [印刷続行] を選択できません。

(8-1) 印刷中に回線障害が発生しました。

回線障害の場合、印刷続行はできません。回線障害を回復後、[リカバリ印刷] ダイアログボックスの [再印刷] をクリックしてください。

(8-2) 印刷中に論理矛盾が発生しました。

論理矛盾の場合、印刷続行できません。[リカバリ印刷] ダイアログボックスの [再印刷] をクリックしてください。

項番 9 [リカバリ印刷] ダイアログボックスの [印刷ジョブキャンセル] 以外のボタンを選択できません。

(9-1) ポート構成に誤りがあります。

ポート構成に誤りがある場合は、印刷ジョブキャンセル以外のリカバリ印刷はできません。[リカバリ印刷] ダイアログボックスの [印刷ジョブキャンセル] をクリックしてください。

プリンタプロパティの [ポート] タブの [ポートの構成] をクリックして、[JP1/NPS XDP ポートの構成] ダイアログボックスで正しい論理プリンタ名を指定後、再度印刷してください。

(9-2) 論理プリンタが DP300 で作成されていません。

ポート構成に誤りがある場合は、印刷ジョブキャンセル以外のリカバリ印刷はできません。[リカバリ印刷] ダイアログボックスの [印刷ジョブキャンセル] をクリックしてください。

DP300 で論理プリンタを作成後、再度印刷してください。

DP300 の操作の詳細は、DP300 のマニュアルを参照してください。

11. トラブルシューティング

項番 10 [リカバリ印刷] ダイアログボックスで [検索],[印刷ジョブプレビュー],[再印刷],[テスト印刷] が選択できません。

(10-1) 印刷ジョブのデータタイプが RAW です。

印刷ジョブのデータタイプが RAW の場合は、検索、印刷ジョブプレビュー、再印刷、テスト印刷できません。

項番 11 [リカバリ印刷] ダイアログボックスで [印刷ジョブプレビュー],[再印刷],[テスト印刷] を選択するとエラーになります。

(11-1) 印刷ジョブのデータタイプが RAW です。

印刷ジョブのデータタイプが RAW の場合は、検索、印刷ジョブプレビュー、再印刷、テスト印刷できません。印刷ジョブプレビュー、再印刷またはテスト印刷を実行するとエラーになります。

項番 12 自動リカバリで [印刷続行を試行した後、自動リカバリする] を設定していますが、[印刷続行試行時間] が経過する前に、自動リカバリが始まります。

(12-1) 回線障害が発生しています。

[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウのプリンタプロパティの [自動リカバリ] タブで、[印刷続行を試行した後、自動リカバリする] が設定されている場合に回線障害が発生すると、自動リカバリを始めます。

(12-2) 印刷中にポート構成の誤りが検出されました。

[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウのプリンタプロパティの [自動リカバリ] タブで、[印刷続行を試行した後、自動リカバリする] が設定されている場合にポート構成の誤りを検出すると、自動リカバリを始めます。

プリンタプロパティの [ポート] タブの [ポートの構成] をクリックして、[JP1/NPS XDP ポートの構成] ダイアログボックスで正しい論理プリンタ名を指定してください。また、論理プリンタが DP300 で作成されていない場合は、DP300 で論理プリンタを作成してください。

DP300 の操作の詳細は DP300 のマニュアルを参照してください。

(12-3) 論理矛盾が発生しています。

[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウのプリンタプロパティの [自動リカバリ] タブで、[印刷続行を試行した後、自動リカバリする] が設定されている場合に論理矛盾が発生すると、自動リカバリを始めます。

項番 13 自動リカバリで [印刷続行を試行した後、自動リカバリする] を設定していますが、印刷続行されずに自動リカバリが始まります。

(13-1) [印刷続行試行時間] を妥当な値に変更してください。

[印刷続行試行時間] が妥当な値ではない場合、印刷続行せずに自動リカバリを始めます。

[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウのプリンタプロパティの [自動リカバリ] タブで、

[印刷続行試行時間]を妥当な値に変更してください。

項番 14 [印刷ジョブプレビュー]を選択するとエラーになります。

(14-1) プリントサーバのコンピュータにインストールされている JP1/NPS が古いバージョンです。

プリントサーバのコンピュータに、JP1/NPS 06-71 以降をインストールしてください。

11.1.5 ユーザ通知に関する問題

(1) トラブルの現象

ユーザ通知に関するトラブルの現象を次の表に示します。考えられる原因と対処方法は、「(2) トラブルの対処方法」で現象ごとに説明しています。

表 11-5 トラブルの現象 (ユーザ通知)

項番	現象
1	[用紙確認指示] ダイアログボックスが表示されません。
2	[用紙確認] ダイアログボックスで [テスト印刷] が選択できません。
3	[用紙確認指示] または [用紙確認] ダイアログボックスに正しい印刷ジョブ用紙サイズが表示されません。
6	[印刷完了通知] メッセージボックスが表示されません。
7	[印刷完了通知] メッセージボックスに正しい情報が表示されません。

(2) トラブルの対処方法

表 11-5 に示した現象ごとに、考えられる原因と対処方法を説明します。該当する箇所を参照してください。

項番 1 [用紙確認指示] ダイアログボックスが表示されません。

(1-1) [用紙確認] が正しく設定されていません。

[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウから、次の項目を確認してください。

- 用紙確認応答先に指定したコンピュータ名は正しいですか？
- 用紙確認応答先に指定したコンピュータが起動していますか？
- 用紙確認応答先に指定したコンピュータがネットワーク内で認識できていますか？
- [用紙確認する] がチェックされていますか？

(1-2) JP1/NPS/Client プログラムが起動していません。

JP1/NPS/Client プログラムを手動起動してください。

項番 2 [用紙確認] ダイアログボックスで [テスト印刷] が選択できません。

11. トラブルシューティング

(2-1) 印刷ジョブのデータタイプが RAW です。

印刷ジョブのデータタイプが RAW の場合は、テスト印刷できません。

項番 3 [用紙確認指示] または [用紙確認] ダイアログボックスに正しい印刷ジョブ用紙サイズが表示されません。

(3-1) JP1/NPS が用紙サイズを正しく認識できない印刷ジョブです。

用紙確認できるのは、JP1/NPS で用紙サイズを正しく認識できる印刷ジョブだけです。

次に示す印刷ジョブの場合は、用紙確認が正しく動作しないことがあります。

1. 任意の用紙サイズを使用して印刷した場合（縦・横のサイズだけを指定した用紙名の付いていないもの）
2. ユーザ定義の用紙サイズを使用して印刷した場合
3. 用紙名の長さが半角 32 文字を超える用紙サイズを使用して印刷した場合
4. RAW スプーリングされた印刷ジョブ

なお、印刷するアプリケーションによって、A4、B5 などの用紙サイズを指定しないものや、アプリケーションで指定した用紙サイズを別の用紙サイズに変更して印刷することがあるため、JP1/NPS で用紙サイズを正しく認識できないことがあります。

項番 6 [印刷完了通知] メッセージボックスが表示されません。

(6-1) [印刷完了通知] が正しく設定されていません。

[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウから、次の項目を確認してください。

- 印刷完了メッセージ通知先に指定したコンピュータ名は正しいですか？
- 印刷完了メッセージ通知先に指定したコンピュータが起動していますか？
- 印刷完了メッセージ通知先に指定したコンピュータがネットワーク内で認識できていますか？
- [印刷完了メッセージを通知する] がチェックされていますか？

(6-2) JP1/NPS/Client プログラムが起動していません。

「11.1.5 (1-2) JP1/NPS/Client プログラムが起動していません。」を参照してください。

項番 7 [印刷完了通知] メッセージボックスに正しい情報が表示されません。

(7-1) 印刷ジョブのデータタイプが RAW です。

印刷ジョブのデータタイプが RAW の場合は、ページ数が 0 と表示されるなど、正しい情報が表示されないことがあります。

11.1.6 ジョブの自動コピーに関する問題

(1) トラブルの現象

ジョブの自動コピーオプションに関するトラブルの現象を次の表に示します。考えられる原因と対処方法は、「(2) トラブルの対処方法」で説明しています。

表 11-6 トラブルの現象 (ジョブの自動コピーオプション)

項番	現象
1	ジョブの自動コピーが失敗します。

(2) トラブルの対処方法

表 11-6 に示した現象ごとに、考えられる原因と対処方法を説明します。該当する個所を参照してください。

項番 1 ジョブの自動コピーが失敗します。

(1-1) ディスク容量が不足しています。

エクスプローラなどを利用して不要なファイルを削除し、ディスクの空き容量を増やしてください。または、ハードディスクを増設してください。

(1-2) メモリが不足しています。

同時に起動しているほかのアプリケーションを終了させてください。または、メモリを増設してください。

(1-3) コピー先プリンタの指定に誤りがあります。

コピー先プリンタが正しく指定されているか、確認してください。

(1-4) コピー先プリンタのコンピュータで、JP1/NPS サービスが起動していません。

Windows の [スタート] メニューから、[設定] - [コントロールパネル] を選択し、[サービス] で JP1/NPS を起動してください。

(1-5) コピー先プリンタが接続されていません。

コピー先プリンタのプリンタプロパティで [共有する] をチェックし、コピー元のプリントサーバからコピー先プリンタを接続してください。

11.1.7 課金情報に関する問題

(1) トラブルの現象

トラブルの現象を次の表に示します。考えられる原因と対処方法は、「(2) トラブルの対処方法」で現象ごとに説明しています。

表 11-7 トラブルの現象（課金情報）

項番	現象
1	JNpsActC.exe または JNpsActG.exe コマンドが実行できません。
2	課金情報が一つも出力されません。
3	情報が出力されない項目があります。
4	日付に「YYYY/MM/DD」という文字列が出力されます。
5	「印刷ページ数」が実際の印刷枚数と異なっています。
6	「テスト印刷ページ数」が「印刷ページ数」より大きな値です。
7	「テスト印刷データサイズ」が「印刷データサイズ」より大きな値です。

（2）トラブルの対処方法

表 11-7 に示した現象ごとに、考えられる原因と対処方法を説明します。該当する個所を参照してください。

項番 1 JNpsActC.exe または JNpsActG.exe コマンドが実行できません。

（1-1）ディスク容量が不足しています。

エクスプローラなどを利用して不要なファイルを削除し、ディスクの空き容量を増やしてください。または、ハードディスクを増設してください。

（1-2）メモリが不足しています。

同時に起動しているほかのアプリケーションを終了させてください。または、メモリを増設してください。

項番 2 課金情報が一つも出力されません。

（2-1）入力元のイベントログの中に、印刷終了イベントが一つもありません。

イベントログに印刷終了イベントが一つもない場合は、情報は出力されません。Windows の [管理ツール] から [イベントビューア] を選択して、印刷終了イベントが存在するかを確認してください。

（2-2）[イベントログ情報を取得する範囲] に日時が指定されています。

JP1/NPS 06-00 より前のバージョンで出力したイベントは、[イベントログ情報を取得する範囲] で日時を指定した場合、出力されません。

[イベントログ情報を取得する範囲] に以下のどれかを指定してください。

JNpsActC.exe コマンドを実行する場合

[/Range : *]

[/Range : TOP-BOTTOM]

JNpsActG.exe コマンドを実行する場合

[すべて]

[先頭から] および [最後まで]

項番 3 情報が出力されない項目があります。

(3-1) JP1/NPS 06-00 より前のバージョンの JP1/NPS で登録した印刷終了イベントです。JP1/NPS 06-00 より前のバージョンの JP1/NPS で登録した印刷終了イベントの課金情報には、[タイムゾーン], [印刷要求コンピュータ名], [用紙サイズ] が出力されません。また、JP1/NPS 05-00 より前のバージョンの JP1/NPS で登録した印刷終了イベントの課金情報では、上記に加えて [印刷ジョブ ID] も出力されません。

(3-2) Windows 版の JP1/NPS では出力されない情報があります。

Windows 版の JP1/NPS では、以下の情報は出力されません。

- 投入ユーザ ID
- 投入グループ名
- 投入グループ ID
- 実行ユーザ名
- 実行ユーザ ID
- 実行グループ名
- 実行グループ ID
- 投入マシン ID
- 実行マシン ID
- スペシャルファイル名
- 印刷行数
- テスト印刷出力行数
- 各用紙サイズの出力ページ数

項番 4 日付に「YYYY/MM/DD」という文字列が出力されます。

(4-1) JP1/NPS 06-00 より前のバージョンの JP1/NPS で登録した印刷終了イベントです。JP1/NPS 06-00 より前のバージョンの JP1/NPS で登録した印刷終了イベントの課金情報は、受付日時、印刷開始日時および印刷終了日時の日付部分は「YYYY/MM/DD」と表示されます。

項番 5 「印刷ページ数」が実際の印刷枚数と異なります。

(5-1) 印刷枚数は異なる場合があります。

印刷ページ数は、印刷ジョブを解析した論理的なページ数を出力します。そのため、N アップ、両面印刷、または部数指定などの印刷オプションを指定した場合は、実際の印刷枚数とは異なることがあります。

項番 6 「テスト印刷ページ数」が「印刷ページ数」より大きな値です。

(6-1) 累積ページ数を表示しています。

テスト印刷ページ数は、累積ページ数を出力します。そのため、印刷ページ数より値が大きくなる場合があります。

項番 7 「テスト印刷データサイズ」が「印刷データサイズ」より大きな値です。

11. トラブルシューティング

(7-1) 累積データサイズ数を表示しています。

テスト印刷データサイズは、累積データサイズを出力します。そのため、印刷データサイズより値が大きくなる場合があります。

11.1.8 そのほかの問題

(1) トラブルの現象

トラブルの現象を次の表に示します。考えられる原因と対処方法は、「(2) トラブルの対処方法」で現象ごとに説明しています。

表 11-8 トラブルの現象 (その他)

項番	現象
1	「#NPS_LPTx:」ポートのプリンタ障害検知に時間が掛かります。
2	「#NPS_JETx:」、「#NPS_XDPx:」または「#NPS_LPDx:」ポートを追加するとエラーメッセージボックスが表示されます。

(2) トラブルの対処方法

表 11-8 に示した現象ごとに、考えられる原因と対処方法を説明します。該当する個所を参照してください。

項番 1 プリンタ障害検知に時間が掛かります。

(1-1) ポートのタイムアウトの再送信およびプリンタビジー発生時の処置が妥当な値ではありません。

プリンタプロパティの [ポート] タブの [ポートの構成] をクリックして、[JP1/NPS LPT ポートの構成] ダイアログボックスでタイムアウトの再送信およびプリンタビジー発生時の処置を妥当な値に変更してください。

項番 2 「#NPS_JETx:」、「#NPS_XDPx:」または「#NPS_LPDx:」ポートを追加すると、エラーメッセージボックスが表示されます。

(2-1) LAN 接続プリンタの電源がオフになっています。

LAN 接続プリンタの電源をオンにしてください。

(2-2) LAN 装置の電源がオフになっています。

LAN 装置の電源をオンにしてください。

(2-3) ポート構成に誤りがあります。

LAN 接続プリンタの IP アドレスに誤りがある場合は、[JP1/NPS xxx ポートの構成] ダイアログボックスで正しい IP アドレスを指定してください。

論理プリンタ名に誤りがある場合は、[JP1/NPS xxx ポートの構成] ダイアログボックスで正しい論理プリンタ名を指定してください。また、論理プリンタが DP300 で

作成されていない場合は、DP300 で論理プリンタを作成してください。
DP300 の操作の詳細は、DP300 のマニュアルを参照してください。

(2-4) LAN ケーブルが破損しています。

LAN ケーブルを交換してください。

(2-5) プリントサーバのホスト情報定義が DP300 で設定されていません。

DNS 管理されていないプリントサーバで通常モード運用の DP300 を使用する場合は、DP300 でプリントサーバのホスト情報定義を設定する必要があります。

DP300 の操作の詳細は、DP300 のマニュアルを参照してください。

11.2 仕分け配布のトラブルシューティング

この節では、仕分け配布機能を使用しているときに発生したトラブルの原因を示します。該当する原因の対処方法を参照してください。

11.2.1 トラブルの現象

トラブルの現象を次の表に示します。考えられる原因と対処方法は、「11.2.2 トラブルの対処方法」で現象ごとに説明しています。

表 11-9 トラブルの現象（仕分け配布）

項番	現象
1	仕分けした帳票が、一つのファイルにまとめられて配布されます。
2	自動仕分け配布が実行されないで、通常の印刷処理が実行されます。
3	「プリンタサーバに接続できません」または「サービスプログラムに接続できません」というメッセージが表示されます。
4	「レジストリ変数にアクセスできません」というメッセージが表示されます。
5	[仕分け情報定義・仕分けプリンタの選択] ダイアログボックスの [仕分けプリンタの一覧] に、プリンタ名が表示されません。

11.2.2 トラブルの対処方法

表 11-9 に示した現象ごとに、考えられる原因と対処方法を説明します。該当する個所を参照してください。

項番 1 仕分けした帳票が、一つのファイルにまとめられて配布されます。

- (1-1) 仕分け情報の定義で、異なる仕分け条件に同じ配布先情報名が指定されています。
仕分け情報の定義で、異なる仕分け条件に同じ配布先情報名が指定されています。
仕分け条件ごとに、異なる（正しい）配布先情報名を指定してください。

項番 2 自動仕分け配布が実行されないで、通常の印刷処理が実行されます。

- (2-1) ジョブ情報の定義時に指定したジョブ名が誤っています。
正しいジョブ名を指定してください。

項番 3 「プリンタサーバに接続できません」または「サービスプログラムに接続できません」というメッセージが表示されます。

- (3-1) サーバで、JP1/NPS/Distributor のサービスが起動していません。
Windows の [コントロールパネル] の [サービス] で、JP1/NPS/Distributor サービスを起動してください。

項番 4 「レジストリ変数にアクセスできません」というメッセージが表示されます。

(4-1) サーバに JP1/NPS がインストールされていますか？

インストールされていない場合は、JP1/NPS をインストールしてください。インストールされている場合は、レジストリ変数が破壊されている可能性があります。このような場合は、JP1/NPS をインストールし直してください。

項番 5 [仕分け情報定義 - プリンタの選択] ダイアログボックスの [プリンター一覧] に、プリンタ名が表示されません。

(5-1) プリンタが接続されていません。

プリンタが接続されていない場合は、JP1/NPS でプリンタを接続してください。プリンタが接続されている場合は、[仕分け環境定義] で、仕分け定義情報を定義するプリンタが仕分けプリンタとして定義されているか確認してください。

11.3 保守情報を採取する

トラブルシューティングを参照しても問題が解決しない場合は、次の手順で資料を採取して、システム管理者に連絡してください。

11.3.1 イベントログ

[イベントビューア] で、システムログおよびアプリケーションログを採取してください。イベントログの採取方法を、次に示します。

1. [イベントビューア] で「アプリケーションログ」を選択する。
アプリケーションログが表示されます。
2. [操作] - [ログファイルの名前を付けて保存] を選択する。
["アプリケーションログ" の名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。
3. [保存する場所] および [ファイル名] にパス名、ファイル名を入力し、[ファイルの種類] は「イベントログ (*.evt)」を選択する。
4. [保存] をクリックする。
イベントログファイルが作成されます。同じ手順で、システムログも採取してください。

11.3.2 JP1/NPS 印刷ジョブ管理情報

JP1/NPS の印刷ジョブ管理フォルダ下の全ファイルを採取してください。印刷ジョブ管理フォルダの確認方法を、次に示します。

1. [JP1/NPS 環境設定] ダイアログを表示する。
2. [印刷ジョブ管理情報] タブ - [印刷ジョブ管理フォルダ] の設定を確認する。

11.3.3 仕分け配布トレースファイル（仕分け配布機能に関するトラブルの場合）

仕分け配布トレースファイルを採取してください。仕分け配布トレースファイルのファイルパスを次に示します。

JP1/NPS のインストールフォルダ ¥JP1NPSDIST¥Ras¥TraceFile.txt

付録

付録A プロセス一覧

付録B 各バージョンの変更点

付録C 用語解説

付録 A プロセス一覧

JP1/NPS のプロセスについて説明します。プロセスの状態は、[タスクマネージャ] ウィンドウの [プロセス] タブで確認できます。

JP1/NPS のプロセス一覧を次の表に示します。なお、表中のプロセス名の後ろに記載されている値は、同時に起動できるプロセス数を示します。

表 A-1 JP1/NPS のプロセス一覧

プロセス名 (プロセス数)	機能
npssvcsv (1)	JP1/NPS サービス
JP1DSERV (1)	JP1/NPS/Distributor サービス

付録 B 各バージョンの変更点

前バージョンまでの各プログラムの変更点を説明します。

付録 B.1 06-72 から 07-00 での変更点

06-72 から 07-00 での変更点をプログラムごとに説明します。

(1) JP1/NPS

Windows Server 2003 をサポートしました。

JP1/NPS/Distributor を、JP1/NPS に統合しました。

[JP1/NPS/Client プログラム 環境定義] ダイアログボックスを追加しました。

JP1/NPS/Client プログラムの動作環境を設定できます。

[障害通知する] をチェックしていない場合は、障害通知を表示しないようにしました。

[障害通知する] および [リカバリ指示する] をチェックしていない場合でも、プリンタ障害が発生したことを通知するために、CREATOR OWNER に対して障害通知を表示していましたが、[障害通知する] をチェックしていない場合は、障害通知を表示しないようにしました。

JP1/NPS サービスの回復に「ファイルを実行する」または「プログラムを実行する」を設定できるようにしました。回復操作では、次の値を設定できます。

- Windows 2000 の場合
「何もしない」または「ファイルを実行する」
- Windows XP または Windows Server 2003 の場合
「何もしない」または「プログラムを実行する」

(2) JP1/NPS/Client

Windows Server 2003 をサポートしました。

JP1/NPS/Distributor/Client を、JP1/NPS/Client に統合しました。

[JP1/NPS/Client プログラム 環境定義] ダイアログボックスを追加しました。

JP1/NPS/Client プログラムの動作環境を設定できます。

[障害通知する] をチェックしていない場合は、障害通知を表示しないようにしました。

[障害通知する] および [リカバリ指示する] をチェックしていない場合でも、プリンタ障害が発生したことを通知するために、CREATOR OWNER に対して障害通知を表示していましたが、[障害通知する] をチェックしていない場合は、障害通知を表示しないようにしました。

付録 B.2 06-71 から 06-72 での変更点

06-71 から 06-72 での変更点を説明します。

(1) JP1/NPS , JP1/NPS/Client

Windows XP をサポートしました。

(2) JP1/NPS/Distributor , JP1/NPS/Distributor/Client

Windows XP をサポートしました。

付録 B.3 06-51 から 06-71 での変更点

06-51 から 06-71 での変更点をプログラムごとに説明します。

(1) JP1/NPS

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウの機能を変更しました。

- 印刷ジョブをプレビューできるようにしました。
- [表示・編集] ボタンおよびメニューを削除しました。

[リカバリ印刷] ダイアログボックスの機能を変更しました。

- 印刷ジョブをプレビューできるようにしました。
- [印刷ジョブ表示] ボタンを削除しました。

(2) JP1/NPS/Client

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウの機能を変更しました。

- 印刷ジョブをプレビューできるようにしました。
- [表示・編集] ボタンおよびメニューを削除しました。

[リカバリ印刷] ダイアログボックスの機能を変更しました。

- 印刷ジョブをプレビューできるようにしました。
- [印刷ジョブ表示] ボタンを削除しました。

付録 B.4 06-01 から 06-51 での変更点

06-01 から 06-51 での変更点をプログラムごとに説明します。

(1) JP1/NPS

LAN 接続プリンタのポート情報の監視モードに C- モードを追加しました。

[環境設定] ダイアログボックスに, [リモート印刷] タブを追加しました。

- データが存在しない印刷ジョブをリモート印刷したときの動作を設定できるようにしました。

(2) JP1/NPS/Client

[環境設定] ダイアログボックスに,[リモート印刷] タブを追加しました。

- データが存在しない印刷ジョブをリモート印刷したときの動作を設定できるようにしました。

(3) JP1/NPS/Distributor , JP1/NPS/Distributor/Client

EUR Print Service に対応しました。

Windows 2000 環境でのセパレータ出力機能をサポートするとともに,セパレータの出力仕様を改善しました。

付録 B.5 06-00 から 06-01 での変更点

06-00 から 06-01 での変更点をプログラムごとに説明します。

(1) JP1/NPS , JP1/NPS/Client

Windows 2000 をサポートしました。

(2) JP1/NPS/Distributor , JP1/NPS/Distributor/Client

Windows 2000 をサポートしました。

付録 B.6 05-20 から 06-00 での変更点

05-20 から 06-00 での変更点をプログラムごとに説明します。

(1) JP1/NPS

JP1/Network Printing System - Enterprise Edition と JP1/Network Printing System/LAN Printer Driver を統合しました。

LAN 接続プリンタのポート情報の機能を変更しました。

- ポート情報に [監視モード] および [通信処理実行時のタイムアウト] を追加しました。

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウの機能を変更しました。

- 印刷中のジョブをキャンセルできるようにしました。
- JP1/NPS/Client プログラムをダブルクリックすると [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウを起動できるようにしました。
- [プリンタ] ウィンドウに表示される項目の表示順序をドラッグアンドドロップで変更できるようにしました。

自動リカバリする前に,印刷続行できるようにしました。

印刷ジョブの自動コピーオプションをサポートしました。

RAW スプーリングされた印刷ジョブに対しても、プリンタ障害の通知やりカバリ印刷ができるようにしました。

RAW スプーリングされた印刷ジョブに対しても、用紙サイズを確認したり、印刷完了通知を表示させたりできるようにしました。

「#NPS_LPTx:」のポート構成にプリンタビジー発生時の処置を追加しました。

課金情報を収集できるようにしました。

Windows イベントのソースおよび表示形式を変更しました。

- イベントのソースを JP1/NPS に統一しました。
- イベントで表示する時間に関する項目を「HH:MM:SS.mmm」から、「YYYY/MM/DD HH:MM:SS.mmm」に変更しました。

(2) JP1/NPS/Client (適用 OS : Windows NT)

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウの機能を変更しました。

- 印刷中のジョブをキャンセルできるようにしました。
- JP1/NPS/Client プログラムをダブルクリックすると [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウを起動できるようにしました。
- [プリンタ] ウィンドウに表示される項目の表示順序をドラッグアンドドロップで変更できるようにしました。

RAW スプーリングされた印刷ジョブに対しても、プリンタ障害の通知やりカバリ印刷ができるようにしました。

RAW スプーリングされた印刷ジョブに対しても、用紙サイズを確認したり、印刷完了通知を表示させたりできるようにしました。

Windows イベントの表示形式を変更しました (適用 OS : Windows NT だけ)。

(3) JP1/NPS/Distributor , JP1/NPS/Distributor/Client

配布ジョブの優先順位を設定できるようにしました。

JP1/NPS/Distributor サービスの表示先をタスクバーからタスクトレイに変更しました (適用 OS : Windows 95 または Windows 98 だけ)。

付録 B.7 05-10 から 05-20 での変更点

05-10 から 05-20 での変更点をプログラムごとに説明します。

(1) JP1/NPS (適用 OS : Windows NT)

JP1/NPS RAW Data Control コンポーネントを使用すると、RAW スプーリングされた印刷ジョブに対してもリカバリ印刷できるようにしました。

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウの機能を変更しました。

- すべての印刷ジョブを保留および保留解除できるようにしました。
- サーバ上のローカルプリンタを一括して管理できるようにしました。
- 印刷ジョブの状態（[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウの [状態] に表示される）を変更しました。

「#NPS_LPDx:」ポートをサポートしました。

印刷済みのジョブをコマンドで削除できるようにしました。

JP1/NPS/Client プログラムの表示先をタスクバーからタスクトレイに変更しました。

RAW スプーリングされた印刷ジョブに対して、ジョブの保存オプションの [印刷済みジョブの保存時間] 機能を使用できるようにしました。

(2) JP1/NPS/Client (適用 OS : Windows NT)

JP1/NPS RAW Data Control コンポーネントを使用すると、RAW スプーリングされた印刷ジョブに対してもリカバリ印刷できるようにしました。

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウの機能を変更しました。

- すべての印刷ジョブを保留および保留解除できるようにしました。
- サーバ上のローカルプリンタを一括して管理できるようにしました。

JP1/NPS/Client プログラムの表示先をタスクバーからタスクトレイに変更しました。

(3) JP1/NPS/Client (適用 OS : Windows 95 または Windows 98)

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウの機能を変更しました。

- すべての印刷ジョブを保留および保留解除できるようにしました。

JP1/NPS/Client プログラムの表示先をタスクバーからタスクトレイに変更しました。

付録 B.8 05-00 から 05-10 での変更点

05-00 から 05-10 での変更点をプログラムごとに説明します。

(1) JP1/NPS

LAN 接続プリンタの DP300 をサポートしました。

ユーザ通知をサポートしました。

- プリンタにセットされている用紙と印刷する用紙サイズが異なる場合に、設定したコンピュータに [用紙確認指示] ダイアログボックスを表示します。
- 印刷が終了した時、設定したコンピュータに [印刷完了通知] メッセージを表示します。

JP1/Net Batch との連携機能をサポートしました。

NETM* Cm2 連携を OpenView でも使用できるようにしました。

JP1/IM と組み合わせて使用すると、JP1/IM の機能選択画面から JP1/NPS のプリン

タ状態やイベントを監視できるようにしました。

Microsoft Cluster Server 上で JP1/NPS を運用できるようにしました。

(2) JP1/NPS/Client

ユーザ通知をサポートしました。

- プリンタにセットされている用紙と印刷する用紙サイズが異なる場合に、設定したコンピュータに [用紙確認指示] ダイアログボックスを表示します。
- 印刷が終了した時、設定したコンピュータに [印刷完了通知] メッセージを表示します。

JP1/Net Batch との連携機能をサポートしました。

JP1/IM と組み合わせて使用すると、JP1/IM の機能選択画面から JP1/NPS のプリンタ状態やイベントを監視できるようにしました (適用 OS: Windows NT だけ)。

(3) JP1/NPS/LAN Printer Driver

DP300 をサポートしました。

ユーザ通知をサポートしました。

- プリンタにセットされている用紙と印刷する用紙サイズが異なる場合に、設定したコンピュータに [用紙確認指示] ダイアログボックスを表示します。
- 印刷が終了した時、設定したコンピュータに [印刷完了通知] メッセージを表示します。

JP1/IM と組み合わせて使用すると、JP1/IM の機能選択画面から JP1/NPS/LAN Printer Driver のプリンタ状態やイベントを監視できるようにしました。

(4) JP1/NPS/Distributor, JP1/NPS/Distributor/Client

EUR と組み合わせて使うと、キーワード仕分けの性能が向上するようにしました。

JP1/IM と組み合わせて使用すると、JP1/IM の機能選択画面から JP1/NPS/Distributor を監視できるようにしました。

Microsoft Cluster Server 上で JP1/NPS/Distributor を運用できるようにしました。

付録 B.9 02-00 から 05-00 での変更点

02-00 から 05-00 での変更点をプログラムごとに説明します。

(1) JP1/NPS

新規プログラムの JP1/Network Printing System/LAN Printer Driver をプリントサーバにインストールすることで、LAN 接続プリンタ障害発生時に JP1/NPS を使ったりカバリ印刷をできるようにしました。

[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウの機能を変更しました。

- 印刷済みジョブをプリンタキューに一定期間保存する期間を拡張しました。
- 印刷済みジョブを定期的に削除する機能をサポートしました。
- 印刷ジョブの表示性能を向上させました。

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウの機能を変更しました。

- 印刷ジョブをコピーする機能をサポートしました。
- 印刷待ちまたは保留状態のジョブを、ページを指定してテスト印刷する機能をサポートしました。
- プリンタウィンドウに表示される印刷ジョブのフィルタリング機能をサポートしました。

自動リカバリで「他プリンタでの再印刷」機能をサポートしました。

[環境設定] ダイアログボックスに、npsopt.exe コマンドでの設定を統合しました。

(2) JP1/NPS/Client

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウの機能を変更しました。

- 印刷ジョブをコピーする機能をサポートしました。
- 印刷待ちまたは保留状態のジョブを、ページを指定してテスト印刷する機能をサポートしました。
- プリンタウィンドウに表示される印刷ジョブのフィルタリング機能をサポートしました。

[環境設定] ダイアログボックスに、npsopt.exe コマンドでの設定を統合しました。

(3) JP1/NPS/LAN Printer Driver

05-00 からの新規プログラムです。

LAN に直接接続した LAN 接続プリンタに対して、JP1/NPS を使ったリカバリ印刷およびプリンタ管理ができるようにしました。

(4) JP1/NPS/Distributor, JP1/NPS/Distributor/Client

分割指定による仕分け方式を追加しました。

[ジョブ情報の定義] ダイアログボックスで、" * " をワイルドカード文字として使用できるようにしました。

付録 B.10 01-00 から 02-00 での変更点

01-00 から 02-00 での変更点をプログラムごとに説明します。

(1) JP1/NPS

プリンタ構成および印刷性能を変更しました。

- 論理プリンタが不要になり、Windows NT のプリンタだけのプリンタ構成にしました。

- 基本的に Windows NT の機能だけでプリンタを作成できるようにしました。
- リモート印刷する場合、ネットワークプリンタに対応するリモート印刷用のプリンタをセットアップする必要があります。
- ジョブの印刷を実行後、プリンタにキューイングされるまでの時間を大幅に短縮しました。
- 使用できるプリンタ装置は、セントロニクス接続のプリンタ装置に変更ありません。ただし、そのプリンタ装置に対応するプリンタドライバは、EMF スプーリングできるプリンタドライバに限定されます。

GUI 画面を変更しました。

- [JP1/NPS 構成定義] ウィンドウ , [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウでツールバー , ステータスバー , ポップアップメニューをサポートしました。
- [JP1/NPS 構成定義] ウィンドウ , [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウの [オプション] メニューに [終了時の状態を保存] がなくなりました。したがって , 終了時の状態は必ず保存されます。
- [表示] メニューに [最新の情報に更新] を追加しました。
- [JP1/NPS 構成定義] ウィンドウのデザインを分割ウィンドウに変更しました。
- [リカバリ印刷] ダイアログボックスのデザイン , ボタンの配置を変更しました。

[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウの機能を変更しました。

- [プリンタ] メニューの , [作成] , [削除] および [変更] コマンドがなくなりました。
- [プリンタ] メニューの [作成] [変更] コマンドで設定していたプリンタ情報を , [プロパティ] コマンドから設定できるようにしました。また , ユーザがプリンタごとにカスタマイズできるプリンタ情報もサポートしました。
- 各プリンタ共通のプリンタ情報として , デフォルト情報をサポートしました。
- プリンタオプションの [スプール後印刷ジョブを保留する] 機能が使用できなくなりました。プリンタの一時停止 , またはスプール後に [印刷ジョブ] - [保留] を選択することで対処してください。
- プリンタオプションの [自動仕分けする] チェックボックスはなくなりました。JP1/NPS/Distributor または JP1/NPS/Distributor/Client から設定してください。
- [プリンタ] - [サーバの表示] はなくなりました。ネットワークウィンドウのツリービューで表示したいコンピュータを選択して , プリンタウィンドウを表示してください。

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウの機能を変更しました。

- [プリンタ] - [開く] を追加しました。
- ドラッグアンドドロップで印刷ジョブをほかのプリンタに移動できるようにしました。
- ドラッグアンドドロップで印刷ジョブの印刷順序を変更できるようにしました。
- [印刷ジョブ] - [削除] 選択時に , 削除の確認メッセージを出力するようにしました。
- リカバリ印刷時にプリンタを変更した印刷ジョブは , 表示・編集および仕分け配布できません。

リカバリ印刷の機能を変更しました。

- [リカバリ印刷] ダイアログボックスから印刷ジョブキャンセルする時に、キャンセルする印刷ジョブを保留属性で再登録できるようにしました。
- リカバリ関連のダイアログボックスでヘルプ機能をサポートしました。

Cm2/Network Node Manager から JP1/NPS が管理するシンボル（プリンタのポート）を監視できるようにしました。

JP1/NPS/Client プログラムをスタートアップから起動するようにしました。

(2) JP1/NPS/Client (適用 OS : Windows NT)

プリンタ構成および印刷性能を変更しました。

- リモート印刷する場合、ネットワークプリンタに対応するリモート印刷用のプリンタをセットアップする必要があります。
- ジョブの印刷を実行後、プリンタにキューイングされるまでの時間を大幅に短縮しました。
- 使用できるプリンタ装置は、セントロニクス接続のプリンタ装置に変更ありません。ただし、そのプリンタ装置に対応するプリンタドライバは、EMF スプーリングできるプリンタドライバに限定されます。

GUI 画面を変更しました。

- [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウでツールバー、ステータスバー、ポップアップメニューをサポートしました。
- [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウの [オプション] メニューの [終了時の状態を保存] コマンドはなくなりました。したがって、終了時の状態は必ず保存されます。
- [表示] メニューに [最新の情報に更新] コマンドを追加しました。
- [リカバリ印刷] ダイアログボックスのデザイン、ボタンの配置を変更しました。

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウの機能を変更しました。

- [プリンタ] - [開く] を追加しました。
- ドラッグアンドドロップで印刷ジョブをほかのプリンタに移動できるようにしました。
- ドラッグアンドドロップで印刷ジョブの印刷順序を変更できるようにしました。
- [印刷ジョブ] - [削除] 選択時に、削除の確認メッセージを出力するようにしました。

リカバリ印刷の機能を変更しました。

- [リカバリ印刷] ダイアログボックスから印刷ジョブキャンセルする時に、キャンセルする印刷ジョブを保留属性で再登録できるようにしました。
- リカバリ関連のダイアログボックスでヘルプ機能をサポートしました。

JP1/NPS/Client プログラムをスタートアップから起動するようにしました。

JP1/NPS/Client の JP1/NPS サービスはなくなりました。

(3) JP1/NPS/Client (適用 OS : Windows 95 または Windows 98)

02-00 からの新規プログラムです。

(4) JP1/NPS/Editor

スタンドアロン構成で JP1/NPS/Editor を使う場合、前提プログラムとしての JP1/NPS を不要にしました。

(5) JP1/NPS/Distributor

JP1/NPS/Distributor の適用 OS を Windows NT 3.51 から Windows NT 4.0 に変更にしました。

クライアント機能を持ったプログラム JP1/NPS/Distributor/Client を追加しました。適用 OS は、Windows NT、Windows 95 または Windows 98 です。

Microsoft Mail に加えて、Microsoft Exchange、Lotus Notes を使用して帳票データをメール送信できるようにしました。

仕分け実行時の処理状態を Windows NT のイベントビューアで参照できるようにしました。

仕分けサーバおよび仕分けプリンタを JP1/NPS/Distributor で設定するようにしました。

仕分けプリンタに出力された印刷ジョブだけを仕分けの対象とするようにしました。

(6) JP1/NPS/Distributor/Client (適用 OS : Windows 95 または Windows 98)

02-00 からの新規プログラムです。

モデムを経由して、LAN 外のコンピュータまたはスタンドアロンコンピュータに帳票データを仕分け配布できるようにしました。

モデムを経由して、ファクシミリに帳票データを配布できるようにしました。

Windows 95 または Windows 98 のローカルプリンタに帳票データを印刷できるようにしました。

付録 C 用語解説

(英字)

EMF スプーリング

拡張メタファイル形式の印刷データをプリンタキューに登録することです。

JP1/AJS2

業務を自動的に運用するためのプログラムです。処理を順序付けて定期的に行ったり、特定の事象が発生したときに処理を開始したりできます。

JP1/Base

イベントサービス機能を提供するプログラムです。サービスの起動順序を制御したり、JP1 イベントを送受信したりできます。なお、JP1/Base は、JP1/IM・Console および JP1/AJS2 の前提プログラムです。

JP1/IM - Console

分散システムを集中的に監視するためのプログラムです。

JP1/IM・Console は、分散システム内での業務の実行状況や障害などの情報を表す JP1 イベントを、JP1/IM・View の画面を通じて監視できます。

JP1/NPS

クライアントサーバシステムのネットワーク環境でプリンタを管理し、プリンタ障害時に再印刷したり印刷ジョブを操作したりするプログラムです。スタンドアロン環境でも使用できます。

JP1/NPS/Client

クライアントから、ネットワークプリンタへの印刷ジョブの出力要求や、プリンタ障害時のリカバリ印刷の指示ができるプログラムです。

JP1/NPS/Client プログラム

障害通知やリカバリ指示などを実行するプログラムです。JP1/NPS または JP1/NPS/Client を使用する場合に、起動している必要があります。

JP1/NPS/Distributor サービス

印刷ジョブを仕分け配布するサービスです。このサービスは JP1/NPS/Client にはありません。仕分け配布を実行する場合は、JP1/NPS/Distributor サービスが開始している必要があります。

JP1/NPS サービス

JP1/NPS の機能を提供するサービスです。このサービスは JP1/NPS/Client にはありません。プリンタの管理、印刷ジョブの操作、リカバリ印刷など、JP1/NPS の機能を使用する場合は、JP1/NPS サービスが開始している必要があります。

JP1 イベント

システム内で何らかの事象が発生した際に、その事象に関して JP1/Base に通知される情報です。これらの情報は、JP1/Base を経由して、JP1/IM・Console で監視できます。

LAN 接続プリンタ

LAN に直接接続されているプリンタです。JP1/NPS では、LAN 接続プリンタに対しても、リカバリ印刷、プリンタ管理などの機能を提供しています。

RAW スプーリング

ページ記述言語 (PDL) で記述された印刷データをプリンタキューに登録することです。

RAW スプーリングされた印刷ジョブは、印刷ジョブの操作やリカバリ印刷などの JP1/NPS の機能を使用する場合に制限があります。

Windows イベント

システム内で何らかの事象が発生した際に、その事象に関して Windows NT に通知される情報です。これらの情報は、Windows NT の管理ツールの [イベントビューア] でアプリケーションログの表示から参照できます。

(ア行)

印刷ジョブ

JP1/NPS で一度に印刷されるデータの単位です。リカバリ印刷やジョブの移動などは、印刷ジョブ単位で処理します。

印刷ジョブ管理フォルダ

印刷ジョブ管理情報を保存しておくためのフォルダです。印刷ジョブ管理情報は、印刷ジョブの再印刷や移動などの操作および障害発生時のリカバリ印刷に必要な情報です。印刷ジョブ管理フォルダは、JP1/NPS がインストールされた各サーバ上に設定します。

(カ行)

拡張メタファイル形式

印刷ジョブを画面上に表示するのと同じイメージでプリンタキューに保存するためのファイル形式です。特定のプリンタの種類に依存しません。EMF (Enhanced Meta File) のことです。

構成管理サーバ

各プリンタのハードウェア特有の仕様を管理しているサーバです。JP1/NPS のシステム全体で 1 台のサーバだけを構成管理サーバに指定します。構成管理サーバが存在しないシステムでは、仕様適合プリンタを検索できません。

(サ行)

サーバウィンドウ

[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウの [サーバの表示] で表示される、選択したサーバ下のプリンタの状態を一覧表示するウィンドウです。

自動仕分け

JP1/NPS が印刷ジョブを印刷すると同時に、印刷ジョブに定義された仕分け定義情報に従って、自動的に印刷ジョブの帳票データを配布先に仕分けして配布する機能です。印刷ジョブを自動仕分けするには、あらかじめ仕分けプリンタを設定し、仕分け定義情報を定義しておく必要があります。

自動リカバリ

障害発生時、次の場合に印刷をキャンセルしたり、ほかのプリンタで再印刷したりする機能です。

- プリンタ情報にリカバリ指示しない設定をしている
- [リカバリ指示] ダイアログボックスに対する応答が、プリンタ情報に設定した [監視時間] を超えた
- [リカバリ指示] ダイアログボックス表示先に設定されたコンピュータが起動していない場合、および JP1/NPS サービスまたは JP1/NPS/Client プログラムが停止している

仕様適合プリンタ

あるプリンタと同じ仕様を持つプリンタです。プリンタ障害発生時の印刷ジョブや、印刷待ちの印刷ジョブを別のプリンタで印刷する場合には、印刷結果を保証するために元のプリンタと同じプリンタで印刷する必要があります。

ジョブ情報

仕分け定義情報の一つです。印刷ジョブ名と仕分け情報を関連づけるための情報です。

仕分け結果情報ファイル

仕分け結果の詳細が保存されるファイルです。仕分け結果情報の内容は、[仕分け結果の確認] ウィンドウで確認できます。

仕分けサーバ

仕分けプリンタが接続されているサーバです。仕分けサーバでは仕分け定義情報の管理や帳票データの仕分け配布を実行します。

仕分け情報

仕分け定義情報の一つです。キーワード指定によるページ単位の仕分けをする場合の検索キーワードや、ページ指定による仕分けをする場合のページ番号、および分割指定による仕分けをする場合の分割比率についての情報です。

仕分け定義情報

仕分け配布を運用するための、仕分け方式や配布先の定義情報と、印刷ジョブに関連づけるための情報です。仕分け定義情報は、配布先情報、仕分け情報およびジョブ情報で構成されます。

仕分けプリンタ

仕分け対象のジョブを管理する JP1/NPS 対応のプリンタを示します。仕分けプリンタにスプールされた印刷ジョブは仕分けの対象となり、自動仕分けや対話仕分けできるようになります。

(タ行)

対話仕分け

仕分けプリンタで保留または印刷待ち状態になっている印刷ジョブに対して、必要な時に [JP1/NPS マネージャ] ウィンドウから仕分けを実行する機能です。

対話仕分けでは、一つの印刷ジョブを仕分け配布するだけでなく、複数の印刷ジョブから対象ページだけを抽出・マージして、一つの印刷ジョブとして仕分け配布することもできます。

帳票

プリンタキューに登録されている印刷ジョブのことです。

デフォルト情報

プリンタ情報の設定を省略したプリンタに対して適用されるデフォルトの情報です。ただし、デフォルト情報を適用しているプリンタは仕様適合プリンタの検索時の対象プリンタになりません。

(ナ行)

ネットワークウィンドウ

[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウに表示される、ネットワークの状態を階層的に表示するウィンドウです。このウィンドウは、JP1/NPS/Client にはありません。

ネットワークプリンタ

ユーザがクライアントの場合は、サーバ側に接続されているプリンタおよびネットワーク上で共有されているプリンタのことです。また、ユーザがサーバの場合は、ほかのサーバに接続されているプリンタおよびネットワーク上のプリンタのことです。

(ハ行)

配布先情報

仕分け定義情報の一つで、配布先に関する情報です。

プリンタウィンドウ ([JP1/NPS 構成定義] ウィンドウ)

ネットワークウィンドウで選択されたプリンタの状態を一覧表示するウィンドウです。[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウに表示されます。このウィンドウは、JP1/NPS/Client にはありません。

プリンタウィンドウ ([JP1/NPS マネージャ] ウィンドウ)

プリンタ内のジョブの状態を一覧表示するウィンドウです。[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウに表示されます。

プリンタ仕様検索キーワード

仕様適合プリンタを検索する場合に、印刷結果の保証が必要なプリンタ仕様です。設定したプリンタ仕様検索キーワードをすべて満たすプリンタが仕様適合プリンタとして検索されます。

プリンタ情報

各プリンタに対して設定・変更する情報です。プリンタ障害発生時のリカバリ印刷の方法や仕様適合プリンタの検索に必要な情報を設定します。プリンタ情報を設定したプリンタは、仕様適合プリンタの検索時の対象プリンタになります。

プリンタ配布

仕分けした印刷ジョブを、JP1/NPS 用に設定したプリンタに配布して出力します。

プリントサーバ

プリンタを接続し、JP1/NPS がインストールされたサーバです。

ポートウィンドウ

ネットワークウィンドウで選択されているコンピュータで定義されたポートを表示します。ポートウィンドウを表示するには、[表示] - [LAN 接続プリンター一覧] を選択します。

(ラ行)

リカバリ印刷

プリンタに障害が発生した場合、そのプリンタの障害を回復した後にページを指定してテスト印刷または再印刷したり、別のプリンタにページを指定して再印刷したりする機能です。

リモート印刷

ネットワークプリンタで印刷することです。ネットワークプリンタで印刷する場合は、ネットワークプリンタに対応するプリンタキューを作成する必要があります。

リモート印刷用のプリンタ

ネットワークプリンタに対応するプリンタキューのことです。

ローカルプリンタ

ユーザがクライアントの場合、クライアントのコンピュータに直接接続されているプリンタを示します。また、ユーザがサーバの場合、サーバに直接接続されているプリンタを示します。つまり自分のコンピュータに接続されているプリンタのことです。

索引

記号

#NPS_JETx: 10, 64
#NPS_LPDx: 10, 64
#NPS_LPTx: 10, 64
#NPS_XDPx: 10, 64
* (ワイルドカード) 124

数字

01-00 から 02-00 での変更点 213
02-00 から 05-00 での変更点 212
05-00 から 05-10 での変更点 211
05-10 から 05-20 での変更点 210
05-20 から 06-00 での変更点 209
06-00 から 06-01 での変更点 209
06-01 から 06-51 での変更点 208
06-51 から 06-71 での変更点 208
06-71 から 06-72 での変更点 208
06-72 から 07-00 での変更点 207

E

EMF スプーリング 17, 217
EUR と連携する 144

J

JDdelJobs.exe 156
JNpsActC.exe 158
JNpsActG.exe 161
JP1/AJS2 34, 217
JP1/AJS2 for EAP 37
JP1/AJS2 for EAP との連携 37
JP1/AJS2 との連携 34
JP1/Base 33, 217
JP1/Base および JP1/IM - Console との連携 33
JP1/Cm2/NNM または hp OpenView NNM と連携する場合のセットアップ 58
JP1/Cm2 または hp OpenView からの監視 106

JP1/Cm2 または hp OpenView との連携 36
JP1/IM - Console 33, 217
JP1/NPS 3, 24, 217
JP1/NPS/Client 3, 217
JP1/NPS/Client プログラム 217
JP1/NPS/Distributor サービス 217
JP1/NPS 印刷ジョブ管理情報 204
[JP1/NPS 構成定義] ウィンドウ 146
JP1/NPS サービス 217
JP1/NPS シリーズ 2
JP1/NPS シリーズが対象とする印刷ジョブ 17
JP1/NPS によるプリンタ監視 14
JP1/NPS のシステム構成 3
JP1/NPS の注意事項 38
JP1/NPS の特長 24
[JP1/NPS マネージャ] ウィンドウ 147
JP1/NPS を使用したシステムでの印刷の流れ 11
JP1 イベント 164, 217

L

LAN 接続プリンタ 218

R

RAW スプーリング 17, 218

S

SNMP トラップ 108

W

Windows イベント 170, 218

あ

アンインストールする 45

い

イベントログ 204

印刷完了通知の設定 87
[印刷完了通知]メッセージボックス(警告終了) 30
[印刷完了通知]メッセージボックス(正常終了) 30
印刷完了を通知する 30
印刷ジョブ 218
印刷ジョブ管理フォルダ 50,218
印刷ジョブの操作 101
印刷ジョブの配布先 118
印刷ジョブを操作できます 27
印刷する 93
インストールおよびアンインストール時の注意事項 46
インストールする 45

う

ウィンドウとメニュー一覧 146
運用環境の設定 62
運用環境を設定する 126

お

オブジェクト定義 108
[オプションの設定]タブ 129

か

課金情報 31
課金情報の収集 104
[課金情報の出力]ダイアログボックス 104
拡張メタファイル形式 218
各バージョンの変更点 207
環境定義 126
環境を定義する 127

き

キーワード指定で仕分けする場合の定義 134
キーワード指定によるページ単位の仕分け方式 114
[キーワード情報の定義]ダイアログボックス 135

く

クライアントサーバシステム 3

け

警告終了 87
検索キーワードの設定 85

こ

構成管理サーバ 24,49,218
コマンド一覧 155
コマンドの記述形式 154

さ

サーバウィンドウ 218
再インストールする 46
サポートするポート 10

し

自動仕分け 118,219
自動リカバリ 27,219
自動リカバリの設定 86
障害が起きたプリンタ装置のバッファ操作 96
障害キーワード 90
障害通知 25,94
障害通知先の設定 85
[障害通知]ダイアログボックス 94
障害通知の設定 85
仕様適合プリンタ 219
仕様適合プリンタの検索 99
[仕様適合プリンタの検索]ダイアログボックス 99
[仕様適合プリンタの表示]ダイアログボックス 100
ジョブ情報 130,219
ジョブ情報の定義 137
[ジョブ情報の定義]ダイアログボックス 138
ジョブの自動コピーオプション 85
ジョブの保存オプション 84

[仕分け環境定義 - 仕分けサーバの選択] ダイアログボックス 128
 [仕分け結果確認] ウィンドウ 141
 仕分け結果情報ファイル 219
 仕分け結果の確認 141
 [仕分け結果の詳細] ダイアログボックス 142
 仕分けサーバ 219
 仕分けサーバの選択 127
 仕分け情報 130, 219
 [仕分け情報定義 - 仕分けプリンタの選択] ダイアログボックス 132
 仕分け情報の定義 134
 仕分け定義情報 112, 219
 仕分け定義情報の所有権 131
 [仕分け定義] ダイアログボックス (キーワード指定) 135
 [仕分け定義] ダイアログボックス (分割指定) 137
 [仕分け定義] ダイアログボックス (ページ指定) 136
 仕分けの実行形態 117
 仕分け配布トレースファイル 204
 仕分け配布の注意事項 122
 仕分け配布の特長 112
 仕分けプリンタ 219
 [仕分けプリンタの選択] 128
 仕分けプリンタの選択 132
 仕分け方式 113

す

スタンドアロン構成 3
 ステータス・イベントブラウザを使った監視 107
 スプーリング方式による機能の差異 18

せ

正常終了 87
 セットアップ 49
 前提となるソフトウェアおよび動作環境 44

た

対話仕分け 118, 219
 対話仕分けする 139
 [対話仕分け] ダイアログボックス 139

ち

帳票 220
 帳票を仕分け配布する 139

つ

通信設定 88

て

[定義項目の選択] ダイアログボックス 133
 デフォルト情報 83, 220

と

同期モード 89
 動作環境 44
 トラブルシューティング 176

ね

ネットワークウィンドウ 220
 ネットワークプリンタ 24, 220
 ネットワークプリンタで印刷する 93
 ネットワークプリンタの接続 73

は

配布先情報 130, 220
 配布先情報の定義 133
 [配布先定義] ダイアログボックス 134

ひ

非監視モード 89
 必要なソフトウェア 44
 非同期モード 89

ふ

[ファイルサイズの設定] ダイアログボックス 142
 複数帳票のマージ方式 115
 プリントウィンドウ ([JP1/NPS 構成定義] ウィンドウ) 220
 プリントウィンドウ ([JP1/NPS マネージャ] ウィンドウ) 220
 プリント仕様検索キーワード 220
 プリント仕様の設定 85
 プリント情報 83, 220
 プリント情報およびデフォルト情報を設定する 83
 プリンタの管理 98
 プリンタの削除 82
 プリンタの状態の監視 106
 プリンタのセットアップ 62
 プリンタのセットアップ (クライアント) 73
 プリンタのセットアップ (プリントサーバ) 62
 [プリンタの選択] ダイアログボックス 141
 プリンタの追加 66
 プリンタの追加 (リモート印刷用) 76
 [プリンタの定義] ダイアログボックス 134
 プリンタのプロパティの設定 (リモート印刷用) 79
 プリンタ配布 220
 プリンタプロパティの設定 69
 プリンタポートの追加 (リモート印刷用) 75
 プリンタ名の変更 82
 プリンタを管理できます 27
 プリンタを開く 98
 [プリンタを開く] ダイアログボックス 98
 プrintサーバ 221
 プロセス一覧 206
 分割指定で仕分けする場合の定義 137
 分割指定による仕分け方式 116

へ

ページ指定で仕分けする場合の定義 136
 ページ指定による仕分け方式 113

[ページ情報の定義] ダイアログボックス 136

ほ

ポートウィンドウ 221
 ポートごとのリカバリ印刷の差異 16
 ポート情報 87
 ポート情報の設定 87
 ポートの追加 62
 保守情報を採取する 204

ゆ

ユーザに情報を通知できます 27

よ

用紙確認 102
 [用紙確認指示] ダイアログボックス 102
 [用紙確認] ダイアログボックス 103
 用紙確認の設定 86
 用紙交換 102
 用紙サイズの確認 102
 用紙サイズを確認する 27

り

リカバリ印刷 15, 25, 221
 リカバリ印刷する 94
 [リカバリ印刷] ダイアログボックス 96
 [リカバリ指示] ダイアログボックス 95
 リカバリ指示の設定 86
 リモート印刷 24, 221
 リモート印刷用のプリンタ 221

ろ

ローカルプリンタ 221
 ローカルプリンタで印刷する 93

わ

ワイルドカード 124

(株) 日和 出版センター 行き

FAX 番号 0120-210-454 (フリーダイヤル)

日立マニュアル注文書

ご注文日	年 月 日
送付先ご住所	〒
お客様名 (団体名, 又は法人名など)	
お名前	
電話番号	()
FAX 番号	()

資料番号	マニュアル名	数量
合計		

マニュアルのご注文について、ご不明な点は
(株) 日和 出版センター (☎03-5281-5054) へお問い合わせください。